LIXIL

SC 2台用・1500 1台用・1500 2台用 3000 1台用・3000 2台用 基本・縦連棟 取付説明書

・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

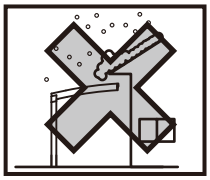
⚠注 意	・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

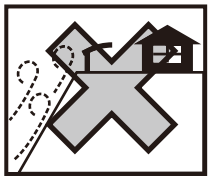
※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

⚠注 意

・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
・日よけ・雨よけ以外の目的に本製品を使用しないでください。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。
・設置場所の確認をしてください。
※施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
※建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。





・崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。
また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取り付けてください。
・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
・本製品は積雪地域用1500タイプで積雪（新雪）50cm以下、多積雪地域用3000タイプで積雪（新雪）100cm以下での地域用です。
・**一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行なってください。**

お願い

・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

＜基礎工事について＞

⚠注 意

・傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込深さを確保してください。
・コンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。
・コンクリート強度は18N/mm²以上で施工してください。
・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
・設置する場所の条件により、基礎サイズが変わります。性能を発揮するためには、下記のような現地条件に応じて施工してください。
①地盤の堅牢/軟弱さ（地耐力等）　②地盤内の埋設物の有無　③隣地境界線近くの設置　④別の構造物の基礎近くの設置
・本書の基礎サイズは地耐力を100ｋN/㎡として記載しております。地耐力が異なる場合は基礎サイズがかわります。
・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石などを敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内に水が溜まると凍結膨張や腐食により柱が破損するおそれがあります。
・養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

お願い

・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

＜施工上のご注意＞

⚠注 意

・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
・製品の改造や、指定個所以外の穴加工はしないでください。
・水濡れの原因となりますので、指定の個所にシーリングをしてください。
・シリコーンシーリング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
・ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
ダウ・東レ（株）	SE960

※φ4ネジ　：2.0N･m±0.2N･m　　※φ5ネジ　：3.0N･m±0.2N･m
※M6ボルト：7.5N･m±0.2N･m　　※M8ボルト：10.0N･m±0.2N･m

お願い

・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
※作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
・取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
・腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

＜施工の後に＞

⚠注 意

・ボルト、ネジの締め忘れがないか確認し、ゆるんでいる場合は締めなおしてください。

お願い

・取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

- 表示マーク …… 3
- 施工の流れ …… 3
- 施工チェックポイント …… 4
- シーリング箇所一覧 …… 8
- 各部の名称 …… 10
- 基本タイプの施工 …… 11
  - ■ 基本の確認事項 …… 11
  - 1 基礎寸法の確認 …… 14
  - 2 柱の建て込み準備 …… 17
  - 3 柱の建て込み …… 19
  - 4 部材の加工 …… 20
  - 5 部品の取付け …… 22
  - 6 ブラケットと梁の取付け …… 25
  - 7 後枠の取付け …… 27
  - 8 屋根材の取付け(1枚目) …… 28
  - 9 後枠固定金具の取付け …… 29
  - 10 屋根材の取付け(2枚目～) …… 29
  - 11 前枠・前枠カバーの取付け …… 31
  - 12 前枠コーナーキャップの取付け …… 32
  - 13 柱カバー・排水部品の取付け …… 33
  - 14 側枠の取付け …… 35
- 縦連棟タイプの施工 …… 40
  - ■ 縦連棟(L50・L57)の確認事項 …… 41
  - 1 部品の取付け …… 43
  - 2 屋根部(1台目)の取付け …… 44
  - 3 後枠(2台目)の取付け …… 44
  - 4 連棟部材(上)の取付け …… 45
  - 5 屋根部(2台目)の取付け …… 46
  - 6 連棟部材の取付け …… 47
- 梱包明細表 …… 50

表示マーク

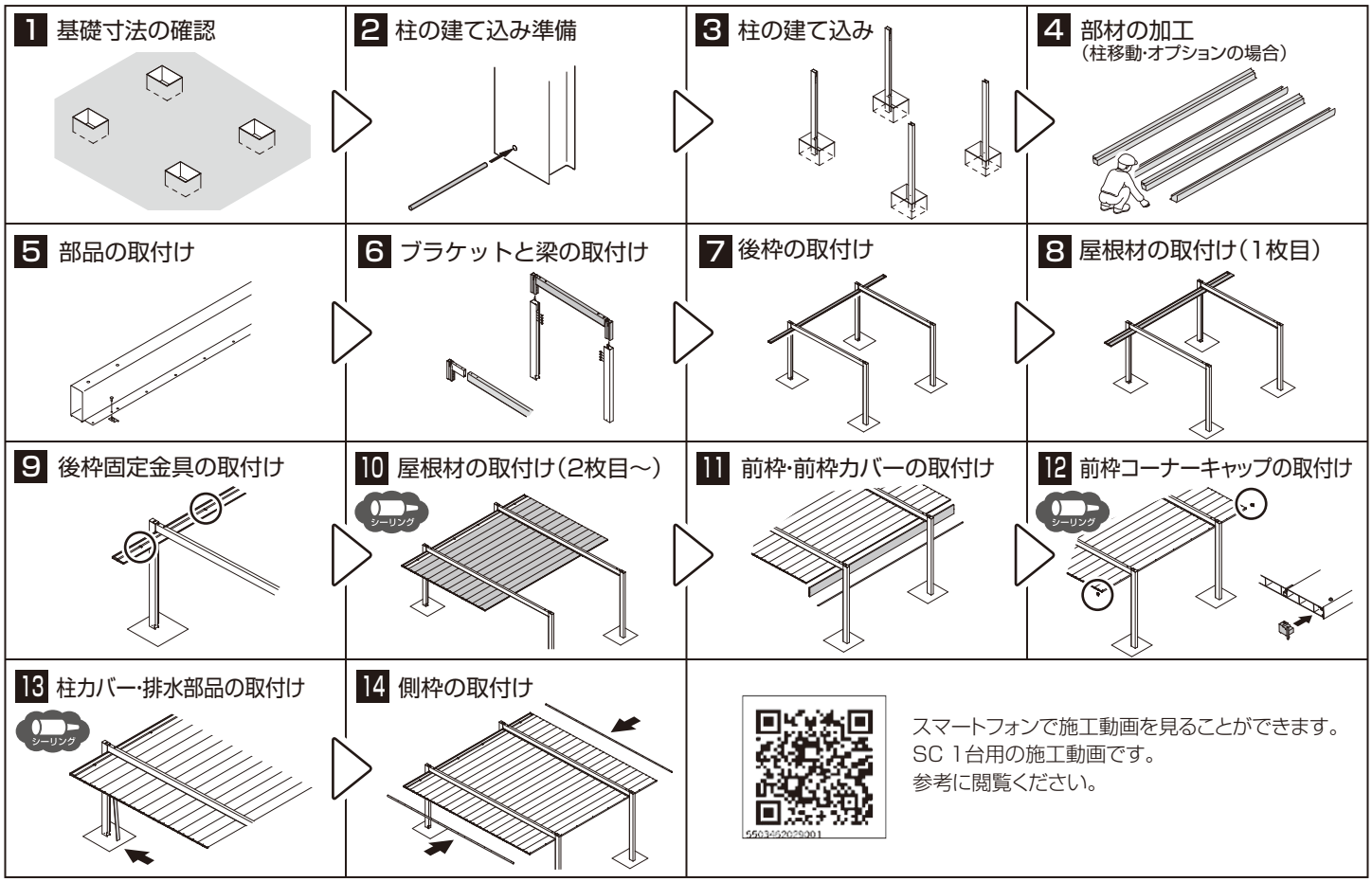
独立基礎で施工の場合	土間コンクリートで施工の場合	偏芯基礎部材を使用して施工の場合	柱位置を移動して施工の場合	「縦連棟」を施工の場合	オプション製品	シーリング個所

下記のオプションを取付ける場合は、
対応した取付説明書を併せて参照してください。

「SC 2台用・3台用・1500 1台用・1500 2台用・3000 1台用・3000 2台用・後方支持 2台用 異形対応 取付説明書(D650)」
「SC 梁延長本体・照明 取付説明書(EXM-059)」
「SC 屋根照明　取付説明書(EXM-066)」
「SC 柱照明(屋外カメラ) 取付説明書(EXM-067)」
「SC サイドスクリーン 取付説明書(D647)」
「偏芯基礎部材 取付説明書(D349)」

施工の流れ

※SC 2台用・1500 1台用・1500 2台用の場合です。3000 1台用・3000 2台用は中間柱梁が追加されます。



D649_202505M

施工チェックポイント

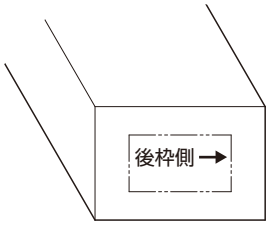
重 要

・組立施工時、下記項目を確認し、確実に施工されていることを確認してください。
・正しい取付けをしなかった場合、屋根材の落下などにより、使用者がケガを負うおそれがあります。

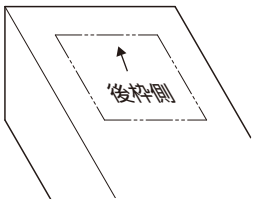
①梱包の向きの確認

チェック欄

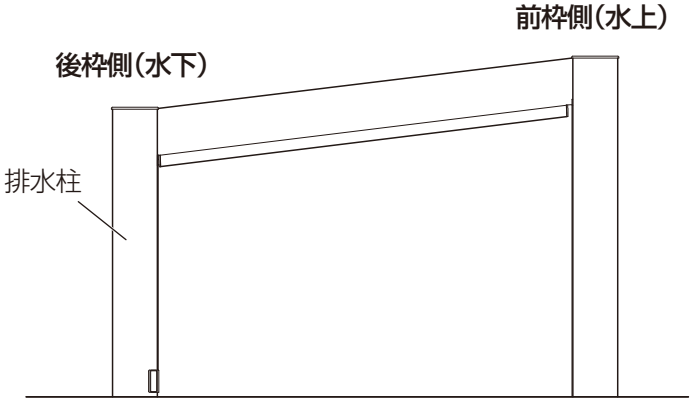
●屋根材・梁の梱包には後枠側の向きが記載されています。
　梱包の向きを確認いただくことを推奨いたします。
※矢印の向きに梱包を配置することで、
　屋根材の嵌合、梁のL・Rが分かり施工しやすくなります。



屋根材・前後枠セット



梁

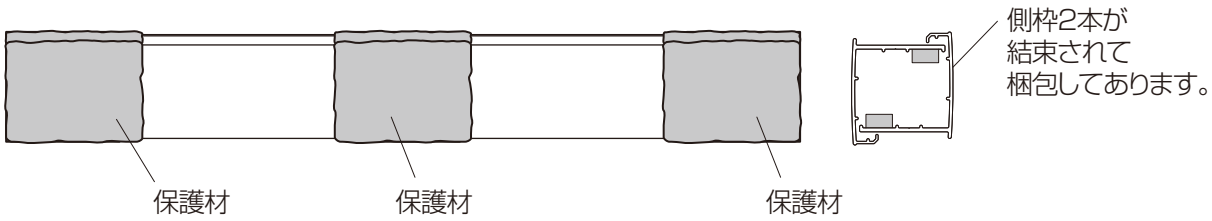


②側枠の梱包について　※2台用・1500 2台用・3000 2台用の場合です。

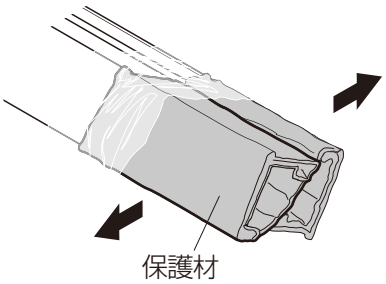
チェック欄

下記の手順に従って梱包を取り外し、施工してください。
1.側枠が2本結束された状態です。
2.端部の保護材を取らないように、2本にばらしてください。
3.保護材はP.35側枠の取付け直前まで外さないでください。
●保護材は形材端部が他部材を傷つけるのを防ぎます。
●後枠側が記載された向きシールをご確認いただき、配置することを推奨いたします。

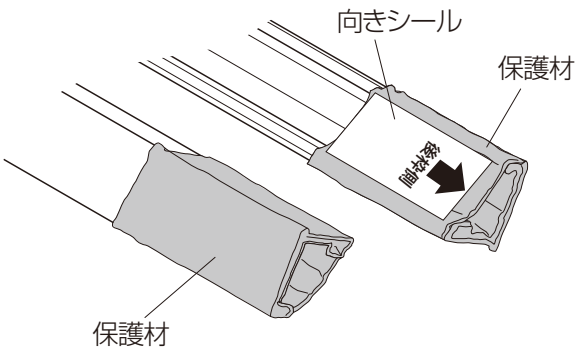
1.



2.



3.

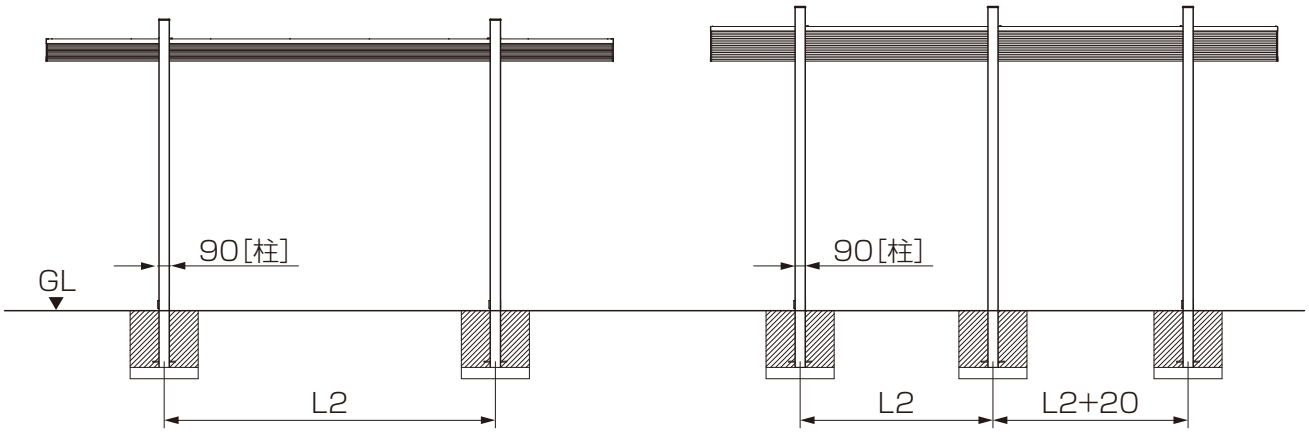


次ページに続く

③柱ピッチの確認

チェック欄

●柱ピッチは正しく位置出しされていますか？
※表記載のサイズと値を確認してください。SC 1台用とは柱ピッチが異なります。
※柱移動の場合は、基本の場合はP.11、縦連棟の場合はP.38を参照してください。
※本図は前枠側から見ています。



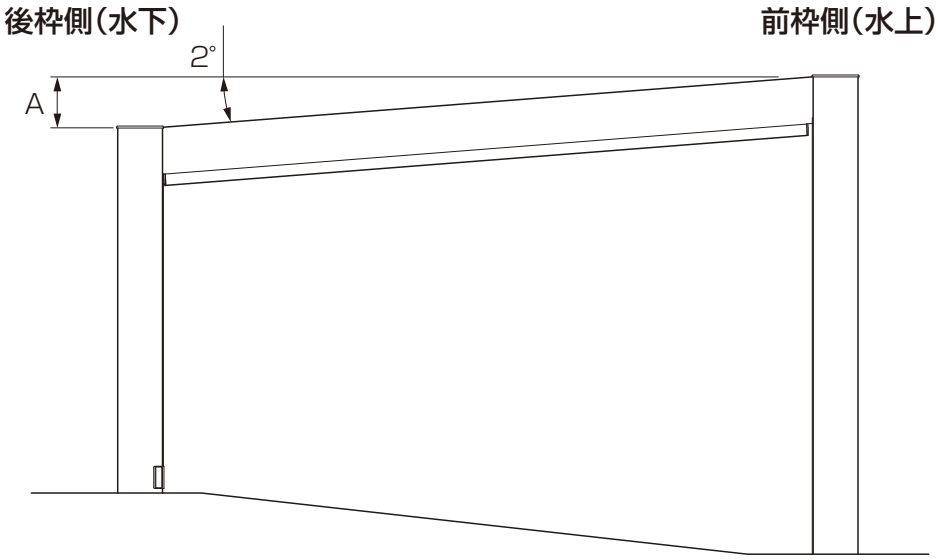
奥行	L2	
	2台用･1500 1台用･1500 2台用	3000 1台用･3000 2台用
L50	2920	1700
L57	3320	1900

④柱の高低差の確認

チェック欄

後枠側の柱と前枠側の柱の高低差は、±10mm以内で施工をおこなってください。
※水勾配が緩くなり、排水の不具合に繋がるおそれがあります。

間口	A		
	2台用	1500N	3000N
W30	−	97	
W33	−	108	
W36	−	118	
W42	−	138	
W48	159		
W54	180		
W60	201		



次ページに続く

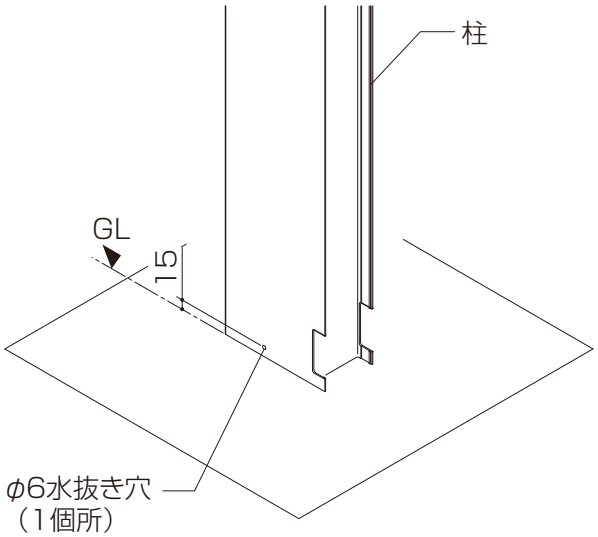
⑤水抜き穴の確認

チェック欄

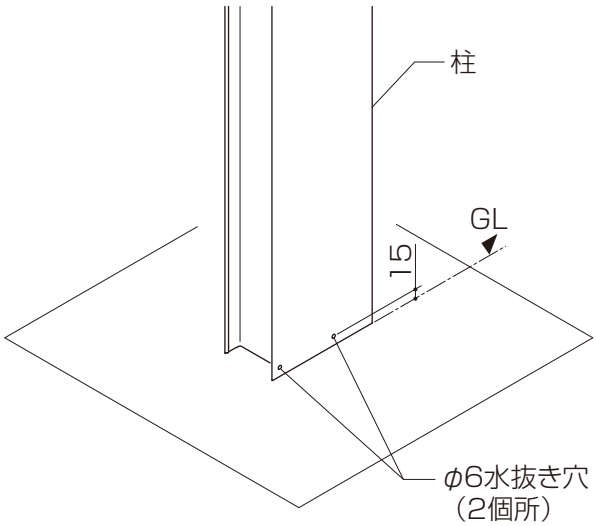
●柱に水抜き穴はあけていますか？
※凍結により柱の破損のおそれがあります。

P.19

■柱（排水側）



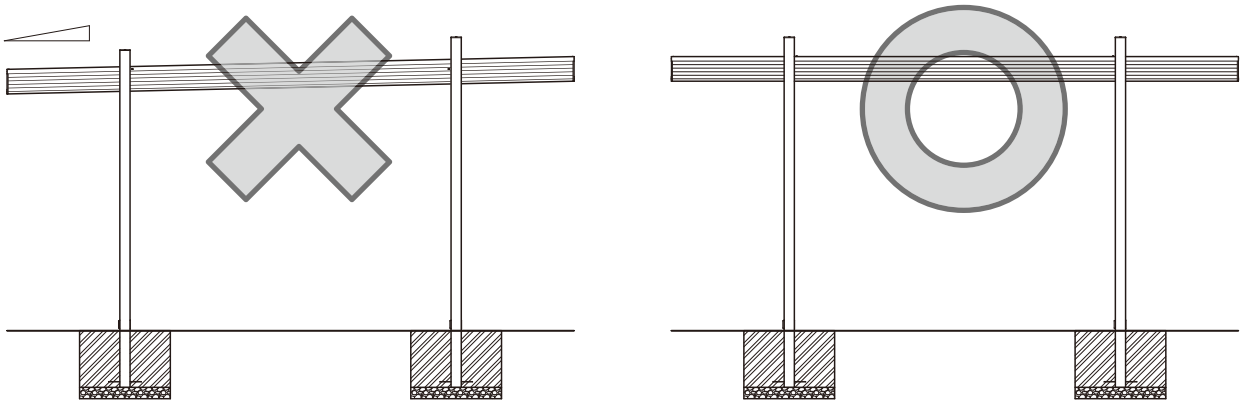
■柱



⑥屋根部の水平確認

チェック欄

●屋根部は“水勾配なし”になっていますか?
※排水部が端部にないため、水勾配を設けると雨水がたまり、
漏水の原因になります。



次ページに続く

⑦屋根切り欠き部の確認

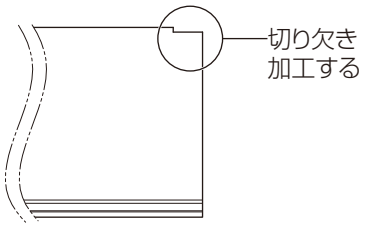
チェック欄

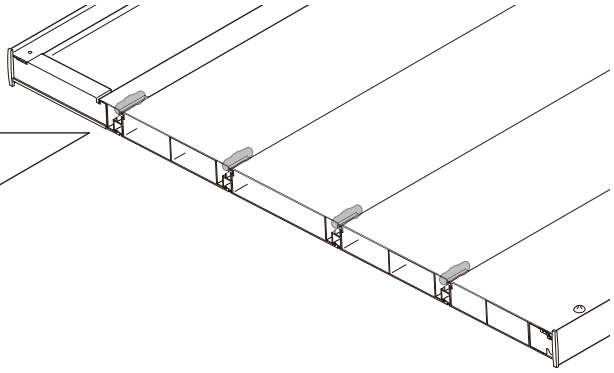
●屋根切り詰めをした場合、切り欠き加工をしていますか？

P.21

⚠注 意

屋根切り詰めをした場合は、屋根端部に切り欠き加工をしてください。

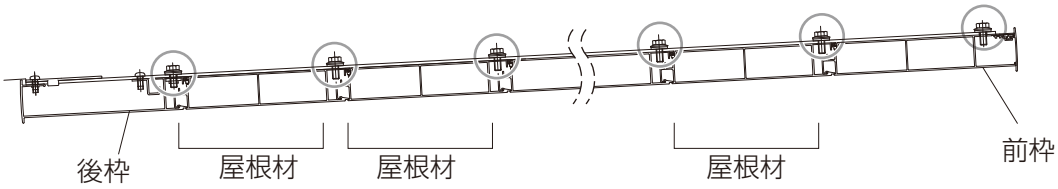


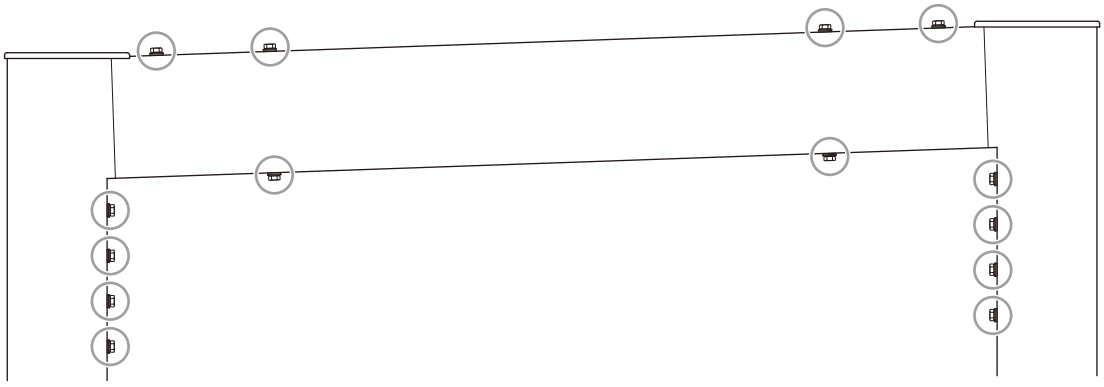


⑧施工完了後、ネジ・ボルトの締め忘れがないか確認

チェック欄

●柱・梁のボルトと、屋根材・前枠・後枠と梁を取付けているボルトに緩みがないか確認してください。
※屋根のバタつきや漏水のおそれがあります。





シーリング箇所一覧

❷集水部品

P.21

チェック欄

シーリング

集水部品背面

集水部品

❸雨樋穴ふさぎキャップ

P.23

チェック欄

シーリング

雨樋穴ふさぎキャップ

雨樋穴ふさぎキャップ

後枠

下から見る

❶後枠キャップ内側

P.22

チェック欄

シーリング

内側から見る

外側から見る

❻屋根材端部

P.32

チェック欄

シーリング

後枠コーナーキャップ

後枠

屋根材

ヘラ

⚠注意

破線部分にシーリングしないようにしてください。

端部にもシーリングをしてください。

❺排水部品A･B

チェック欄

シーリング

排水部品A

排水部品B

柱

下から見る

左側から見る

右側から見る

P.33･34

柱カバー

D649_202610Q

❹柱キャップ

P.28

チェック欄

シーリング

【8-3】φ5×20
トラスタッピンネジ3種

柱キャップ

シーリング

❾後枠キャップ上部

P.35

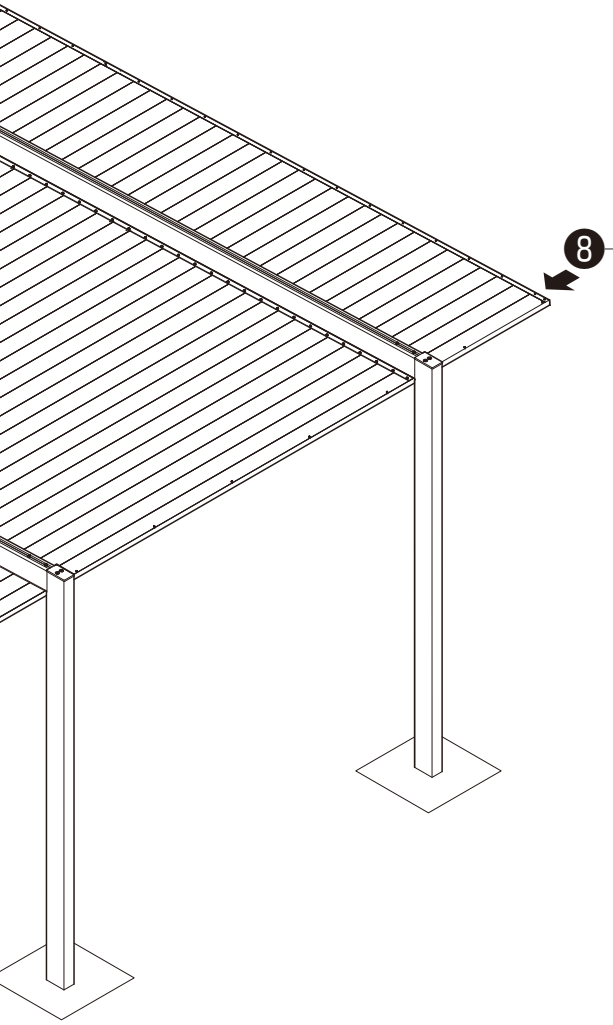
チェック欄

シーリング

後枠

後枠コーナー
キャップ

屋根材



❽前枠コーナーキャップと側枠の隙間

P.35

チェック欄

シーリング

側枠

前枠カバー

前枠コーナー
キャップ

❼前枠コーナーキャップ

P.32

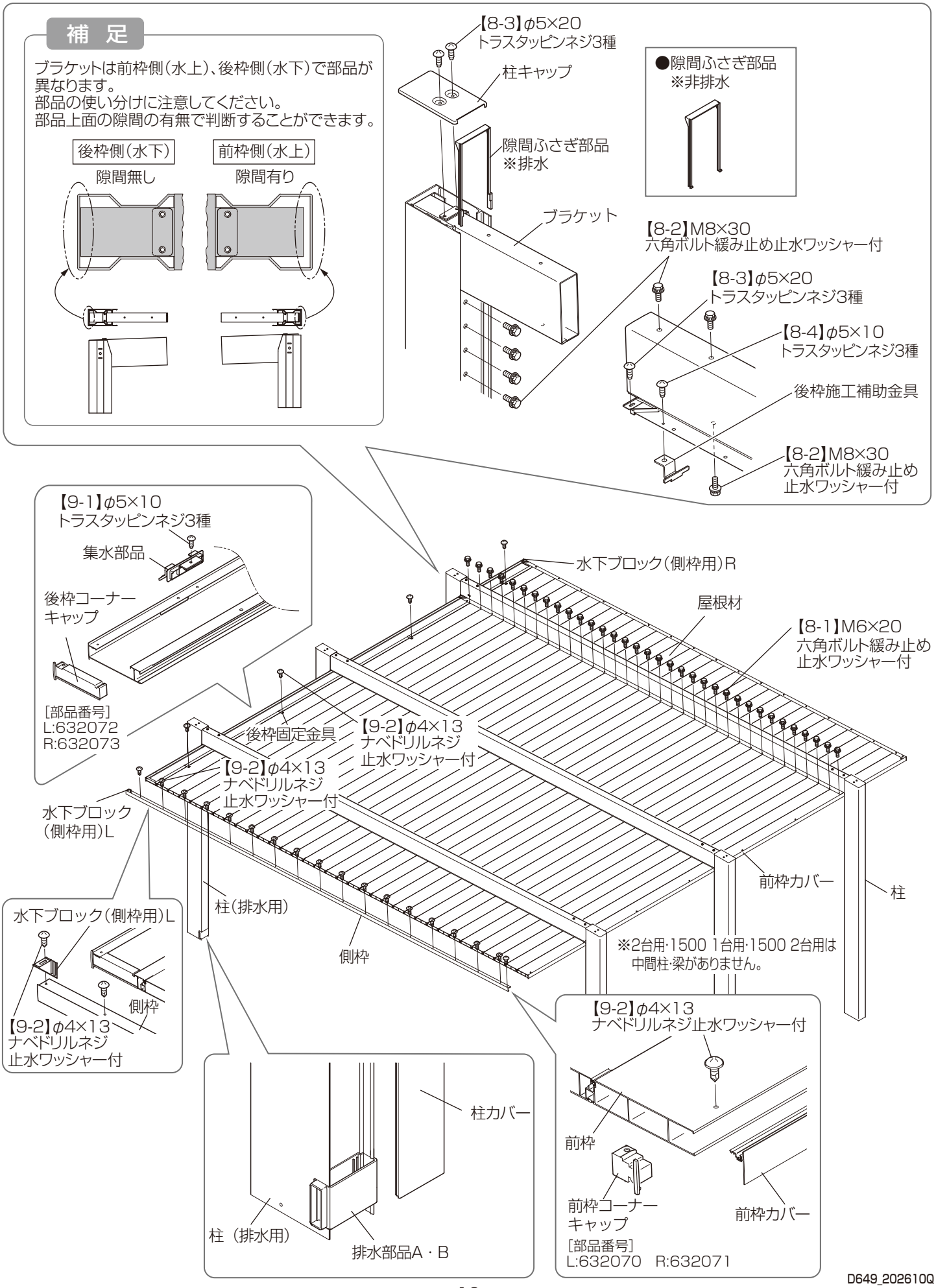
チェック欄

シーリング

前枠
コーナーキャップ

D649_202610Q

各部の名称



D649_202610Q

基本タイプの施工

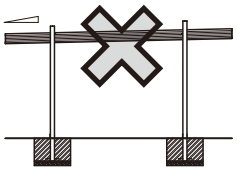
基本の確認事項

姿図

お願い

屋根部に水勾配はつけないでください。

排水部が端部にないため、水勾配を設けると雨水がたまることがあります。



お願い

柱内の水が抜けるように必ず砕石を敷いてください。

⚠注意

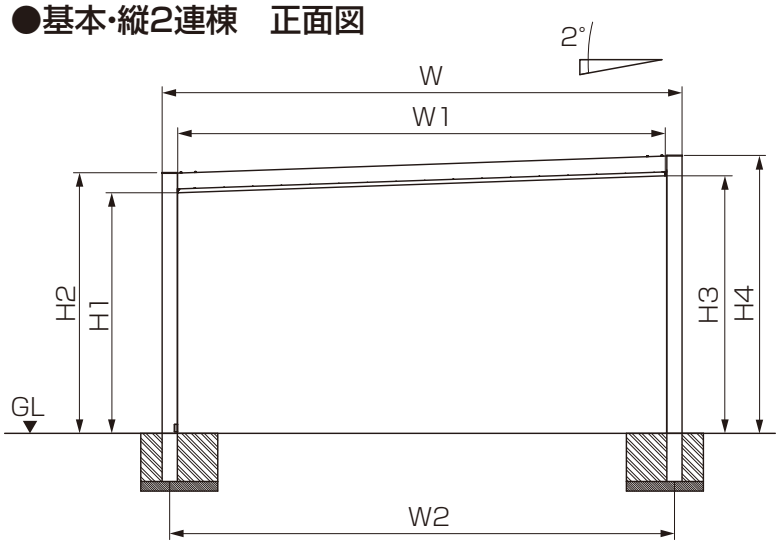
柱移動の場合の作業です。

【柱移動】をする場合

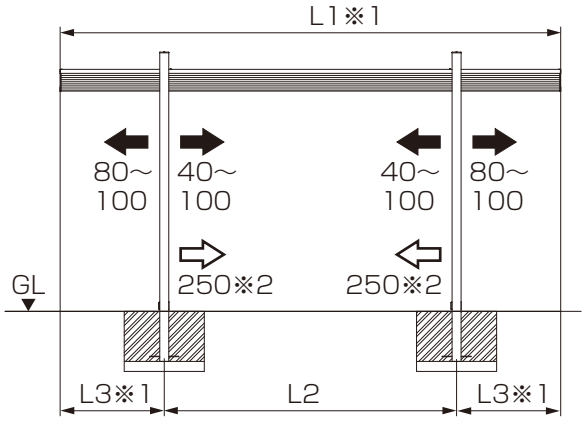
- 柱芯々寸法は外側100mm、内側500mm以内で柱移動してください。柱を101mm以上移動させる場合、両側の柱を均等に移動させてください。
  ただし、柱外側80mm、柱内側40mmの範囲は移動できません。
- 1500 1台用･1500 2台用は100mmを超えて柱移動することはできません
- 2台用･1500 1台用･1500 2台用は中間柱･梁がありません。
- 3000 1台用･3000 2台用の中間柱は水上側から見て左側80mm、右側40mmの範囲は移動できません。

※他の部材と干渉するため、取付けは不可となります。

●基本･縦2連棟　正面図



●基本　側面図

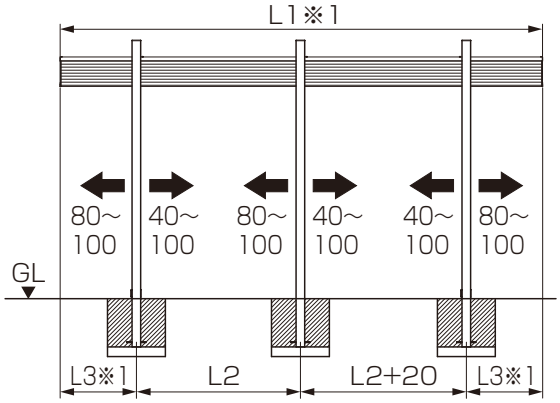


※1:照明用側枠を使用する場合、片側のみ使用は+14.5mm、両側使用は+29mmしてください。

※2:柱移動する場合は、条件があります。注意事項を確認してください。

サイズ	間口	W	W1	W2	H1	H2	H3	H4
2台用	W48	4808	4469	4650	2200	2408	2356	2567
	W54	5404	5065	5246	2200	2408	2377	2588
	W60	5999	5660	5841	2200	2408	2397	2609
1500 1台用 3000 1台用	W30	3021	2682	2863	2200	2408	2293	2505
	W33	3319	2980	3161	2200	2408	2304	2515
	W36	3617	3278	3459	2200	2408	2314	2526
	W42	4212	3873	4054	2200	2408	2335	2546
1500 2台用 3000 2台用	W48	4866	4469	4679	2200	2408	2354	2566
	W54	5461	5065	5274	2200	2408	2375	2587
	W60	6057	5660	5870	2200	2408	2396	2607

奥行	L1	L2	L3
L50	5000	2920	1040
L57	5700	3320	1190



奥行	L1	L2	L3
L50	5000	1700	790
L57	5700	1900	940

※1:照明用側枠を使用する場合、片側のみ使用は+14.5mm、両側使用は+29mmしてください。

※2:本図は前枠側から見ています。

補　足

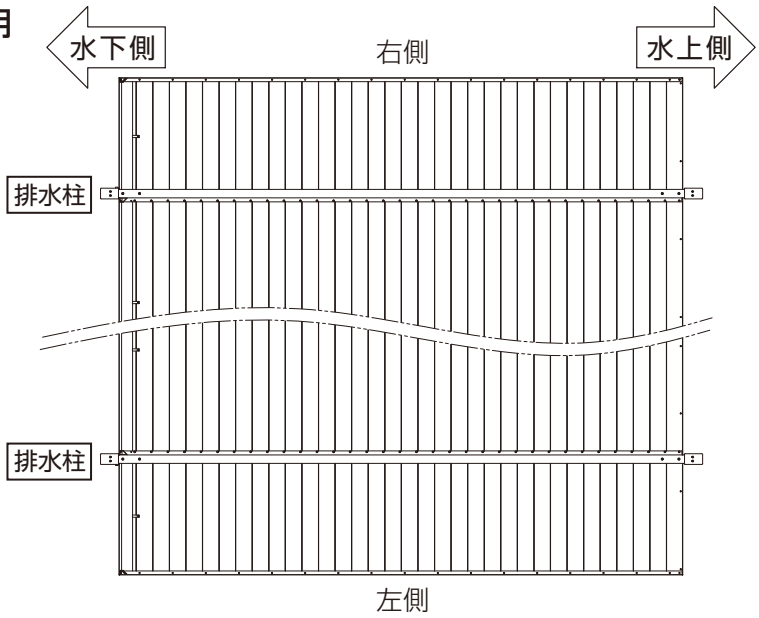
【ロング柱の場合】
W30～W42･W48～W60=H1･H2･H3･H4寸法に+300してください。

【H28柱の場合】
W30～W42･W48～W60=H1･H2･H3･H4寸法に+600してください。

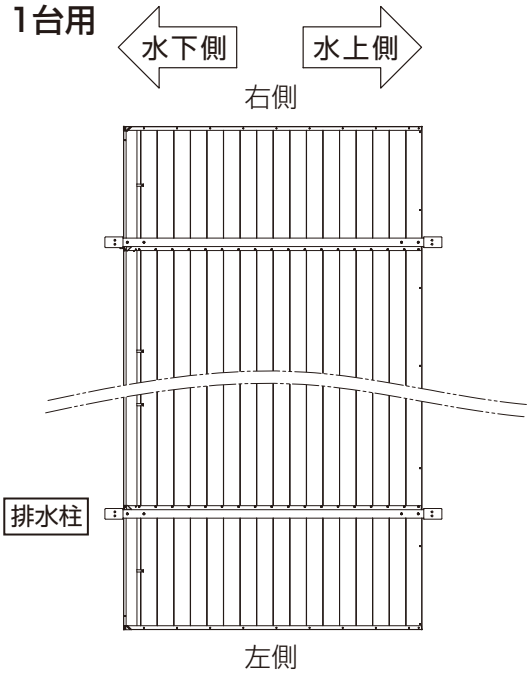
D649_202601N

●排水柱配置図

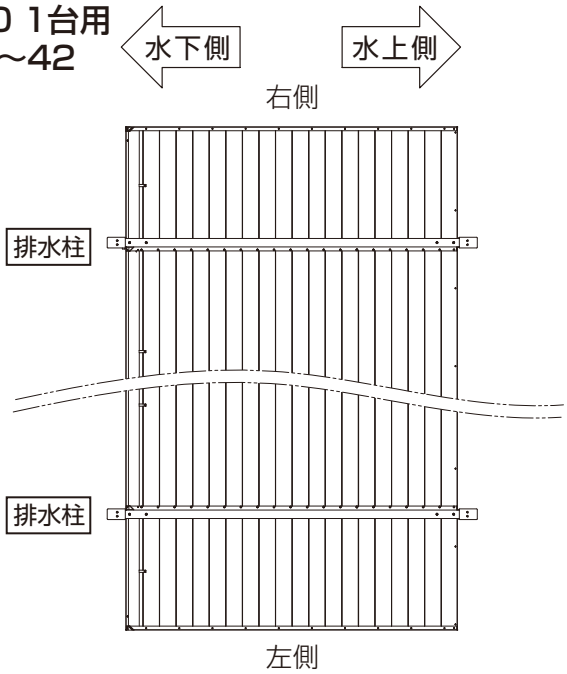
2台用･1500 2台用
W48～60



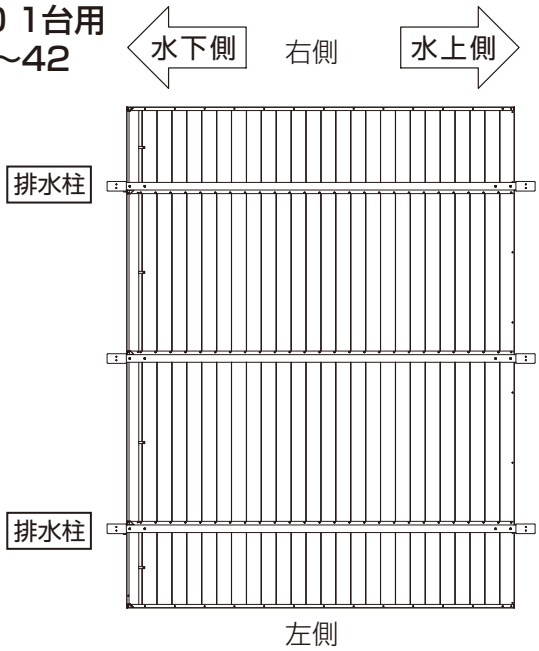
1500 1台用
W30



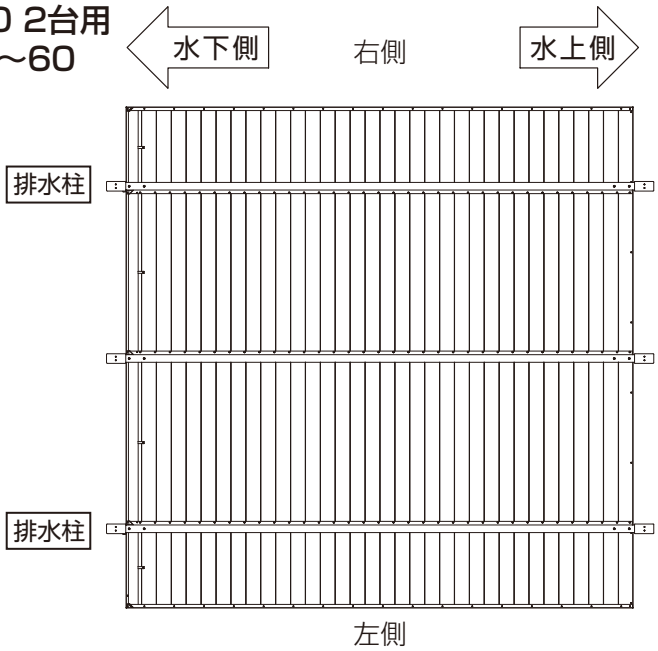
1500 1台用
W33～42



3000 1台用
W30～42

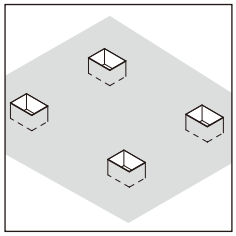


3000 2台用
W48～60



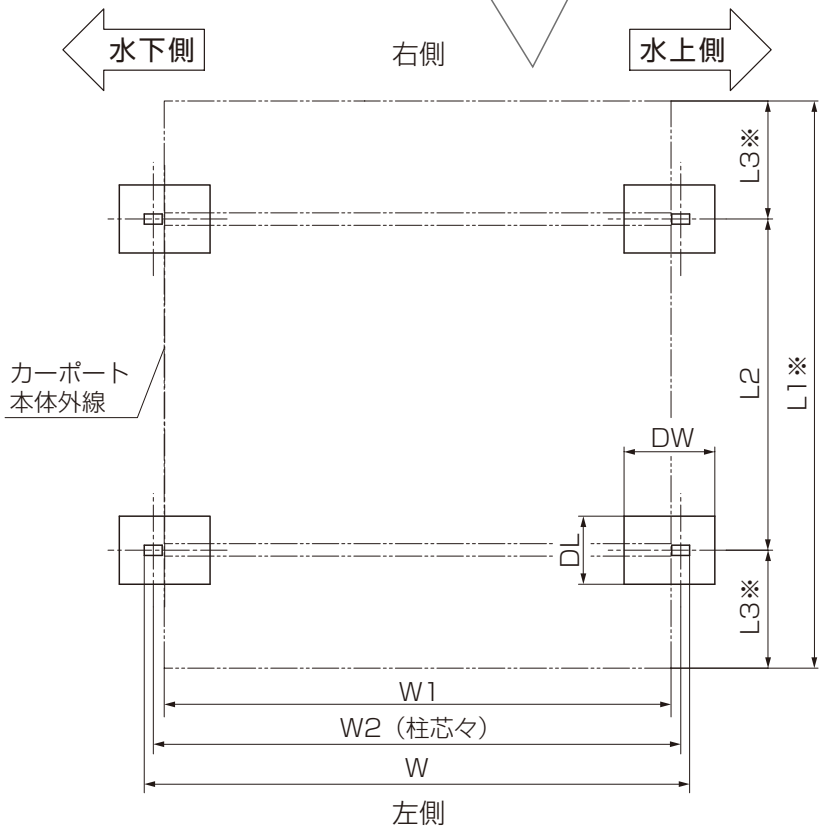
D649_202506K

基礎の墨出し



お願い

・基礎寸法は、次ページを参照してください。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「SC 2台用·3台用·1500 1台用·1500 2台用·3000 1台用·3000 2台用·後方支持 2台用 異形対応 取付説明書(D650)」
「SC 屋根照明 取付説明書(EXM-066)」
「SC 柱照明(屋外カメラ) 取付説明書(EXM-067)」
「SC サイドスクリーン 取付説明書(D647)」

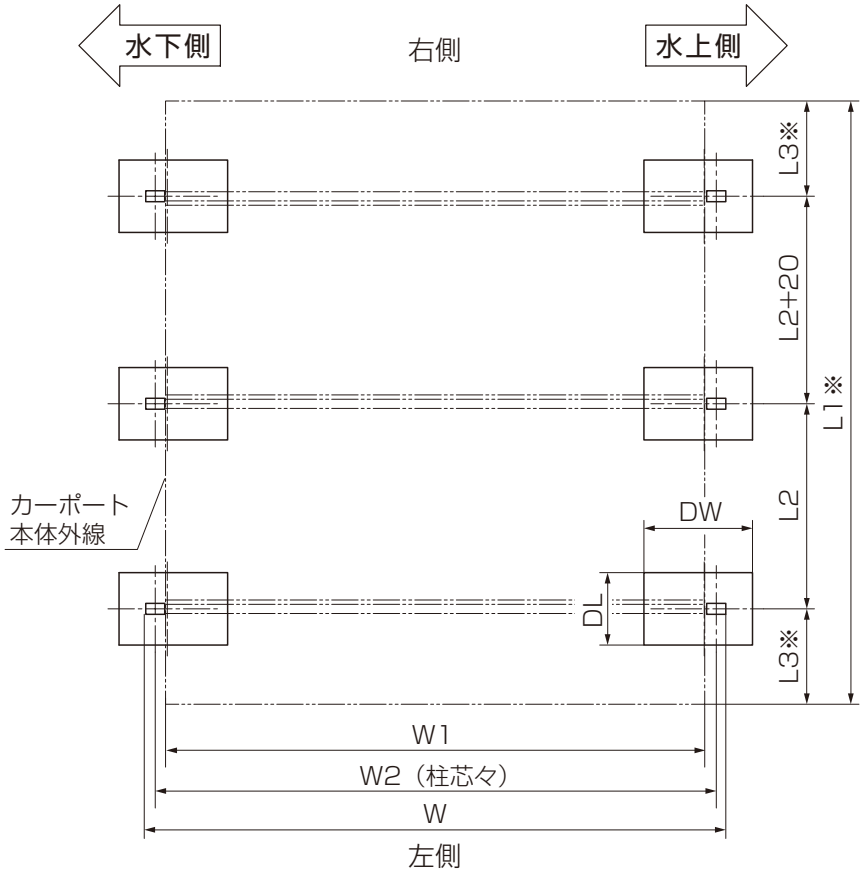
お願い

・施工時の周囲クリアランスについて、カーポート本体外線から目安400mmの確保が必要です。

タイプ	間口	W	W1	W2
2台用	W48	4808	4469	4650
	W54	5404	5065	5246
	W60	5999	5660	5841
1500 1台用	W30	3021	2682	2863
	W33	3319	2980	3161
	W36	3617	3278	3459
	W42	4212	3873	4054
1500 2台用	W48	4866	4469	4679
	W54	5461	5065	5274
	W60	6057	5660	5870

タイプ	奥行	L1	L2	L3
2台用 1500 1台用 1500 2台用	L50	5000	2920	1040
	L57	5700	3320	1190

※照明用側枠を使用する場合、
片側のみ使用は+14.5mm、
両側使用は+29mm
してください。



タイプ	間口	W	W1	W2
3000 1台用	W30	3021	2682	2863
	W33	3319	2980	3161
	W36	3617	3278	3459
	W42	4212	3873	4054
3000 2台用	W48	4866	4469	4679
	W54	5461	5065	5274
	W60	6057	5660	5870

タイプ	奥行	L1	L2	L3
3000 1台用 3000 2台用	L50	5000	1700	790
	L57	5700	1900	940

※照明用側枠を使用する場合、
片側のみ使用は+14.5mm、
両側使用は+29mm
してください。

1 基礎寸法の確認

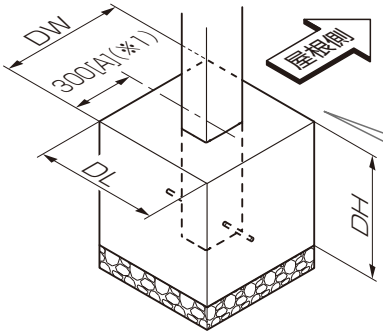
①基礎穴寸法を確認してください。

＜地耐力 100kN/ ㎡の場合＞

タイプ	間口	奥行	独立基礎寸法			土間コンクリート基礎			独立基礎寸法(凍上)				土間基礎寸法(凍上)			
			DW	DL	DH	DW	DL	DH	DW	DL	DH	A	DW	DL	DH	A
2台用	W48	L50·L57	800	600	500	400	350	500	–	–	–	–	–	–	–	–
	W54	L50·L57	800	800	500	400	350	500	–	–	–	–	–	–	–	–
	W60	L50·L57	800	800	500	500	400	500	–	–	–	–	–	–	–	–
1500 1台用 3000 1台用	W30~W42	L50·L57	650	550	500	450	400	500	450	400	1000	225	450	400	1000	225
1500 2台用	W48	L50·L57	900	600	500	450	450	500	450	450	1000	225	450	450	1000	225
3000 2台用	W54·60	L50·L57	900	800	500	500	500	500	500	500	1000	250	500	500	1000	250

独立基礎

【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。



補 足

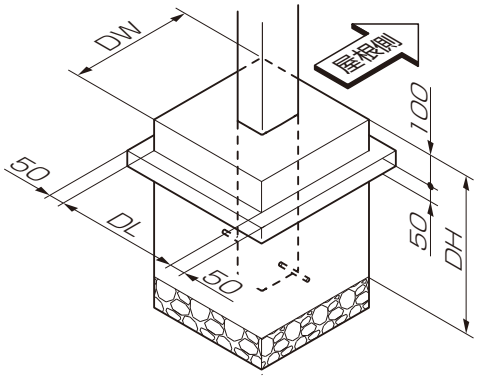
地盤条件ごとの基礎寸法はスマートフォンなどで二次元バーコードを読み取って確認できます。

補 足

(※1) は柱芯から基礎端面までの寸法です。
[ ]はH22凍上仕様の数値を示します。

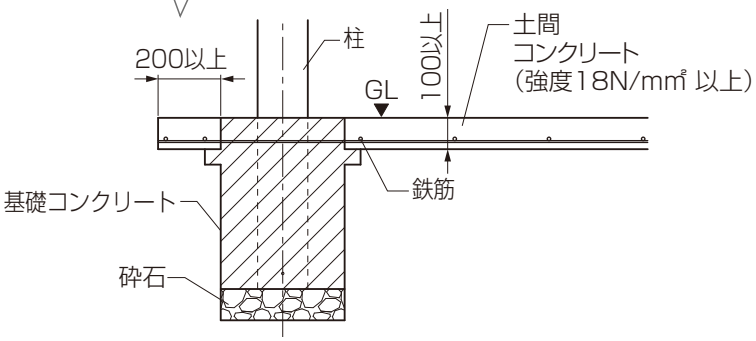
土間コン

【土間コンクリート仕上げ基礎】の場合の作業です。



お願い

基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。

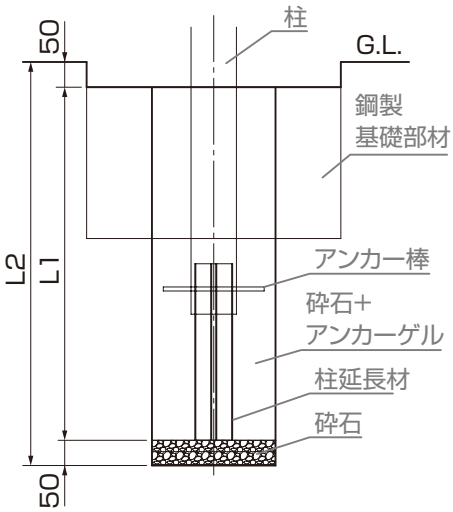


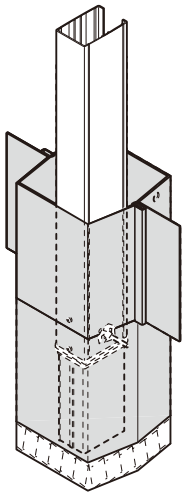
独立基礎 スマートクイック基礎工法【独立基礎仕様】の場合の作業です。

組立て方法、基本寸法については【スマートクイック基礎工法 独立基礎仕様 取付説明書（EXM-203）】も参照してください。

※1500，3000タイプは非対応です。

	L1	L2
フーゴ R/F/A ネスカ R/F カーポート SC	700	800
フーゴ R袖壁	800	900

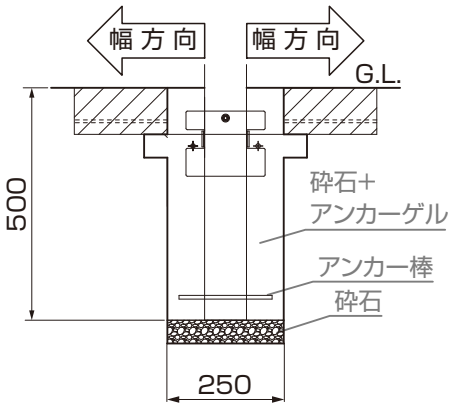


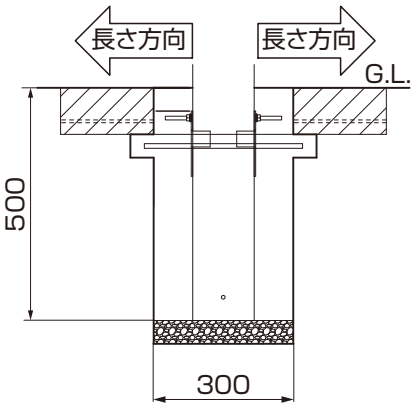


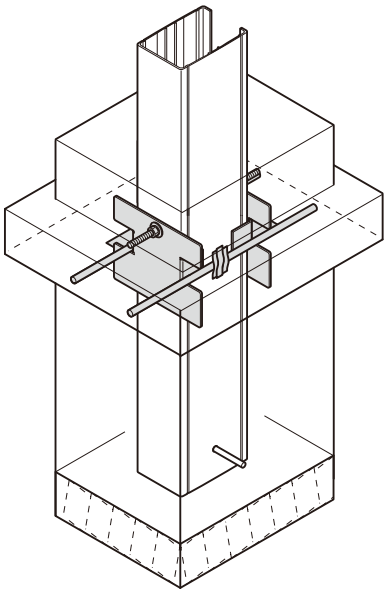
土間コン スマートクイック基礎工法【土間コンクリート併用基礎仕様】の場合の作業です。

組立て方法、基本寸法については【スマートクイック基礎工法 土間コンクリート併用基礎仕様 取付説明書（EXM-204）】も参照してください。

※1500，3000タイプは非対応です。





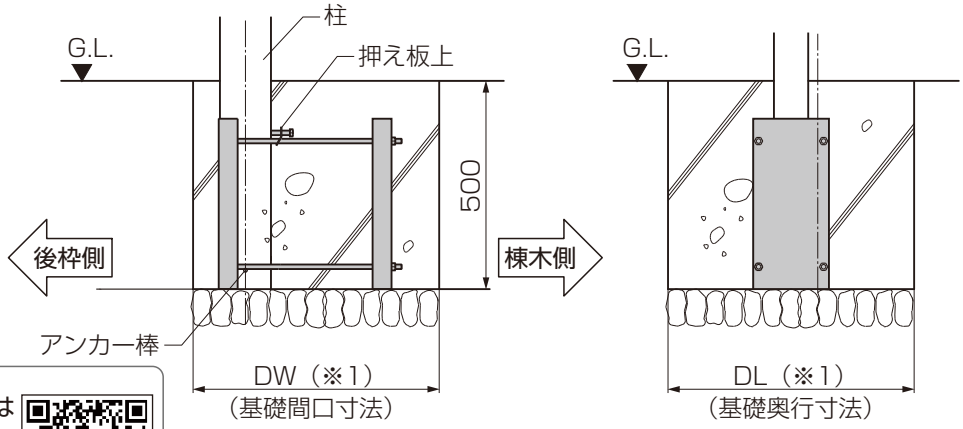


偏芯基礎 【偏芯基礎部材】の場合の作業です。

組立て方法、基本寸法については【偏芯基礎部材　取付説明書（D349）】も参照してください。

補　足

※1は独立基礎の基礎寸法になります。



補　足

地盤条件ごとの基礎寸法はスマートフォンなどで二次元バーコードを読み取って確認できます。

基本納まり図

●間口方向

隙間ふさぎ部品（排水）
M8×30六角ボルト 緩み止め止水ワッシャー付
2°
隙間ふさぎ部品（非排水）
φ5×20トラス タッピンネジ3種
φ5×10トラス タッピンネジ3種
梁
φ4×13 ナベドリルネジ 止水ワッシャー付
柱キャップ
梁:170
ブラケット 後枠側
後枠施工補助金具
後枠
水下ブロック（梁用）
集水部品
梁内寸法:152 [151]
屋根材
前枠
裏板
ビード材
前枠カバー
ブラケット 前枠側
M8×30六角ボルト 緩み止め止水ワッシャー付
柱外々寸法:158[187]
161（柱カバー込）[190]
柱
柱カバー
GL
柱:90
A
A

※2台用·1500 1台用·1500 2台用は中間柱·梁がありません。
[ ]は3000 1台用·3000 2台用の数値を示します。

●排水部

柱
90
23
70
GL
20

部品取付け後

柱
柱カバー
排水部品A·B
GL

2 柱の建て込み準備

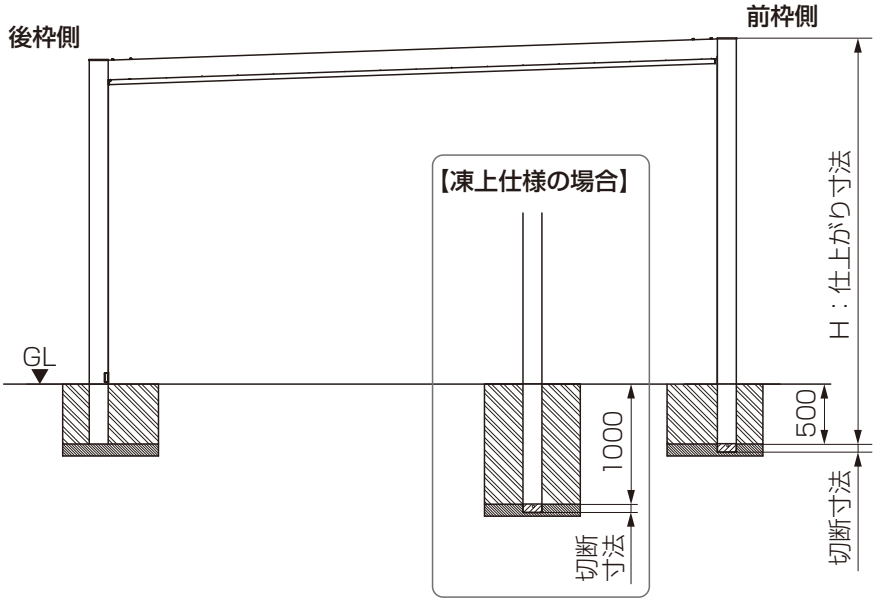
柱の加工

①柱（前枠側）と柱カバー（前枠側）に加工を行なってください。
②柱（前枠側）にアンカー棒取付用の穴をあけ直してください。
③H22凍上仕様はH28の規格仕様で対応してください。
④H22凍上仕様の場合、後枠側柱の切欠き加工を行ってください。
　また、排水部品取付用の穴をあけ直してください。

下記のオプションを取付ける場合は、
対応した取付説明書を併せて参照してください。

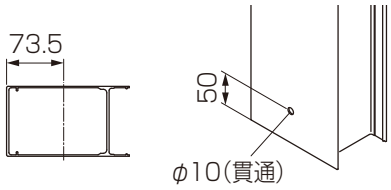
「SC 2台用･3台用･1500 1台用･1500 2台用･3000 1台用･3000 2台用･後方支持 2台用 異形対応 取付説明書(D650)」
「SC 屋根照明 取付説明書(EXM-066)」
「SC 柱照明(屋外カメラ) 取付説明書(EXM-067)」

【柱】

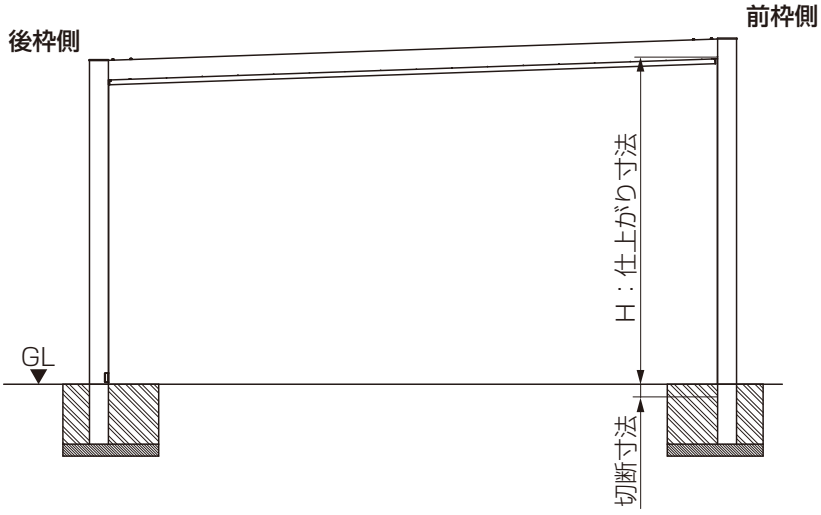


呼称			H22	H25	H28	H22(凍上)	H25(凍上)
2台用	W48	H	3067	3367	3667	–	–
		切断寸法	42	42	42		
	W54	H	3088	3388	3688	–	–
		切断寸法	21	21	21		
	W60	H	切断加工不要			–	–
1500 1台用	W30	H	3005	3305	3605	3505	3805
		切断寸法	11	11	11	42	42
	W33	H	切断加工不要			3516	3816
		切断寸法	–	–	–	31	31
	W36	H	3026	3326	3626	3526	3826
		切断寸法	21	21	21	21	21
	W42	H	切断加工不要			3547	3847
3000 1台用	W30	H	3005	3305	3605	3505	3805
		切断寸法	42	42	42	42	42
	W33	H	3016	3316	3616	3516	3816
		切断寸法	31	31	31	31	31
	W36	H	3026	3326	3626	3526	3826
		切断寸法	21	21	21	21	21
	W42	H	切断加工不要			3547	3847
1500 2台用 3000 2台用	W48	H	3066	3366	3666	3566	3866
		切断寸法	145	145	145	145	145
	W54	H	3087	3387	3687	3587	3887
		切断寸法	124	124	124	124	124
	W60	H	3108	3408	3708	3608	3908
		切断寸法	103	103	103	103	103

【アンカー棒取付穴】



【柱カバー】



呼称			H22	H25	H28	H22(凍上)	H25(凍上)
2台用	W48	H	2395	2695	2995	–	–
		切断寸法	42	42	42		
	W54	H	2416	2716	3016	–	–
		切断寸法	21	21	21		
	W60	H	切断加工不要			–	–
1500 1台用	W30	H	2332	2632	2932	2332	2632
		切断寸法	11	11	11	42	42
	W33	H	切断加工不要			2343	2643
		切断寸法	–	–	–	31	31
	W36	H	2353	2653	2953	2353	2653
		切断寸法	21	21	21	21	21
	W42	H	切断加工不要			2374	2674
3000 1台用	W30	H	2332	2632	2932	2332	2632
		切断寸法	42	42	42	42	42
	W33	H	1843	2143	2443	2343	2643
		切断寸法	31	31	31	31	31
	W36	H	2353	2653	2953	2353	2653
		切断寸法	21	21	21	21	21
	W42	H	切断加工不要			2374	2674
1500 2台用 3000 2台用	W48	H	2393	2693	2993	2393	2693
		切断寸法	143	143	143	143	143
	W54	H	2414	2714	3014	2414	2714
		切断寸法	122	122	122	122	122
	W60	H	2435	2735	3035	2435	2735
		切断寸法	101	101	101	101	101

D649_202610Q

□ 柱の加工（仕上げ面がGLと異なる場合、地面に勾配がある場合）

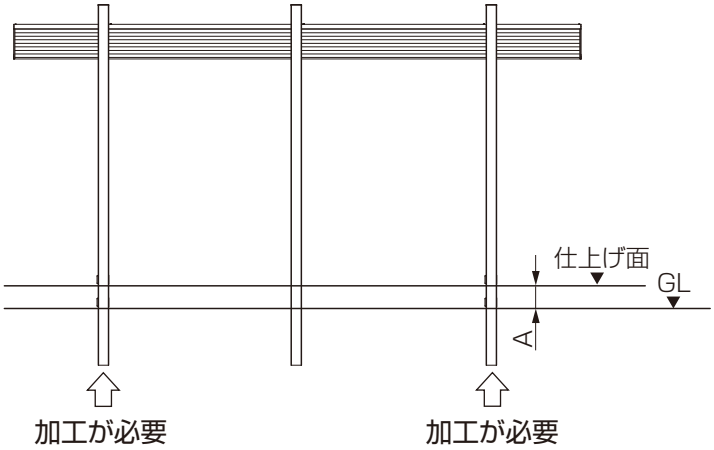
加工が必要な柱を確認してから加工を行なってください。

①柱（排水用）に切欠きを移動する加工を行なってください。
②柱カバーに切断加工を行なってください。

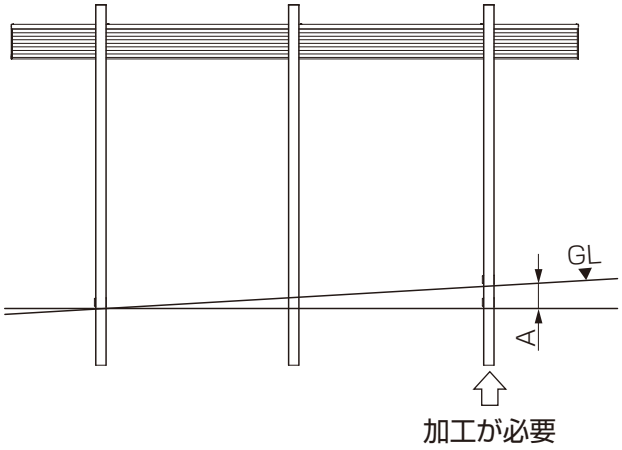
下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「SC 2台用･3台用･1500 1台用･1500 2台用･3000 1台用･3000 2台用･後方支持 2台用 異形対応 取付説明書（D650）」
「SC 屋根照明 取付説明書（EXM-066）」
「SC 柱照明（屋外カメラ） 取付説明書（EXM-067）」
「SC サイドスクリーン 取付説明書（D647）」

【仕上げ面がGLと異なる場合】



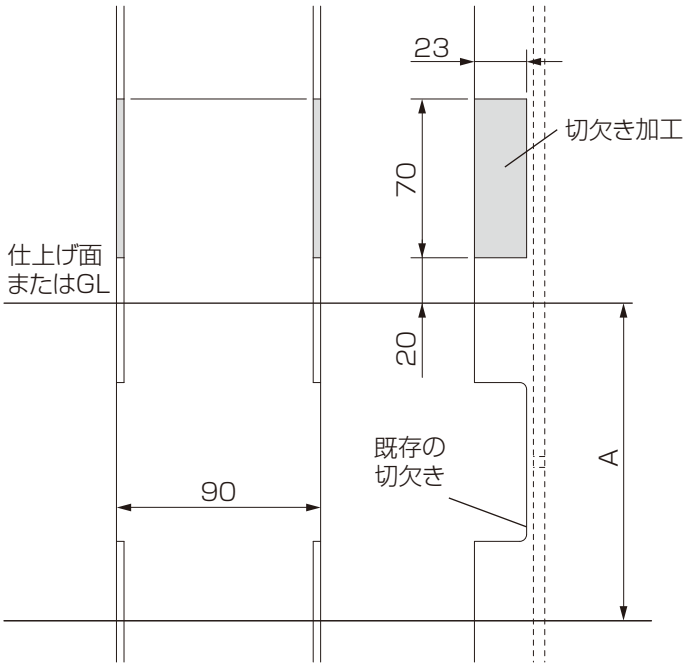
【地面に勾配がある場合】



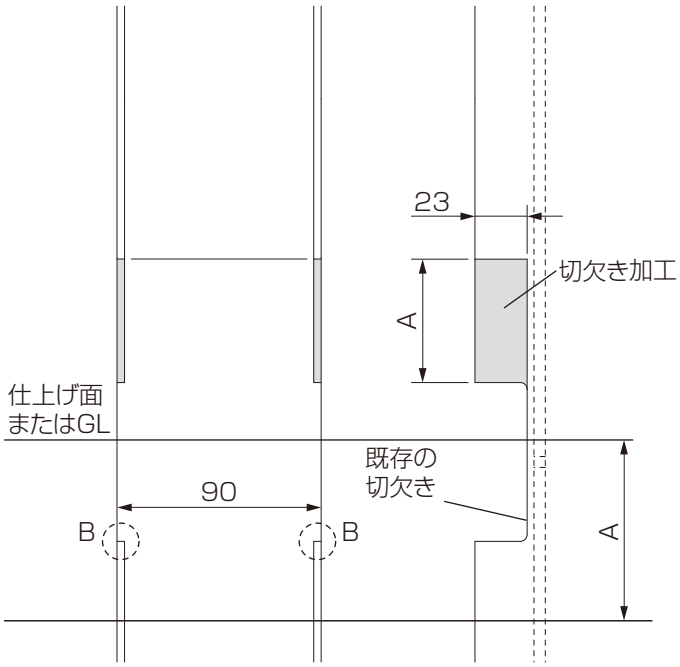
※2台用･1500 1台用･1500 2台用は中間柱がありません。

●加工寸法

【柱】Aが70mm以上の場合



Aが70mm以下の場合

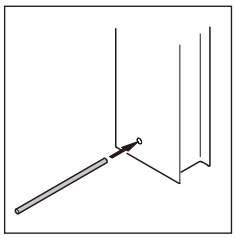


※B部がGLより上になる場合は、既存の切欠きの角が露出しますので、切り落とすか基礎の中に埋める等の処理をしてください。

【柱カバー】

D649_202605P

□ アンカー棒の取付け



①アンカー棒を柱に差込んでください。
②φ6の水抜き穴を柱のGL付近(地上側)にあけてください。

柱

GL

10

φ6水抜き穴

アンカー棒

⚠注 意

水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。

P.6 チェックポイント⑤

⚠注 意

13　73

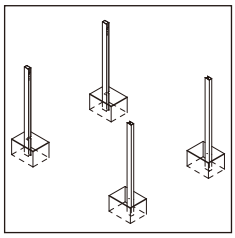
●柱

φ6水抜き穴
（2個所）

●柱（排水側）

φ6水抜き穴
（1個所）

3 柱の建て込み



①柱を基礎穴に建て込んでください。

お願い
柱を固定する前に柱間の対角寸法を確認してください。

お願い
短い柱が「後枠側」になるようにしてください。

短い

お願い
長い柱が「前枠側」になるようにしてください。

長い

お願い
柱の切欠きがある方を内側にしてください。

切欠き

後枠側

お願い
短く、排水切欠きがない柱は中間柱に設置してください。

お願い
後枠側の柱と前枠側の柱の高低差は、±10mm以内で施工をおこなってください。

基礎穴

前枠側

※2台用・1500 1台用・1500 2台用は中間柱・梁がありません。

D649_202605P

4 部材の加工（柱移動・屋根切り詰めの場合） OP オプション

部材の加工が生じます。
□柱移動の場合
□屋根切り詰めの場合

下記のオプションを取付ける場合は、
対応した取付説明書を併せて参照してください。

「SC 2台用・3台用・1500 1台用・1500 2台用・3000 1台用・3000 2台用・後方支持 2台用 異形対応 取付説明書（D650）」
「SC 屋根照明 取付説明書（EXM-066）」
「SC 柱照明（屋外カメラ） 取付説明書（EXM-067）」
「SC サイドスクリーン 取付説明書（D647）」

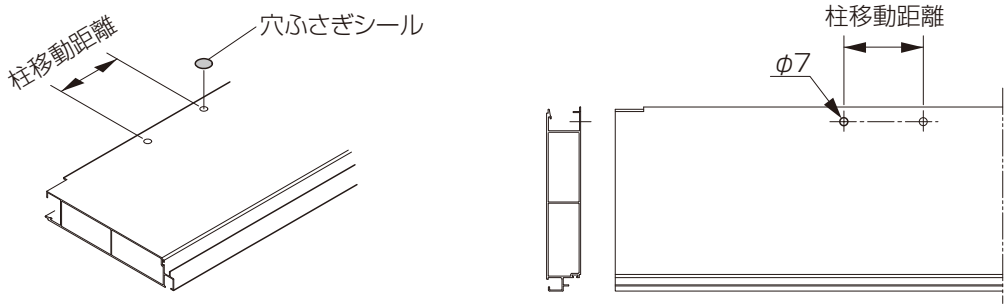
□ 柱移動の場合

①後枠・屋根材・前枠に穴加工を行なってください。
②既存穴に穴ふさぎシールを貼ってください。

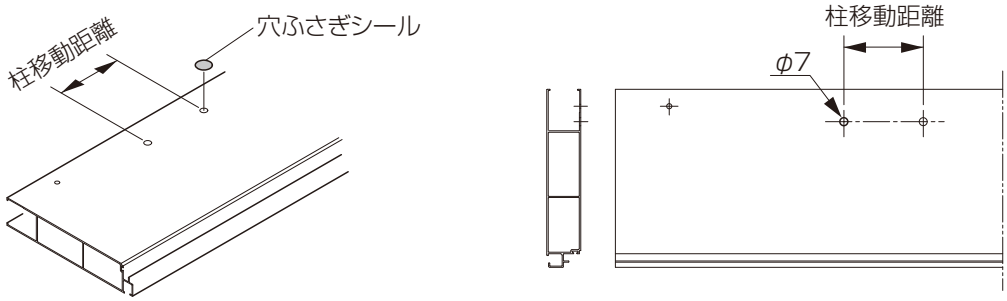
柱移動

柱移動の場合の作業です。

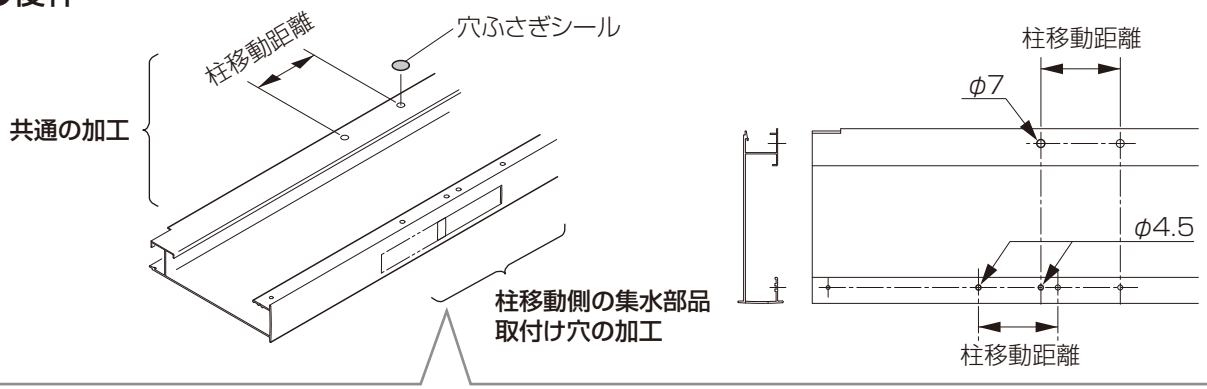
●屋根材



●前枠

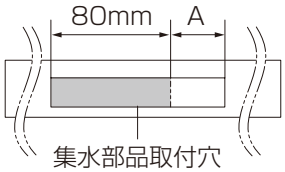


●後枠

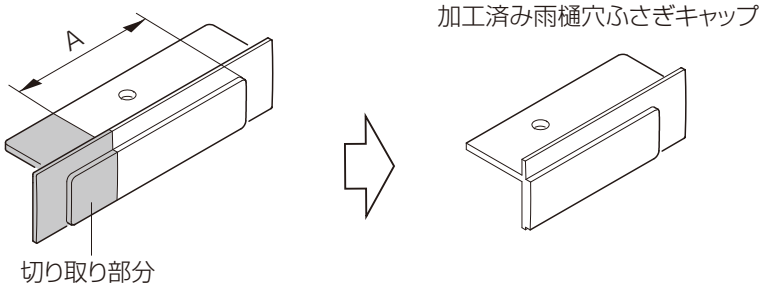


排水柱を移動する場合

集水部品取付穴が80mmになるように、
雨樋穴ふさぎキャップを加工してください。



※排水柱で無い場合は、加工は必要ありません。



柱移動により雨樋穴ふさぎキャップの取付け穴が無くなる場合があります。
移動距離によっては穴を新たにあけ直してください。

□ 屋根切り詰めの場合

●端部切り欠き

屋根切り詰めをした場合は、屋根端部に切り欠き加工をしてください。

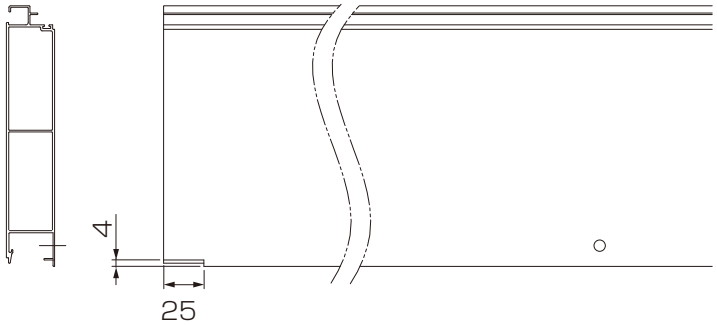
お願い

屋根材を切詰める場合は、柱ピッチの変更が必要となります。
切詰め後の柱ピッチは切詰め前の柱ピッチと屋根はね出し部の寸法比率を守ってください。

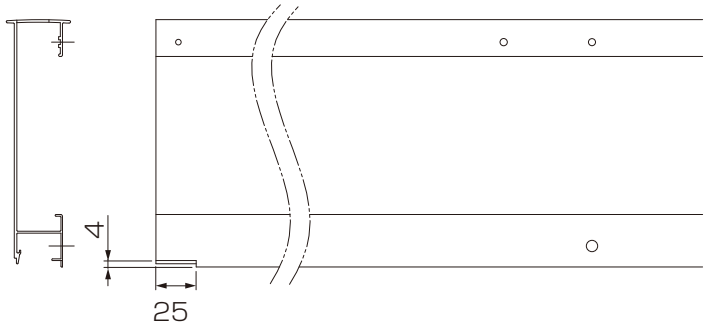
現場切詰め方法をスマートフォンなどで確認できます。

「現場切詰め 取付説明書(EXM-117)」

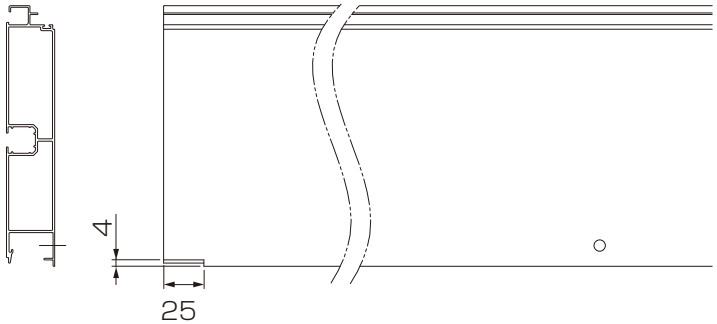
(1)屋根材



(2)後枠



(3)ライン照明屋根材



補 足

P.20

屋根部の加工はP.20参照してください。
※L22～29は屋根端部からの寸法を守って配置してください。

⚠注 意

切り欠き加工がない場合、シーリング処理ができないため、漏水の原因になります。

P.7

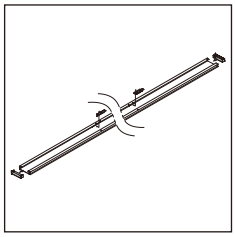
チェックポイント⑦

お願い

シームレスラインライトを取付ける場合、屋根部の切詰め寸法に制限があります。
●シームレスラインライトを切詰める場合は、「SC 屋根照明　取付説明書（EXM-066)」の〈シームレスラインライト切詰め方法〉を参照してください。
●シームレスラインライトが特注品の場合は、「SC 屋根照明　取付説明書(EXM-066)」の〈シームレスラインライト特注寸法一覧〉を参照してください。

5 部品の取付け

1 後枠への部品の取付け



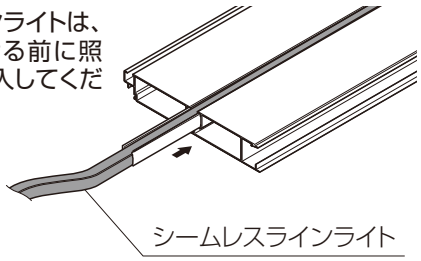
①後枠両端部にシーリング材を塗布してください。
②後枠コーナーキャップR、後枠コーナーキャップLを後枠に差込んでください。
③後枠コーナーキャップR、後枠コーナーキャップLを取付け後に、外側から隙間にシーリング材を塗布してください。
④内側からはみ出したシーリング材をヘラでならしてください。

下記のオプションを取付ける場合は、
対応した取付説明書を併せて参照してください。

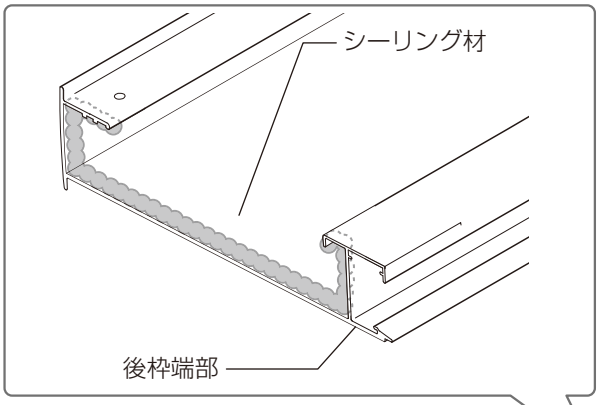
「SC 梁延長本体･照明　取付説明書(EXM-059)」
「SC 屋根照明 取付説明書(EXM-066)」

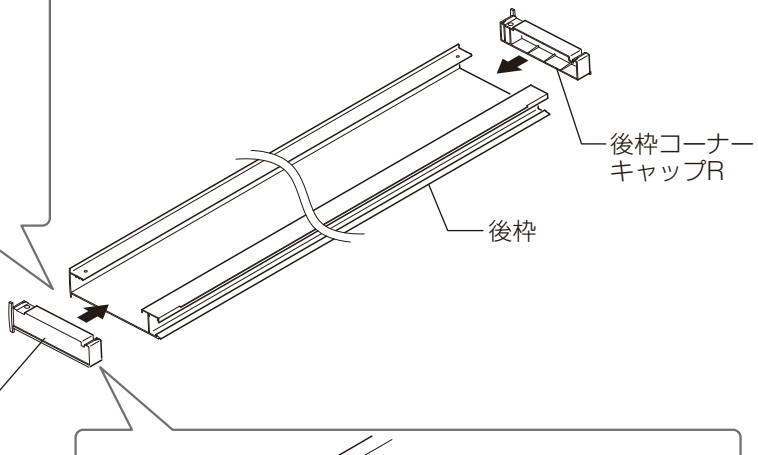
お願い

シームレスラインライトは、屋根材を組付ける前に照明用屋根材に挿入してください。

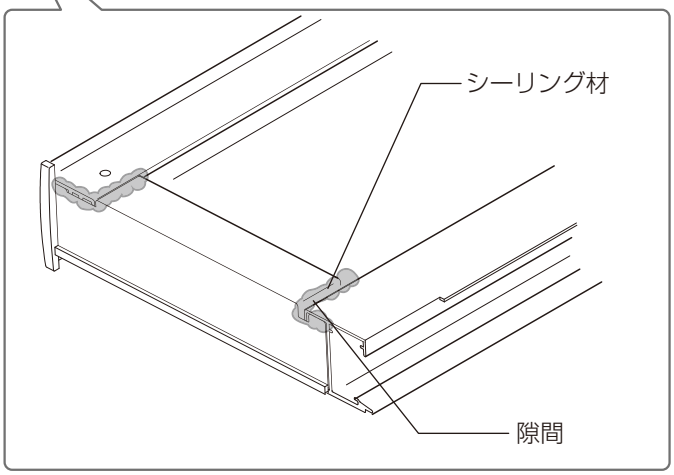


挿入方法は「SC 屋根照明 取付説明書(EXM-066)」を参照してください。

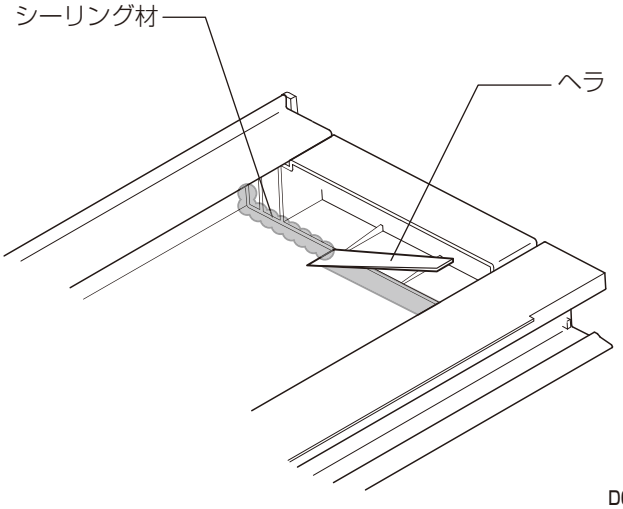




後枠コーナーキャップを差込んだときに、シーリング材が途切れないようにシーリング材を多めに塗布してください。

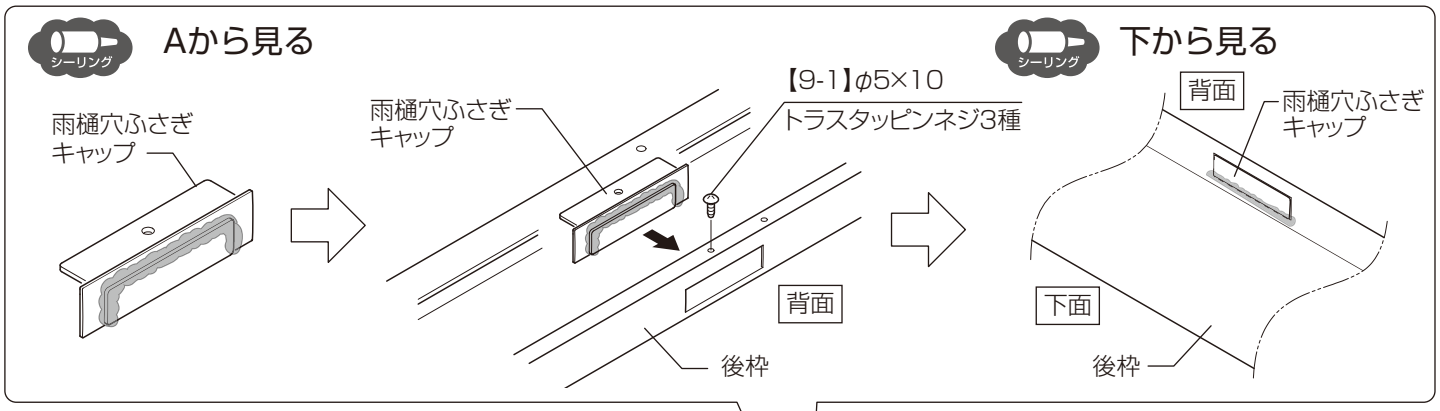


内側に溜まったシーリング材を、隙間なくヘラでならしてください。
シーリング材が溜まっていない場合は、内側からシーリング材を塗布してください。



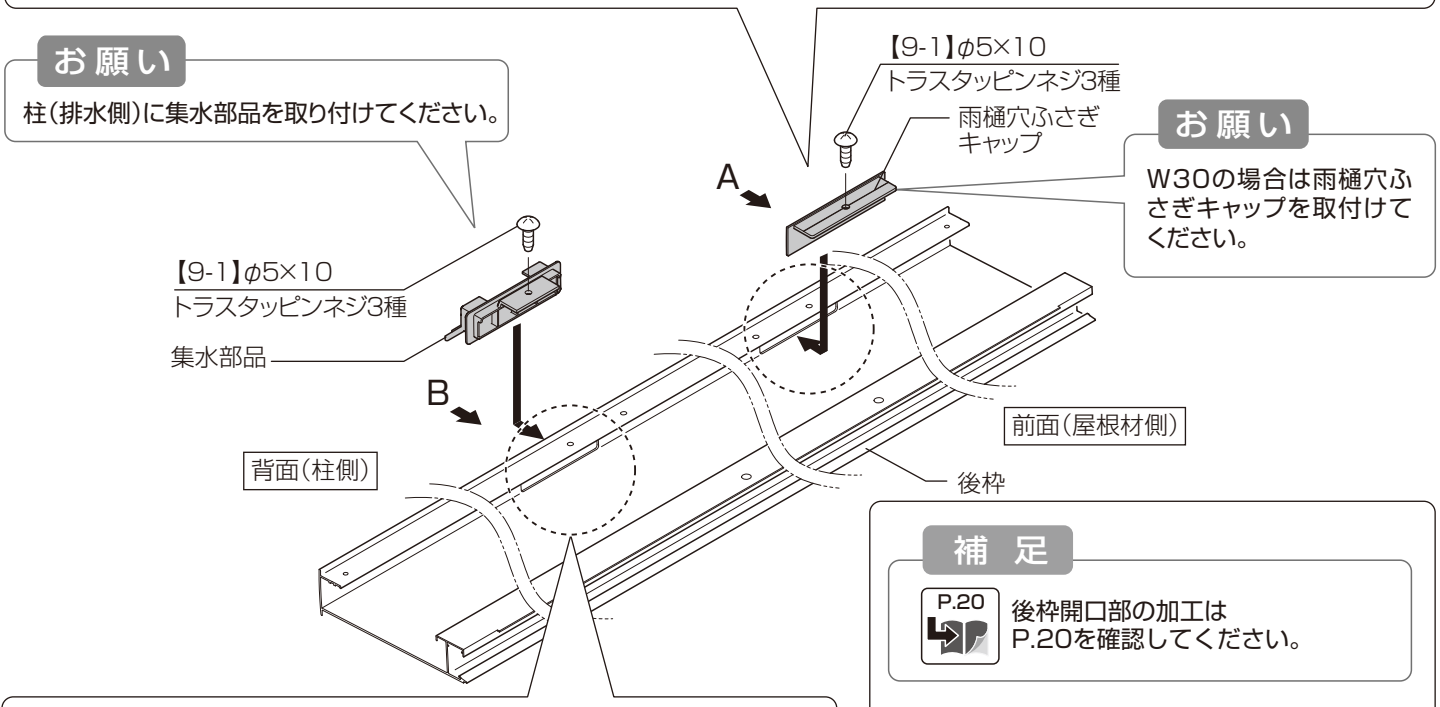
D649_202312H

⑤集水部品･雨樋穴ふさぎキャップにシーリングをし、後枠に【9-1】で取り付けてください。



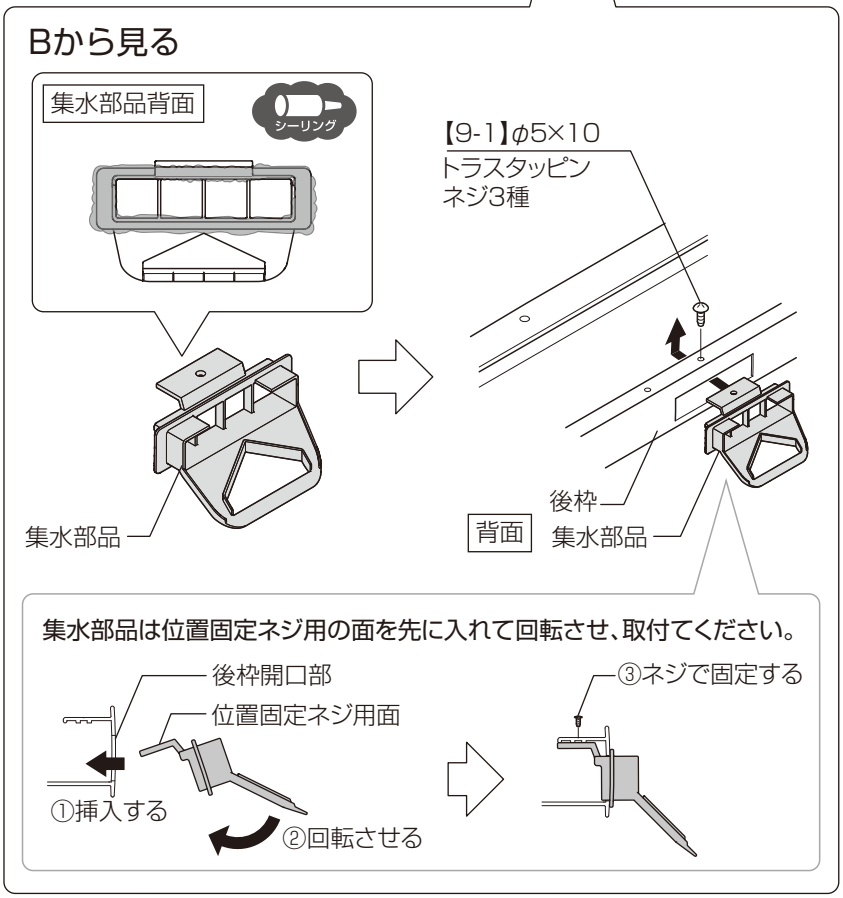
お願い

柱(排水側)に集水部品を取り付けてください。



お願い

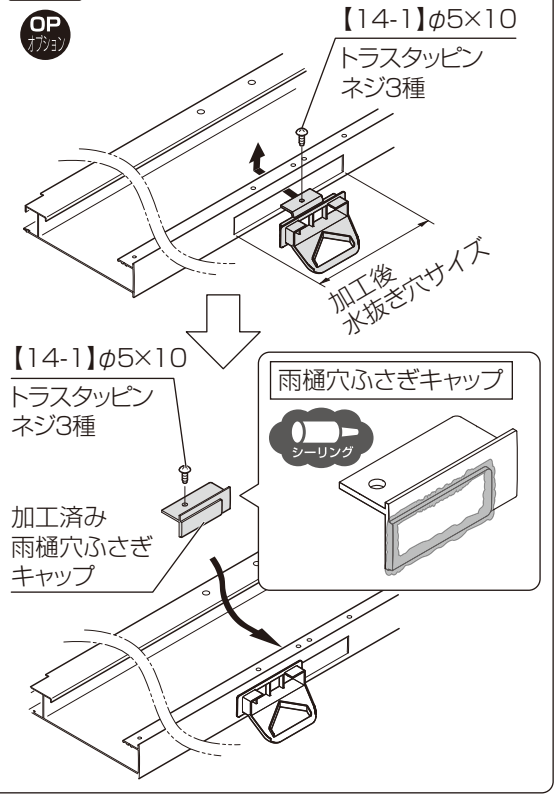
W30の場合は雨樋穴ふさぎキャップを取付けてください。



補 足

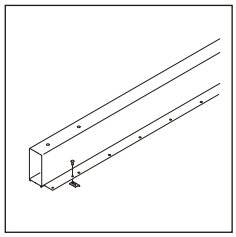
P.20
後枠開口部の加工は
P.20を確認してください。

●柱移動で柱(排水側)を移動する場合の取付方法



D649_202505M

2 梁への部品の取り付け



①後枠施工補助金具を【8-4】で梁に取り付けてください。
②水下ブロック(2台用)を梁フィン部にマスキングテープ等で仮止めしてください。

補 足

梁の後枠側には刻印(ウシロ)があります。

補 足

水下ブロックをマスキングテープ等で仮止めしてください。
後枠取付の際にネジで共締めします。

梁色がシャイングレーF、ナチュラルシルバーF **以外の場合**は、ブラックを使用してください。

ウシロ

【8-4】φ5×10
トラスタッピンネジ3種

梁フィン部

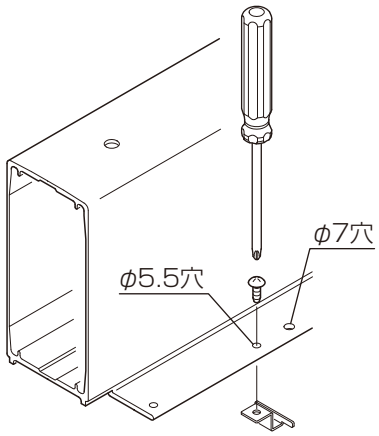
後枠施工補助金具

水下ブロック
(2台用)

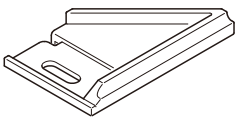
マスキングテープ等

お願い

手締めで取り付けてください。
強い力により、ネジが焼き付き、固着してしまう場合があります。

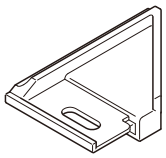


梁用(左)



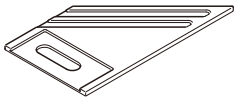
[部品番号] 634270A

梁用(右)



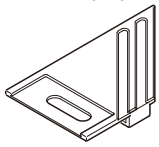
[部品番号] 634271A

側枠用(左)



[部品番号] 634874

側枠用(右)



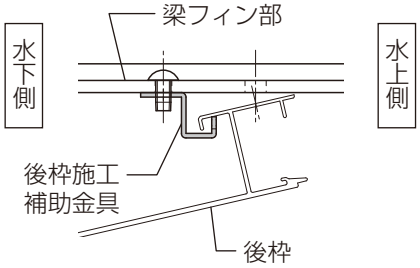
[部品番号] 634875

補 足

水下ブロックは 梁用と側枠用で形状が異なります。

お願い

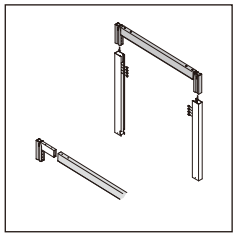
後枠施工補助金具の向き・取付け穴の位置に注意してください。
後枠施工補助金具は後枠を取り付ける際に使用します。



3 樋接続部品の取付 OP オプション

※事前準備として、P36の手順④⑤を行っておくと、取付工程までにシーリングが乾きます。

6 ブラケットと梁の取付け



①ブラケットを梁に差込み【8-2】で仮固定してください。
②ブラケットを柱に差込み【8-2】で仮固定してください。
③隙間ふさぎ部品を取り付けてください。
④仮固定した【8-2】を本締めしてください。

下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「SC 梁延長本体･照明　取付説明書(EXM-059)」
「SC 屋根照明 取付説明書(EXM-066)」
「SC 柱照明(屋外カメラ) 取付説明書(EXM-067)」

お願い

緩み止め剤硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。(締め付け後、約24時間で硬化します。)

ブラケット
【8-2】M8×30
六角ボルト緩み止め
止水ワッシャー付
梁

梁色がシャイングレーF、ナチュラルシルバーF**以外の場合**は、ブラックを使用してください。

【8-2】M8×30
六角ボルト緩み止め
止水ワッシャー付

ブラケット
柱
【8-2】M8×30
六角ボルト緩み止め
止水ワッシャー付

補　足

ブラケットは前枠側(水上)、後枠側(水下)で部品が異なります。

後枠側(水下)　隙間無し
前枠側(水上)　隙間有り

お願い

梁には向きがあります。
梁のフィンが内側になるように取り付けてください。

フィン内側

●排水柱

柱隙間
ふさぎ部品

●非排水柱

柱隙間
ふさぎ部品

柱隙間
ふさぎ部品

補　足

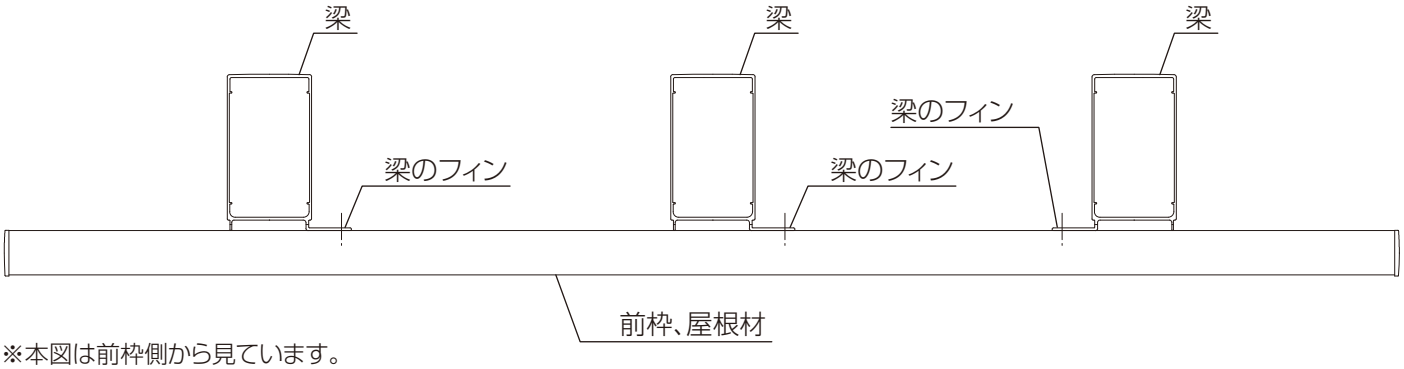
柱隙間ふさぎ部品には種類があります。
点線部分の形状で判断できます。

非排水
排水

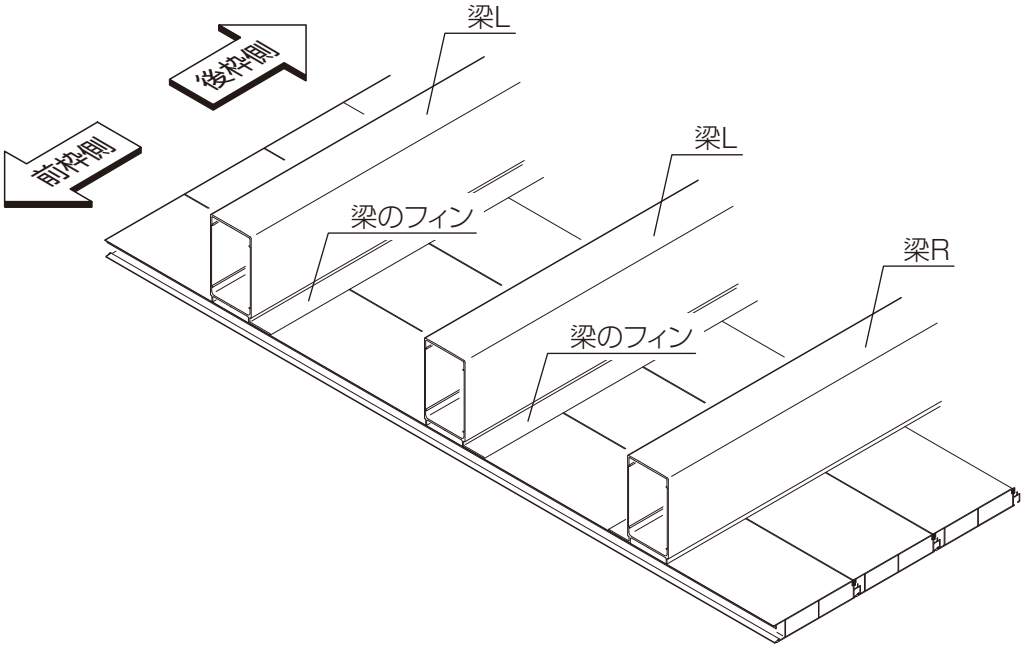
D649_202605P

梁の左右判断方法

3000 1台用·3000 2台用は梁が3本になります。
フィンが向かい合う梁間の下に脚立4台を設置すると施工しやすくなります。

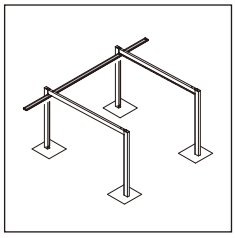


※本図は前枠側から見ています。



7 後枠の取付け

1 後枠の取付け



①後枠を後枠施工補助金具に引っ掛けてください。
②梁フィン部に後枠と水下ブロック梁用を【8-4】で取り付けてください。
③後枠を梁に裏板と【8-1】で固定してください。

梁色がシャイングレーF、ナチュラルシルバーF **以外の場合**は、ブラックを使用してください。

梁
後枠施工補助金具
後枠

【8-3】φ5×20
トラスタッピンネジ3種
水下ブロック
梁用
後枠
梁フィン部

補 足

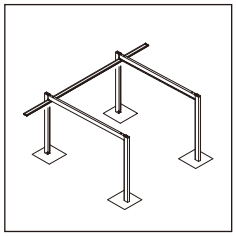
2段目のボルトに干渉する場合がありますが、そのまま取り付けてください。

2段目のボルト

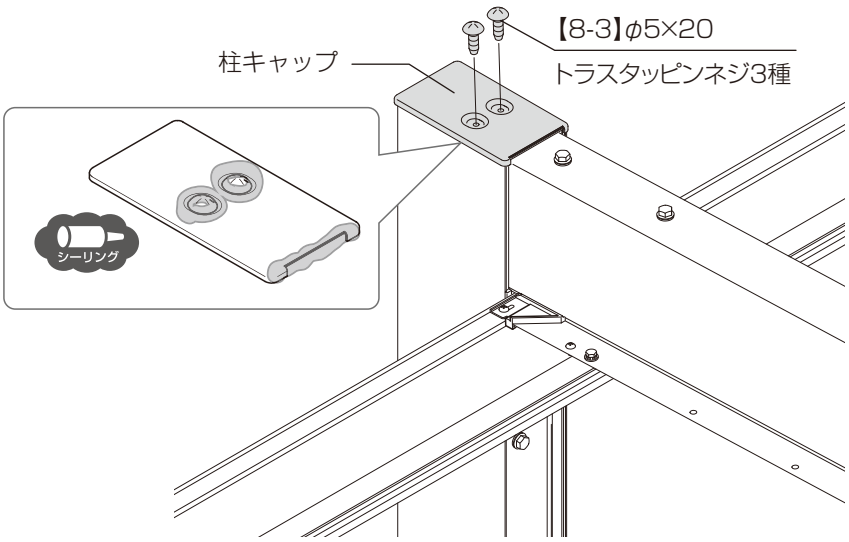
引っ掛ける

後枠
梁
【8-1】M6×20
六角ボルト緩み止め
止水ワッシャー付
裏板
後枠
裏板

2 柱キャップの取付け

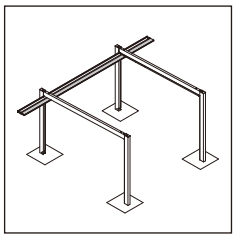


①柱キャップを【8-3】で取り付け、シーリングしてください。



※柱キャップは前枠側、後枠側の両方に取り付けてください。

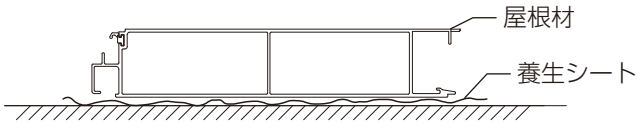
8 屋根材の取付け（1枚目）



①屋根材（1枚）を後枠に引っ掛け、裏板と【8-1】で仮固定してください。

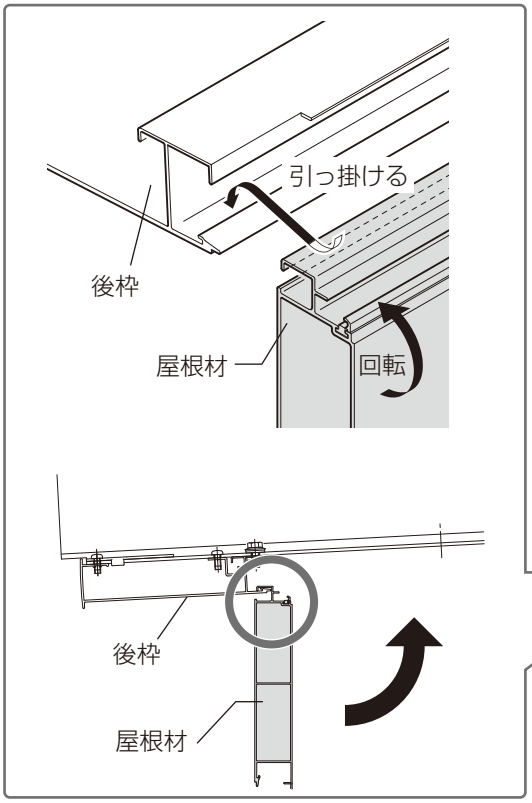
お願い

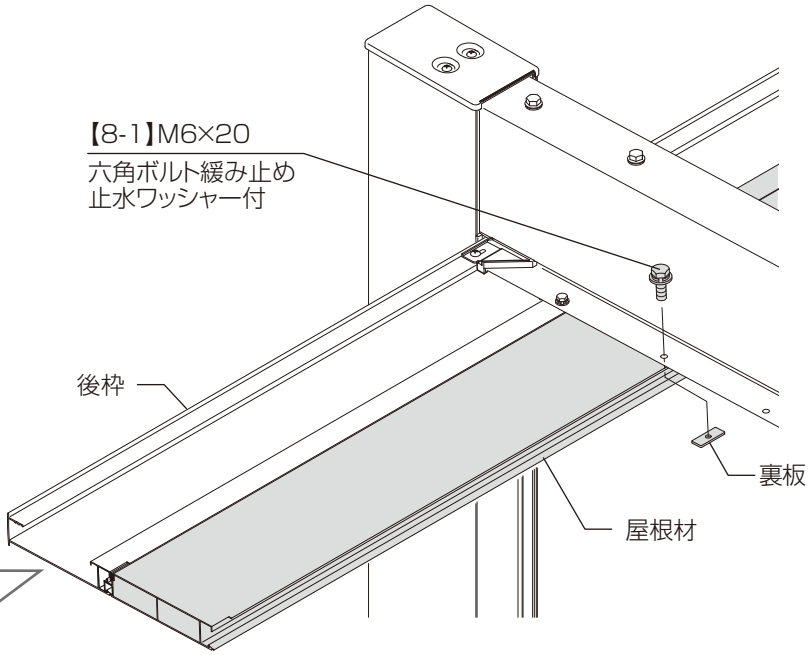
[屋根材を仮置きする場合]
下面が意匠面となるため、養生シートの上に置いてください。



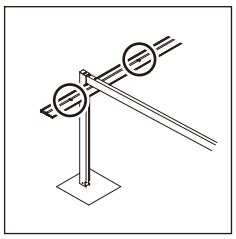
お願い

P.21
屋根を切り詰める場合、後枠と屋根材の端部に切欠きをしてください。





9 後枠固定金具の取付け



①後枠固定金具を後枠に【9-2】で取り付けてください。

お願い

後枠のたわみ防止のため、
後枠がガタつかないように、
取り付けてください。

【9-2】φ4×13
ナベドリルネジ
止水ワッシャー付

後枠固定金具

後枠

後枠固定金具

後枠

屋根材

屋根材（1枚目）

●2本柱

柱　柱　後枠

取付位置　取付位置　取付位置　取付位置

中間　1/3の位置　1/3の位置　中間

G.L.

●3本柱

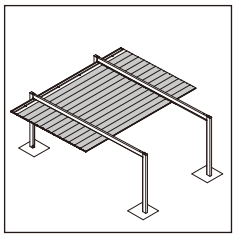
柱　柱　柱　後枠

取付位置　取付位置　取付位置　取付位置

中間　中間　中間　中間

G.L.

10 屋根材の取付け（2枚目～）



①屋根材同士を引っ掛け裏板と【8-1】で屋根材4枚目までを仮固定してください。
②直角を確認し、屋根材1～3枚目までを本固定してください。
③4枚目以降の屋根材を取り付けてください。

引っ掛ける

屋根材

屋根材

回転

後枠

屋根材

屋根材

【8-1】M6×20
六角ボルト緩み止め
止水ワッシャー付

後枠

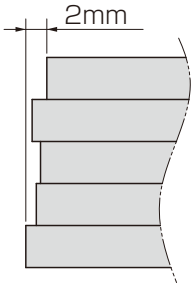
裏板

屋根材

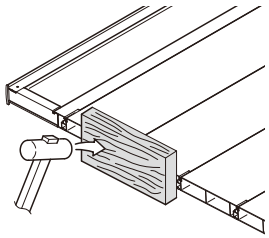
D649_202610Q

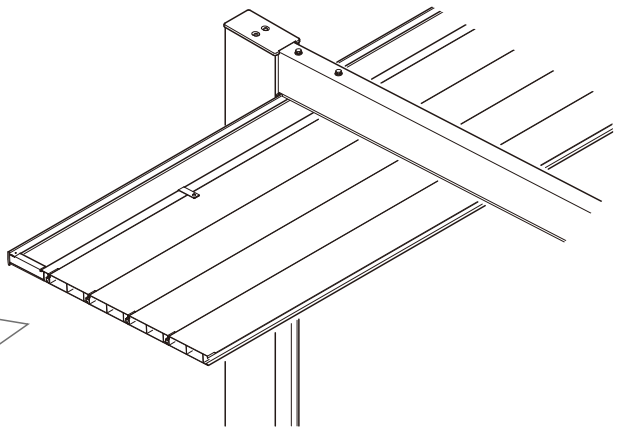
お願い

・屋根材端部は全体で±1mm（見た目で気にならないよう）にそろえてください。

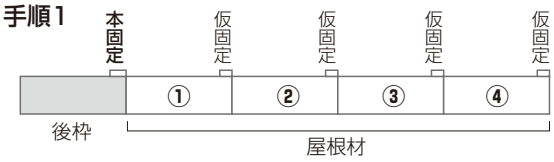


・端部をそろえるときはあて木をし、ハンマーでたたいてください。端部をそろえると直角になります。





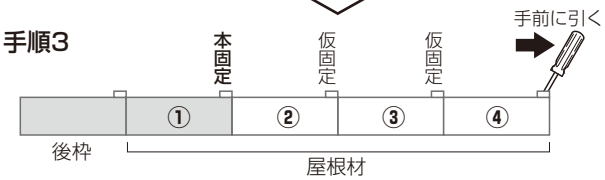
手順1



手順2

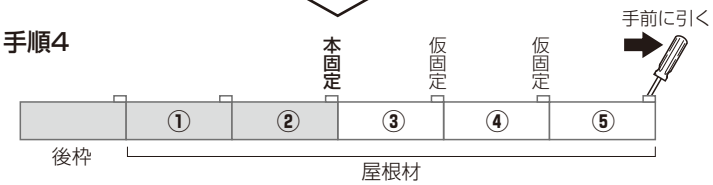
直角の確認
（梁の先端の距離と根元の距離を確認）

手順3



お願い　①を本固定する時は、④にドライバー等を差込み、ドライバーを手前に引いた状態でおこなってください。

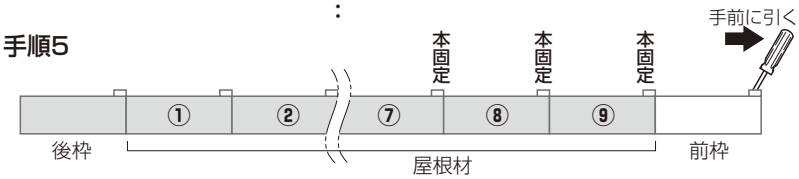
手順4



お願い　②を本固定する時は、⑤にドライバー等を差込み、ドライバーを手前に引いた状態でおこなってください。

⋮

手順5



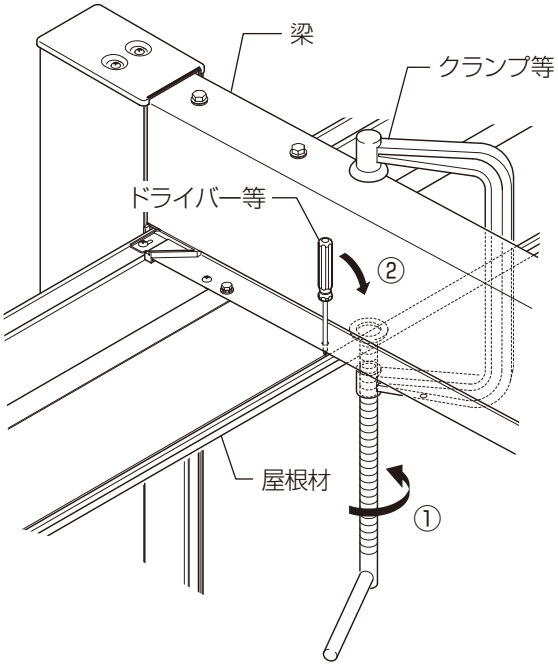
お願い　前枠にドライバー等を差込み、ドライバーを手前に引いた状態で残りの屋根材を本固定してください。

手順6

前枠を裏板とボルトで本固定

補足

●屋根材の保持が難しい場合

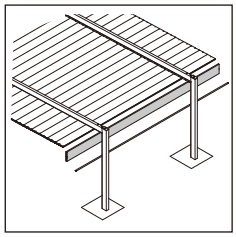


①取付ける屋根材と梁をクランプ等で挟み、取付ける屋根材の穴にドライバー等を差し込んでください。
②クランプを締めながらドライバーを手前に引いてください。

お願い

・クランプで挟む際に屋根材を締め付け過ぎないように注意してください。
屋根材が変形することがあります。
・クランプで挟む際に屋根材に傷がつかないように 注意してください。

11 前枠・前枠カバーの取付け

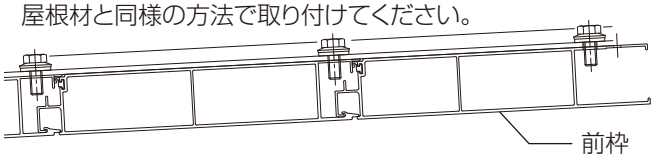


①前枠を屋根材に引っ掛け【8-1】で取り付けてください。
②前枠カバーを前枠に仮置きしてください。
③前枠カバーを【9-2】で取り付けてください。

下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「SC 屋根照明 取付説明書(EXM-066)」
「SC 柱照明(屋外カメラ) 取付説明書(EXM-067)」

●前枠の取付方法
屋根材と同様の方法で取り付けてください。



お願い

屋根材に照明を取り付ける場合は「SC 屋根照明 取付説明書(EXM-066)」を参照してください。

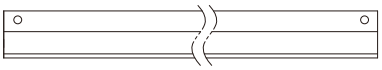
柱移動でネジと梁が干渉するときは、既存穴近くでネジ固定してください。
※既存穴は、シーリングしてください。

【9-2】φ4×13
ナベドリルネジ
止水ワッシャー付

屋根材
前枠
前枠カバー

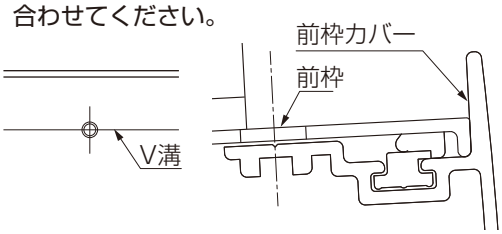
補 足

前枠カバーの両端部の加工穴を基準に取り付けてください。

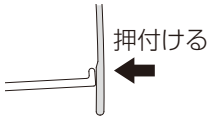


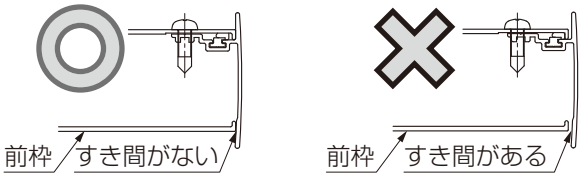
●前枠カバーの取付方法

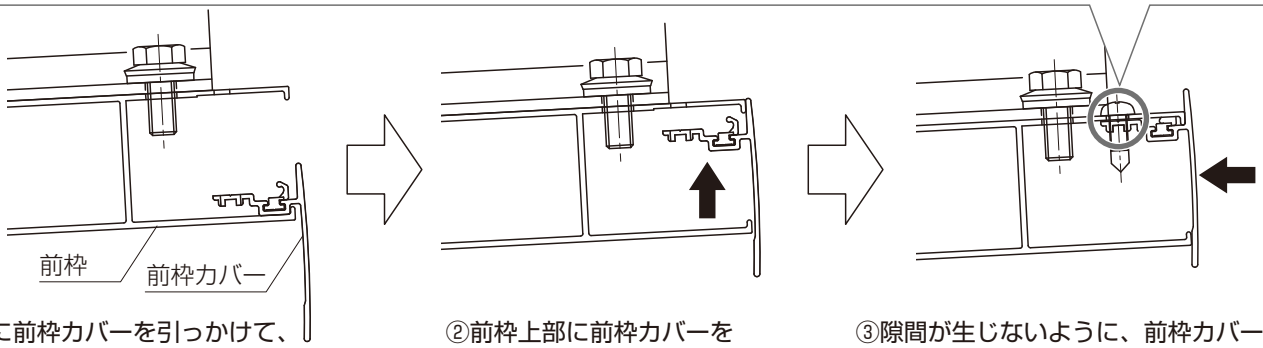
・前枠の加工穴の中心に、前枠カバーのV溝を合わせてください。



・前枠と前枠カバーの間にすき間がないように、押付けてネジ止めしてください。すき間があると、前枠加工穴中心と前枠カバー V溝が合いません。







①前枠に前枠カバーを引っかけて、仮置きしてください。

②前枠上部に前枠カバーを押し当ててください。

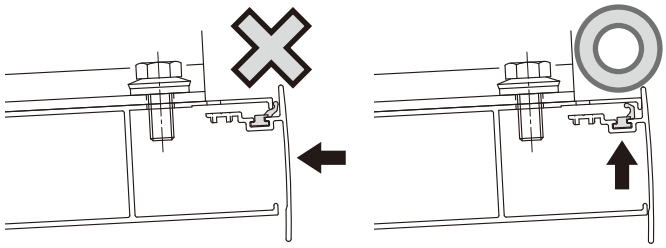
③隙間が生じないように、前枠カバーを押し付けてネジで取付けてください。

補 足

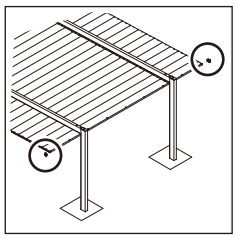
●柱移動でネジと梁が干渉するときは、既存穴近くでネジ固定してください。既存穴は、シーリングしてください。
●前枠カバーにうつし穴をあけて施工する方法もあります。

お願い

●前枠カバーは横方向から嵌め込まないでください。ビード材がねじれて取付くと漏水の原因となります。



12 前枠コーナーキャップの取付け



①後枠･屋根材の切欠き部と端部にシーリングしてください。
②前枠･前枠カバーの側面にシーリングし、前枠コーナーキャップを取り付けてください。

シーリング

前枠
コーナーキャップ

シーリング

後枠コーナーキャップ
後枠
屋根材
屋根材
前枠

お願い

シーリング材をヘラで押さえて形材とビード材のすき間に充填してください。

ヘラ

シーリング

端部にもシーリングをしてください。

お願い

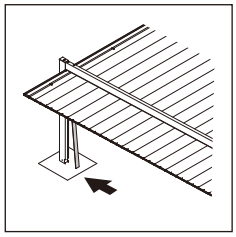
破線部分にシーリングしないようにしてください。

お願い

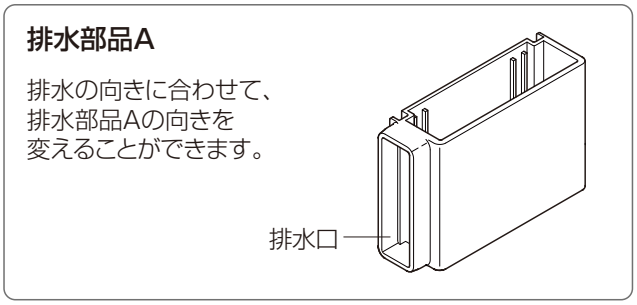
シーリングはヘラ等で押えて密着させてください。
※漏水の原因となりますので、シーリングを完全に乾かしてください。

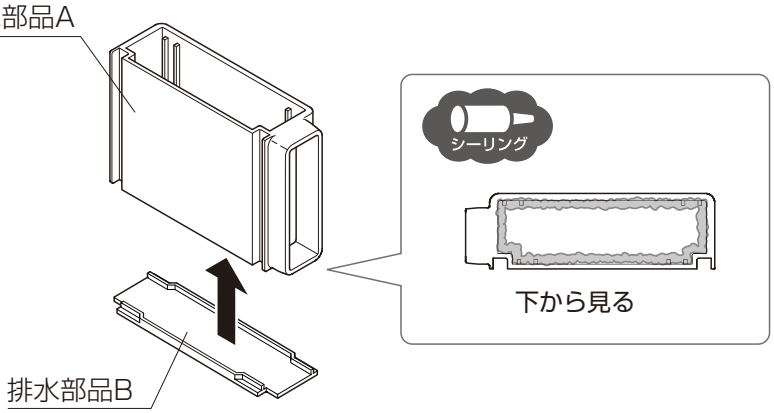
D649_202610Q

13 柱カバー・排水部品の取付け



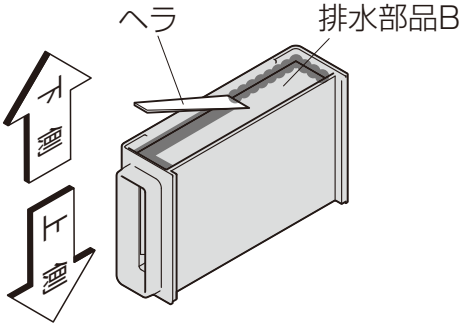
①排水部品Bを排水部品Aの下部にはめ込んでください。
②排水部品Aと排水部品Bの接合部にシーリングしてください。



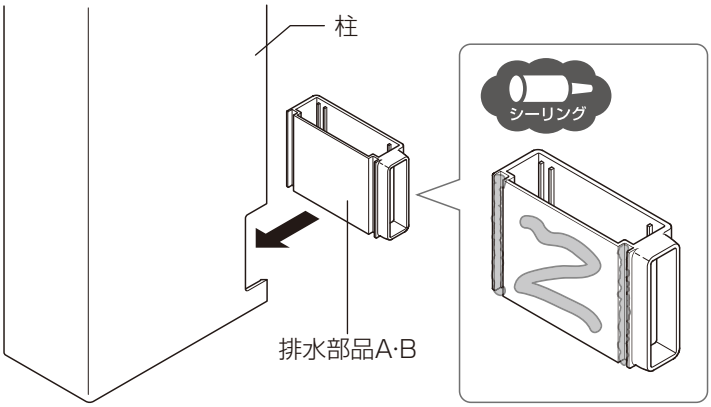


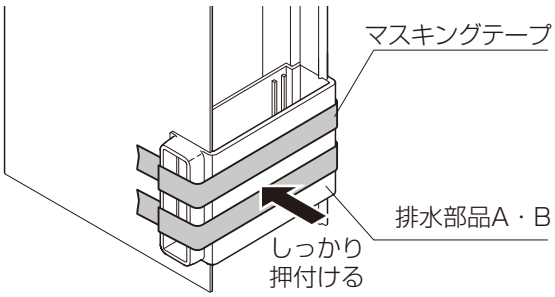
お願い

排水部品Bはシーリング材で固定します。シーリングした後、
ヘラなどでシーリング材を隙間なくのばしてください。
シーリング材がしっかり乾いてから取付けてください。



③排水部品の背面にシーリングし、柱に貼付けてください。
④排水部品をマスキングテープで固定してください。

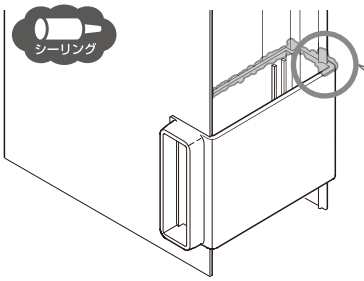




お願い

排水部品を接着させるため、シーリング材は充分に
塗布してください。
シーリング材がしっかり乾いてからマスキングテープをはがしてください。

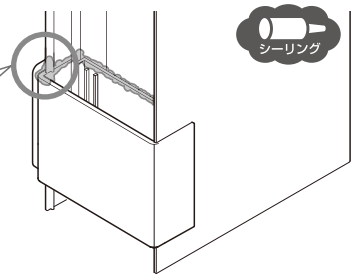
⑤排水部品内側にシーリングしてください。



左側から見る

お願い

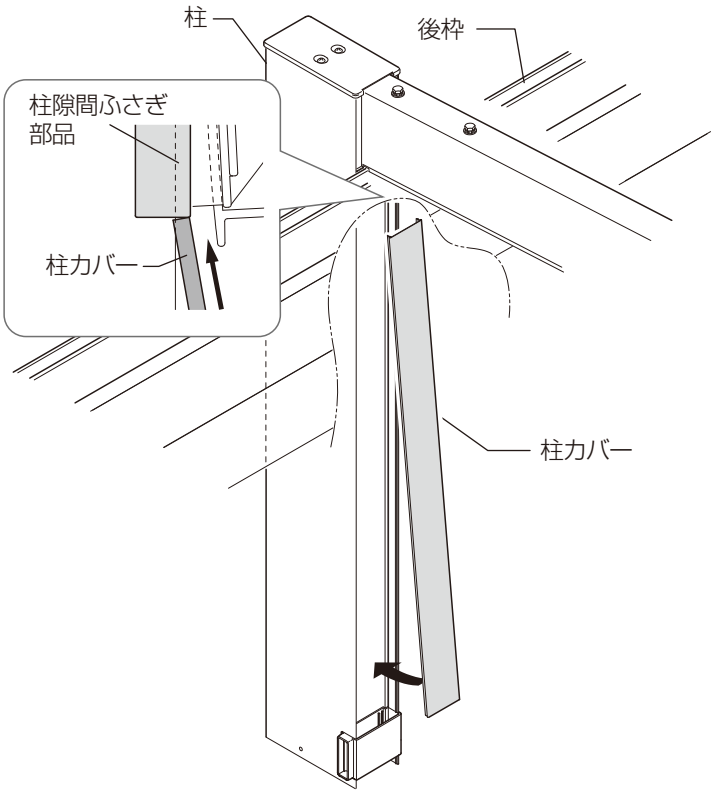
柱カバーを差込んだときに、シーリング材が途切れないように柱カバー側の角部にシーリング材を多めに塗布してください。



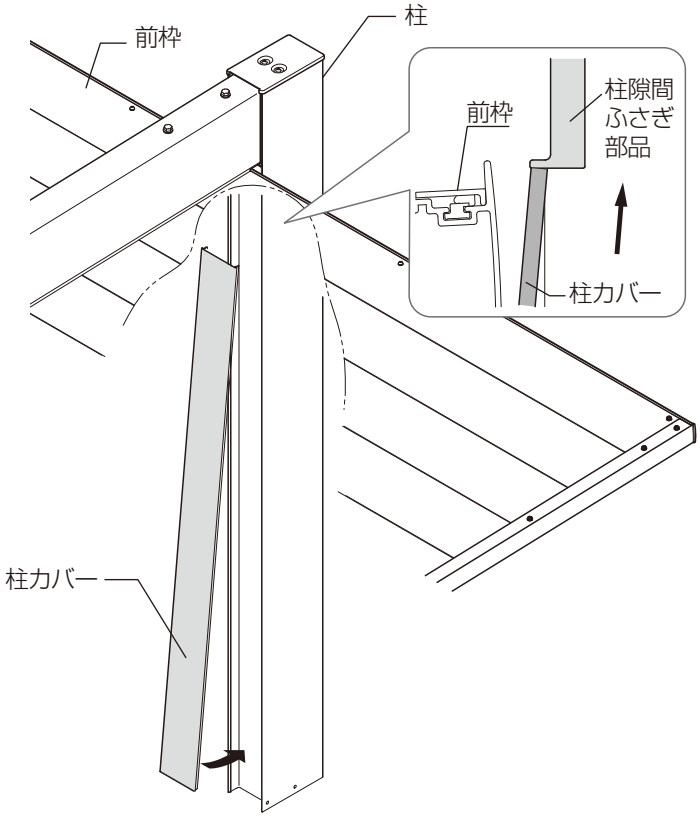
右側から見る

⑥柱カバーを後枠と柱の隙間に差し込み、柱にはめ込んでください。
⑦排水部品と柱カバーの接合部にシーリングしてください。

●後枠側の取付け方

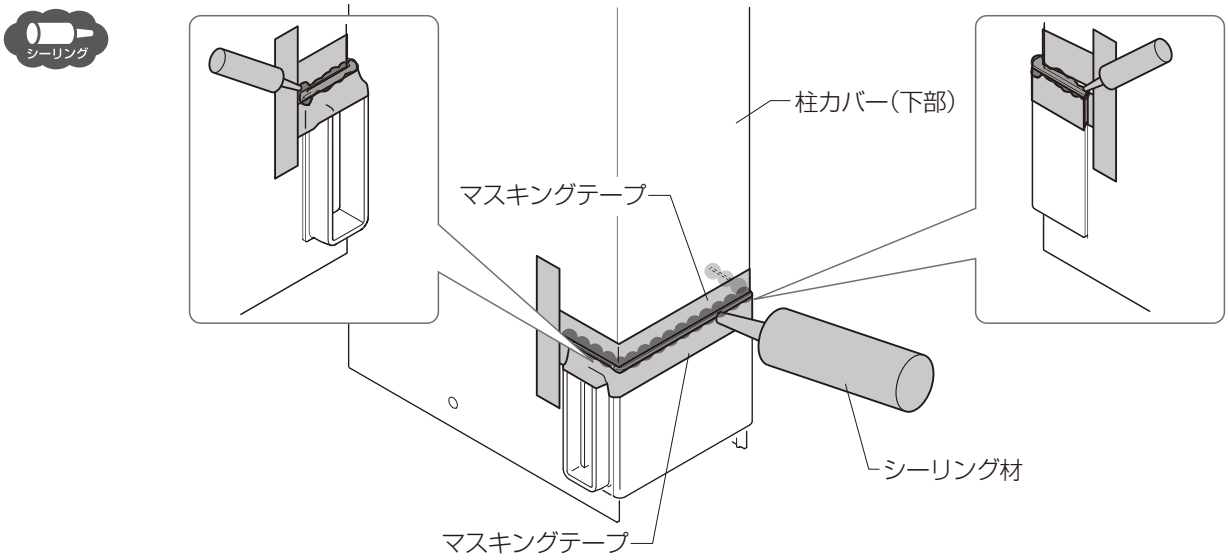


●前枠側の取付け方

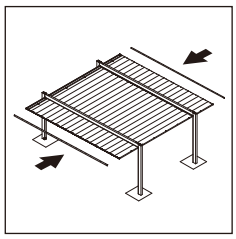


補　足

排水部品が柱にしっかり固定されていて、シーリング材が乾いていることを確認してください。
柱や柱カバーにシーリング材がつかないようにマスキングテープで保護してください。



14 側枠の取付け



①後枠コーナーキャップ上部にシーリングしてください。
②水下ブロック側枠用と一緒に側枠を【9-2】で後枠側から取り付けてください。
③前枠コーナーキャップと側枠の隙間にシーリングしてください。
④後枠と側枠の上面の隙間にシーリングしてください。

お願い

P.32
P.32で行なった屋根材端部と側面のシーリングが完全に乾いてから側枠を取り付けてください。

④
シーリング

②
【9-2】φ4×13
ナベドリルネジ
止水ワッシャー付
水下ブロック
側枠用R
後枠
側枠
後枠コーナー
キャップ

①
シーリング
後枠
後枠コーナー
キャップ
屋根材

【9-2】φ4×13
ナベドリルネジ
止水ワッシャー付
側枠

【9-2】φ4×13
ナベドリルネジ
止水ワッシャー付
側枠

③
シーリング
前枠コーナー
キャップ
側枠
前枠カバー

前枠側
後枠側
26
9

補 足

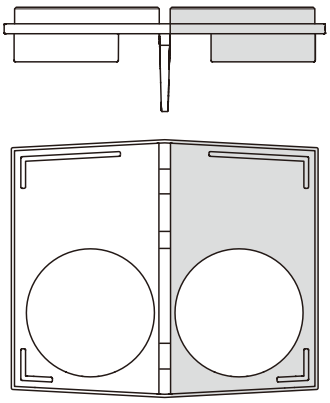
・後枠の加工穴を基準に前枠に向かって取り付けてください。
・側枠には右用・左用があります。向きに注意してください。

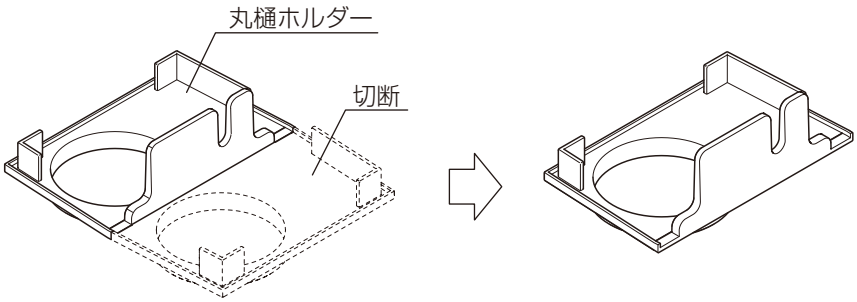
D649_202610Q

□ 樋接続部品の取付け（オプションの作業）

※本取説での説明は、柱の左側へ排水する場合を示します。

①丸樋ホルダーをの不要側をノコギリ等で切断してください。

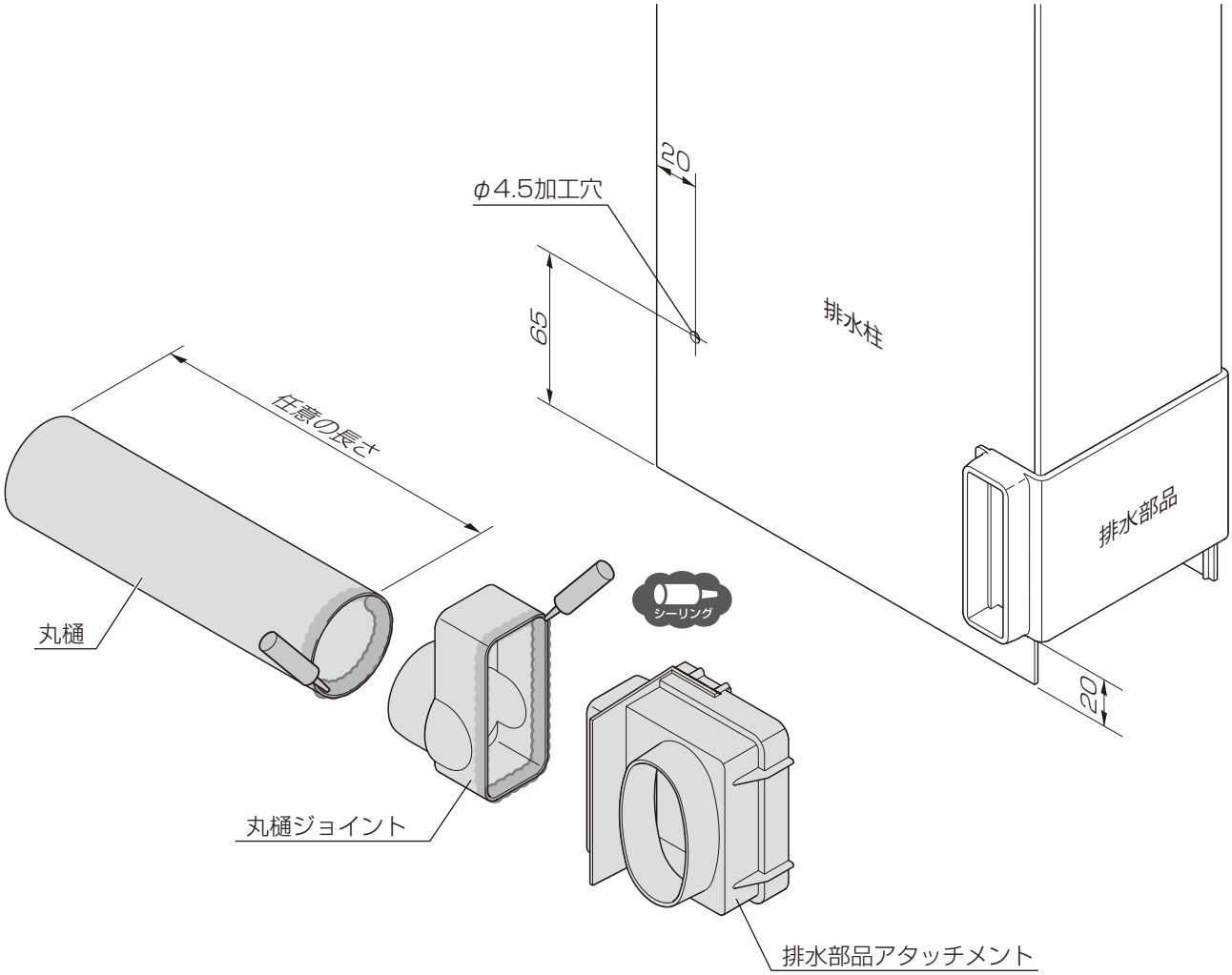




お願い

切断前に排水部品の向きを確認して、加工を間違えないようにしてください。

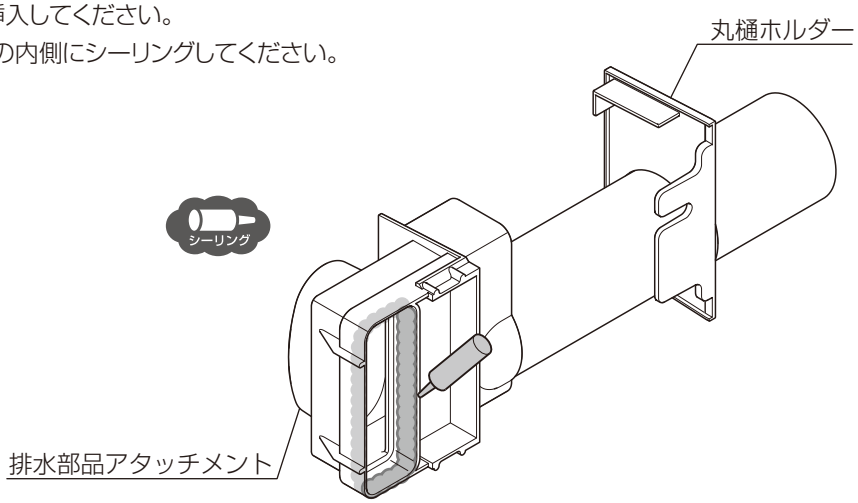
②柱側面にφ4.5の穴加工をしてください。
③丸樋を切断加工してください。
※現場の状況に合わせて任意の長さで切断加工してください
④丸樋と丸樋ジョイントにシーリングしてください。
⑤丸樋ジョイントと排水部品アタッチメント、丸樋を組付けてください。



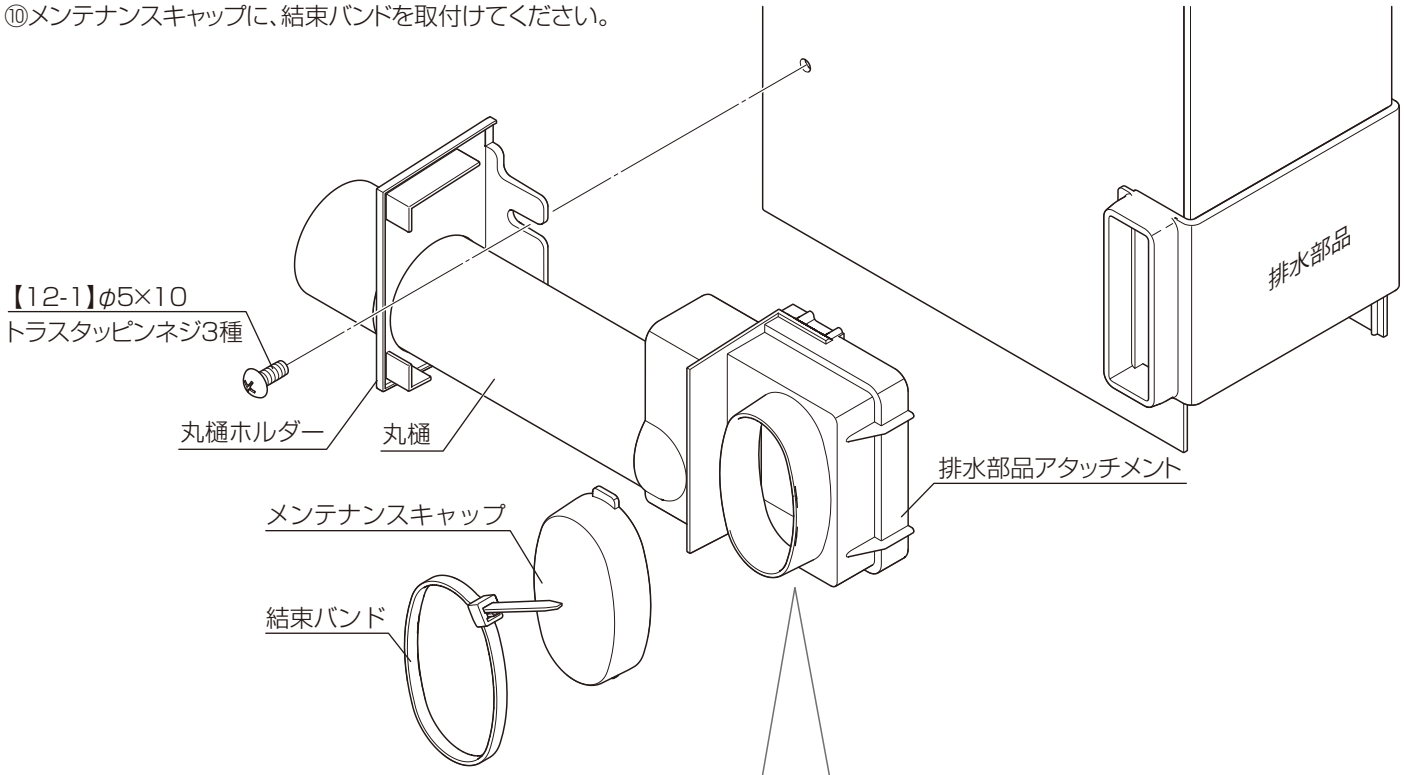
お願い

丸樋と丸樋ジョイントのシーリング材が乾いてから次の工程を行ってください。

⑥丸樋に丸樋ホルダーを挿入してください。
⑦排水部品アタッチメントの内側にシーリングしてください。

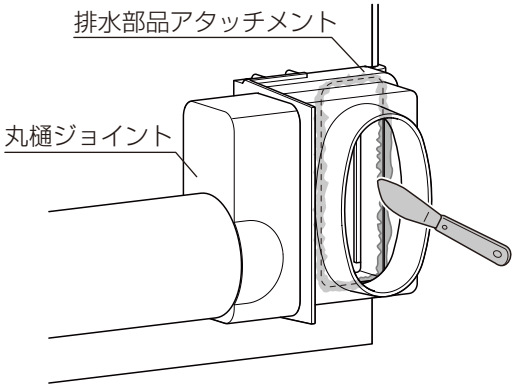


⑧排水部品に排水部品アタッチメントを取付け、丸樋ホルダーを【12-1】で固定してください。
⑨排水部品アタッチメントにメンテナンスキャップを取付けてください。
⑩メンテナンスキャップに、結束バンドを取付けてください。



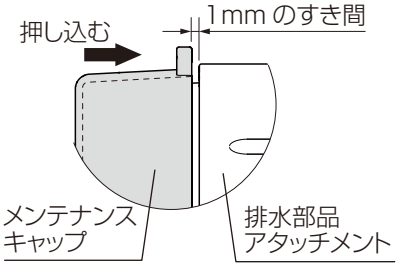
お願い

排水部品との組付け時に、はみ出したシーリングは、ヘラ等でならしてください。

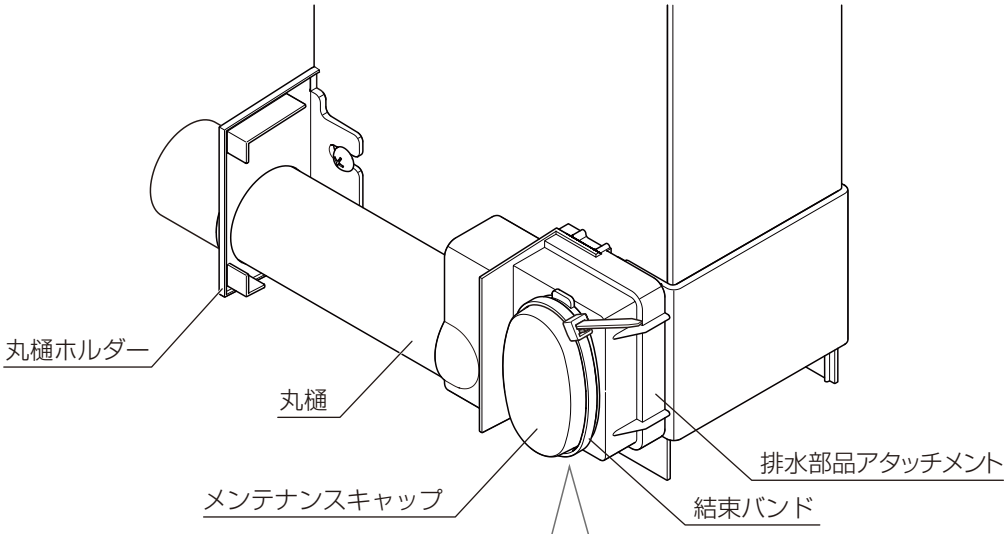


補　足

排水部品アタッチメントの突起窓へメンテナンスキャップを奥まで押し込んでください。

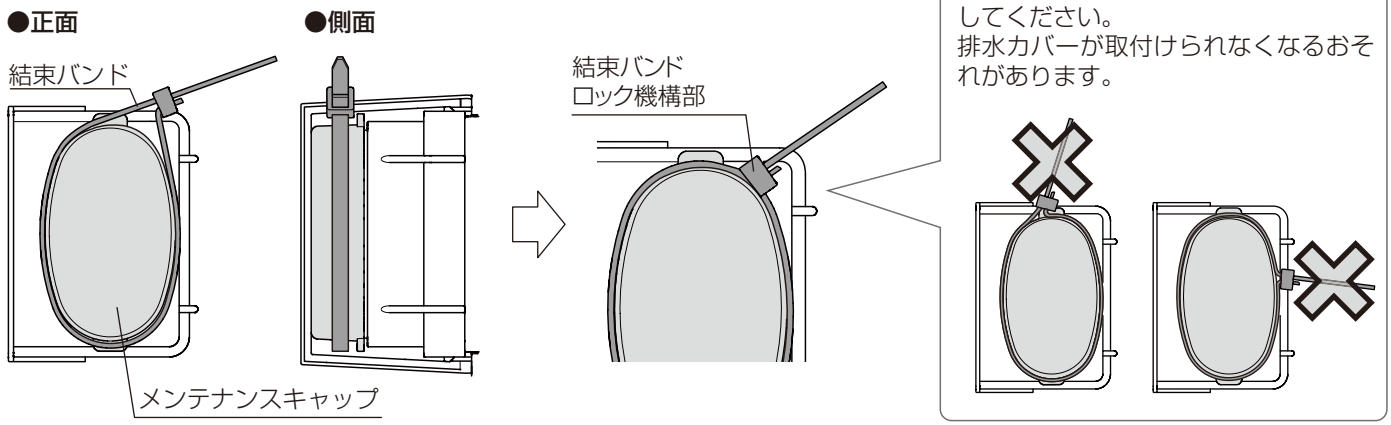


D649_202506K



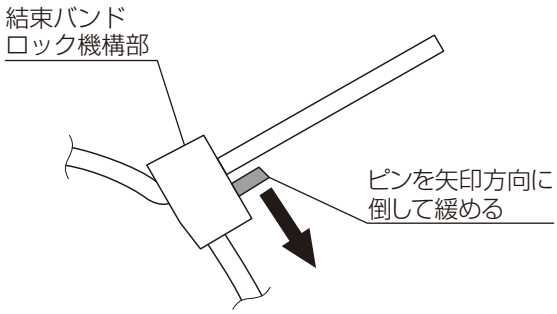
お願い

結束バンドのロック機構部の位置は、メンテナンスキャップの右上で締め込んでください。
※排水カバーに干渉しないよう調整してください。

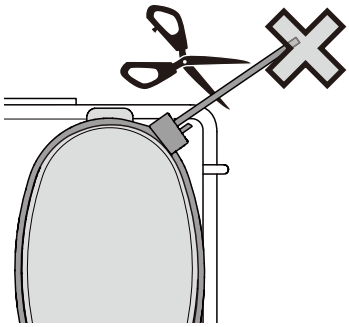


補 足

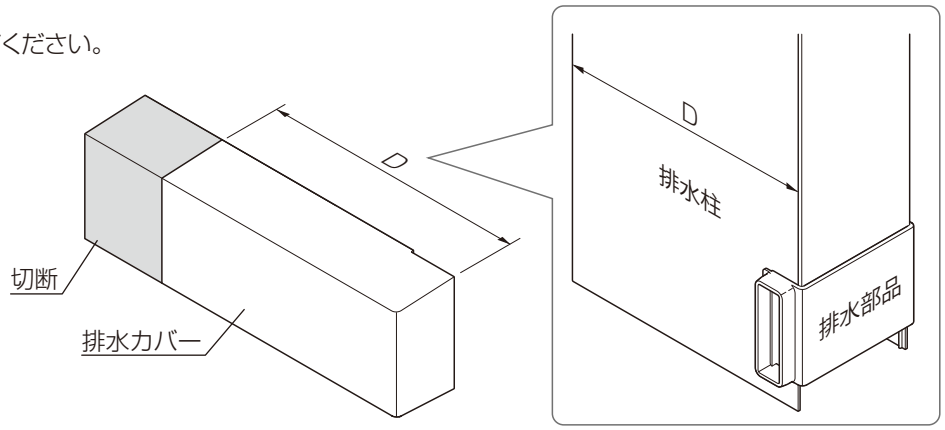
●結束バンドの位置調整は、緩めてから行ってください。



●結束バンドの端部は切断しないでください。
メンテナンス時に結束バンドを外せなくなったり、排水カバーが取付けられなくなるおそれがあります。

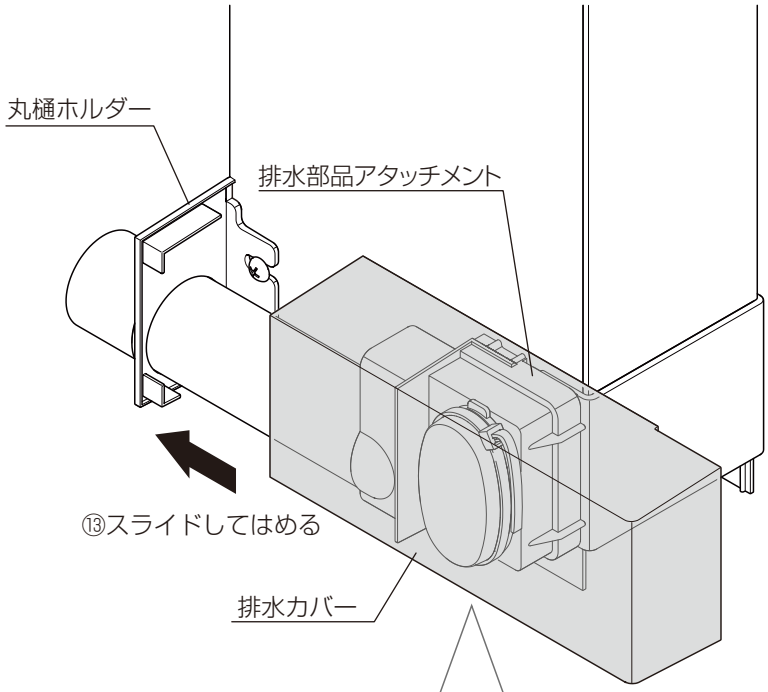


⑪柱のD寸法に合わせて、排水カバーを切断してください。



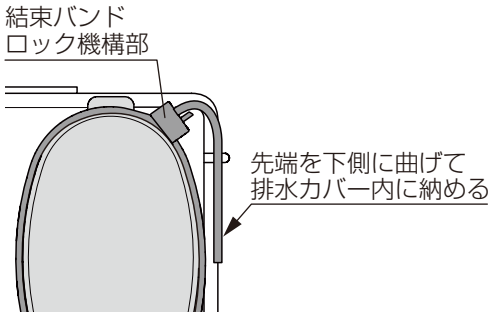
D649_202506K

⑫排水カバーをスライドさせて排水部品アタッチメントへはめ込んでください。



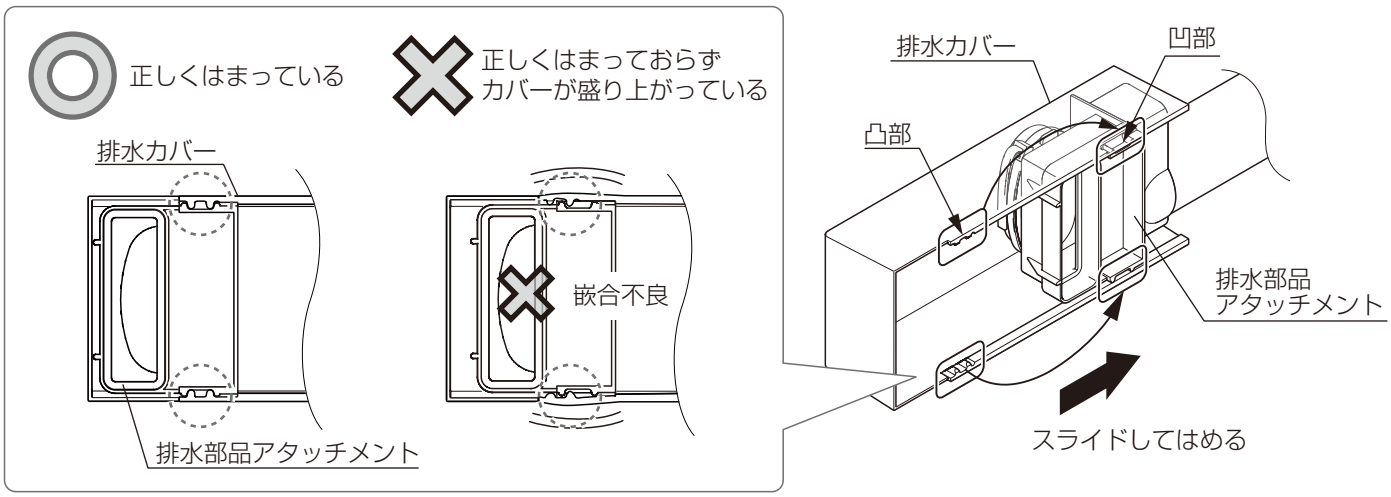
補　足

干渉する結束バンドは畳んで、排水カバー内に納めてください。



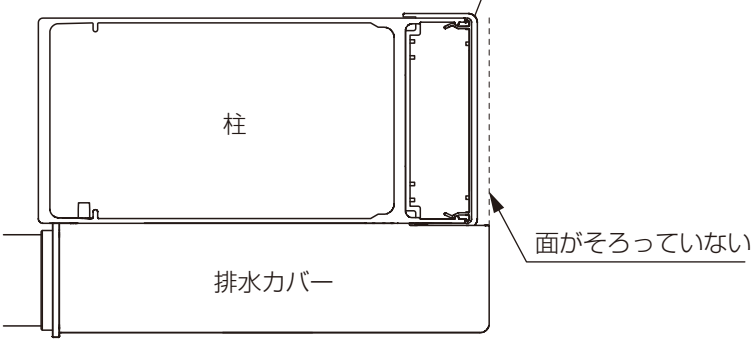
補　足

排水カバーの凸部を、排水部品アタッチメントの凹部に、正しくはめ込んでください。

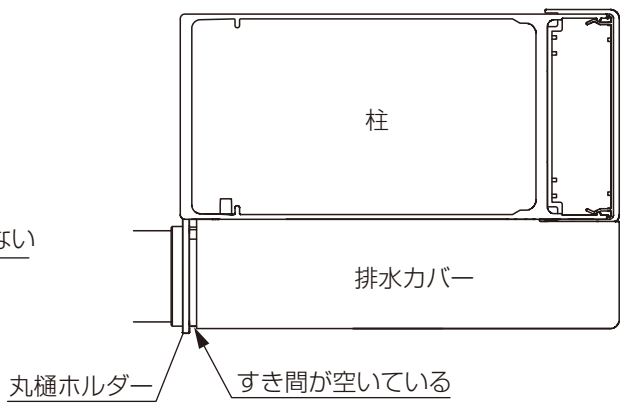


補　足

〈排水部品と面がそろっていない場合〉
排水カバーの長さを調整してください。



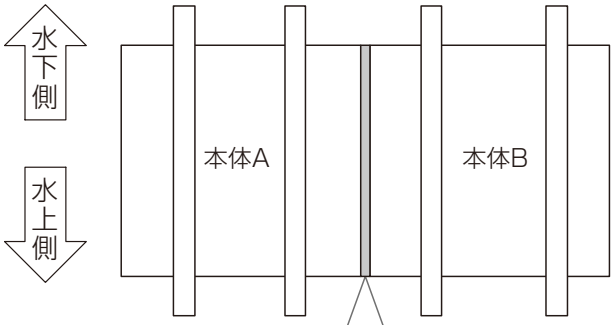
〈すき間が空いている場合〉
丸樋ホルダーの取付位置を調整してください



D649_202506K

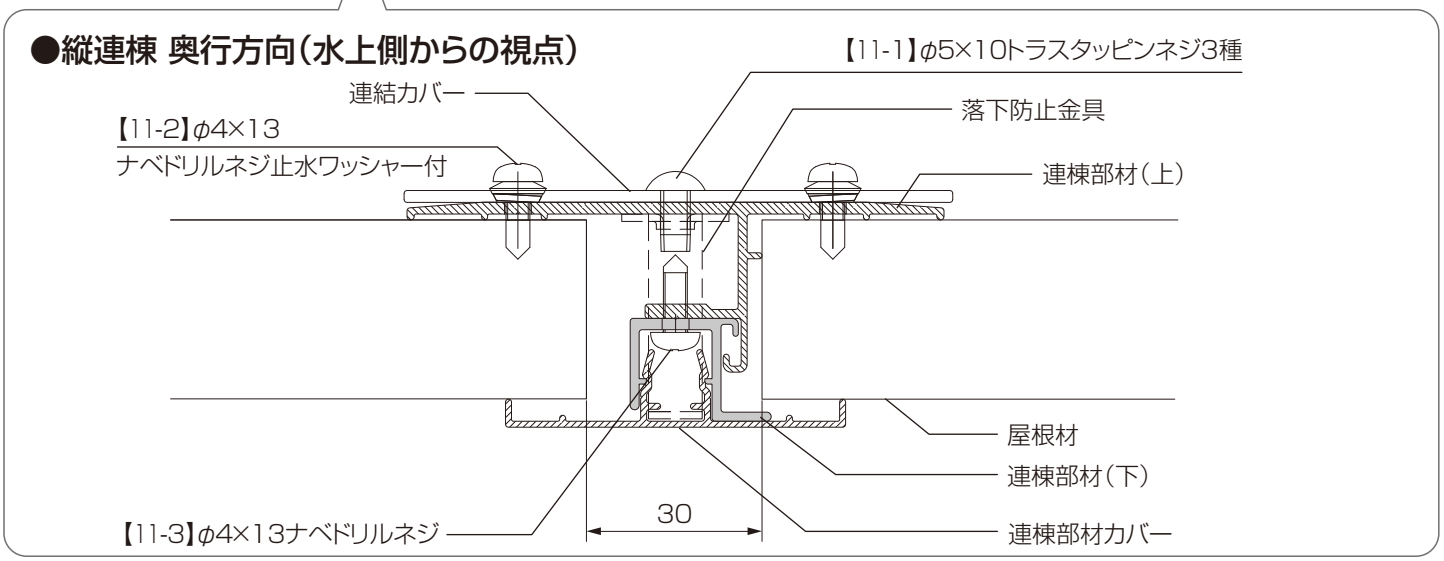
縦連棟タイプの施工

OP オプション　縦連棟　【縦連棟】の場合の作業です。

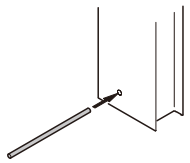
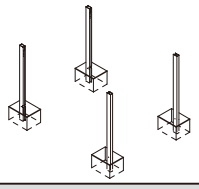
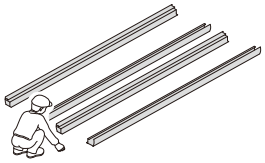
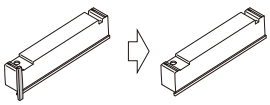
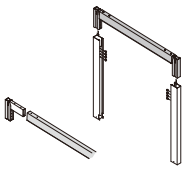
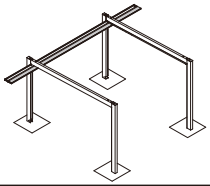
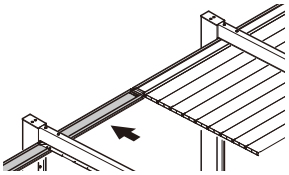
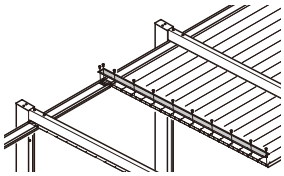
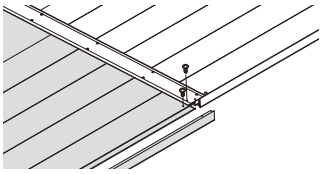
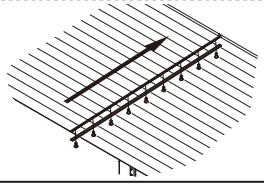


下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「SC 屋根照明 取付説明書(EXM-066)」
「SC 柱照明(屋外カメラ) 取付説明書(EXM-067)」
「SC サイドスクリーン 取付説明書(D647)」



施工の流れ

柱の建て込み準備	柱の建て込み	部材の加工(柱移動・オプションの場合)	1 部品の取付け
P.17 基本タイプ　P.17を事前に確認してください。	P.19 基本タイプ　P.19を事前に確認してください。	P.20 基本タイプ　P.20を事前に確認してください。	P.22 P.41を参照してください。基本タイプ　P.22も事前に確認してください。
			
ブラケットと梁の取付け	**2 屋根部(1台目)の取付け**	**3 後枠(2台目)の取付け**	**4 連棟部材(上)の取付け**
P.25 基本タイプ　P.25を事前に確認してください。	P.27～ P.41を参照してください。基本タイプ　P.27～も事前に確認してください。	P.27～ P.41を参照してください。基本タイプ　P.27～も事前に確認してください。	P.42を参照してください。
			
5 屋根部(2台目)の取付け	**6 連棟部材の取付け**		
P.28～ P.43を参照してください。基本タイプ　P.28～も事前に確認してください。	P.44を参照してください。		
			

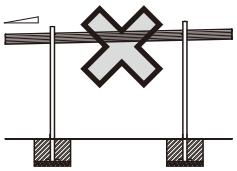
■縦連棟(L50･L57)の確認事項

□ 姿図

お願い

屋根部に水勾配はつけないでください。

排水部が端部にないため、水勾配を設けると雨水がたまることがあります。



お願い

柱内の水が抜けるように必ず砕石を敷いてください。

⚠注意

柱移動

柱移動の場合の作業です。

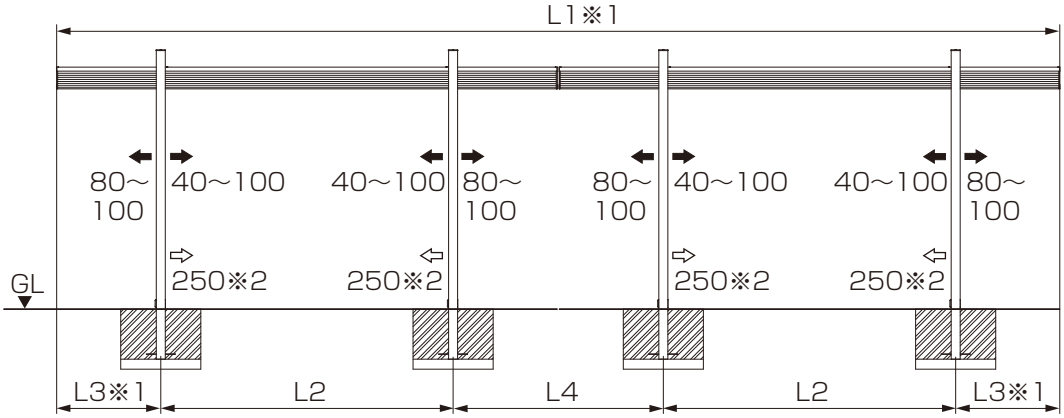
OP オプション

【柱移動】をする場合

・柱芯々寸法は外側100mm、内側500mm以内で柱移動してください。柱を101mm以上移動させる場合、両側の柱を均等に移動させてください。
ただし、柱外側80mm、柱内側40mmの範囲は移動できません。

※他の部材と干渉するため、取付けは不可となります。

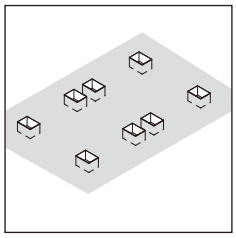
・**1500 1台用は100mmを超えて柱移動することはできません。**



奥行	L1	L2	L3	L4
L50	10025	2920	1040	2105
L57	11425	3320	1190	2405

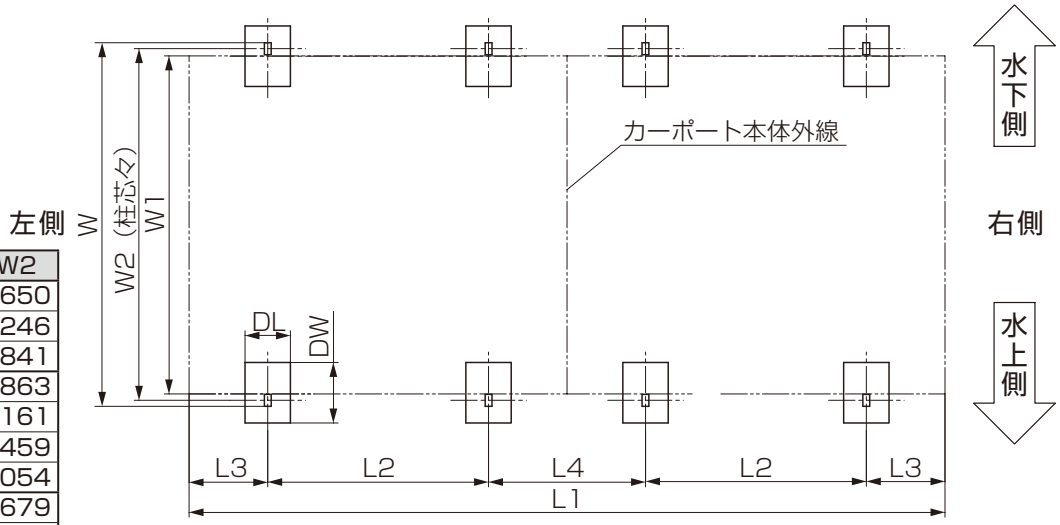
※1:照明用側枠を使用する場合、片側のみ使用は+14.5mm、両側使用は+29mmしてください。
※2:柱移動する場合は、条件があります。注意事項を確認してください。
※3:本図は前枠側から見ています。

□ 基礎の墨出し



P.14

【連結部以外の基礎寸法数値について】
基礎寸法「DW」「DL」「DH」は『P.14』を参照してください。



タイプ	間口	W	W1	W2
2台用	W48	4808	4469	4650
	W54	5404	5065	5246
	W60	5999	5660	5841
1500 1台用	W30	3021	2682	2863
	W33	3319	2980	3161
	W36	3617	3278	3459
	W42	4212	3873	4054
1500 2台用	W48	4866	4469	4679
	W54	5461	5065	5274
	W60	6057	5660	5870

■縦連棟(L50･L57)の確認事項（つづき）

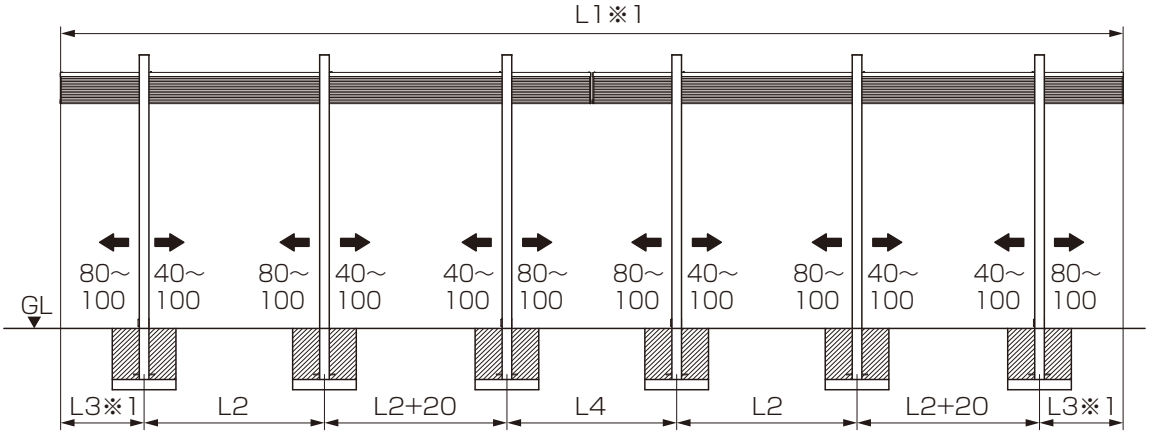
□ 姿図

⚠注 意

柱移動の場合の作業です。

【柱移動】をする場合

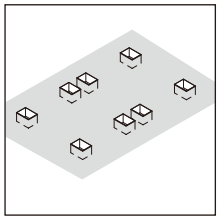
・柱芯々寸法±100mm以内で柱移動してください。ただし、柱外側80mm、柱内側40mmの範囲は移動できません。
・中間柱は水上側から見て左側80mm、右側40mmの範囲は移動できません。
※他の部材と干渉するため、取付けは不可となります。



奥行	L1	L2	L3	L4
L50	10025	1700	790	1605
L57	11425	1900	940	1905

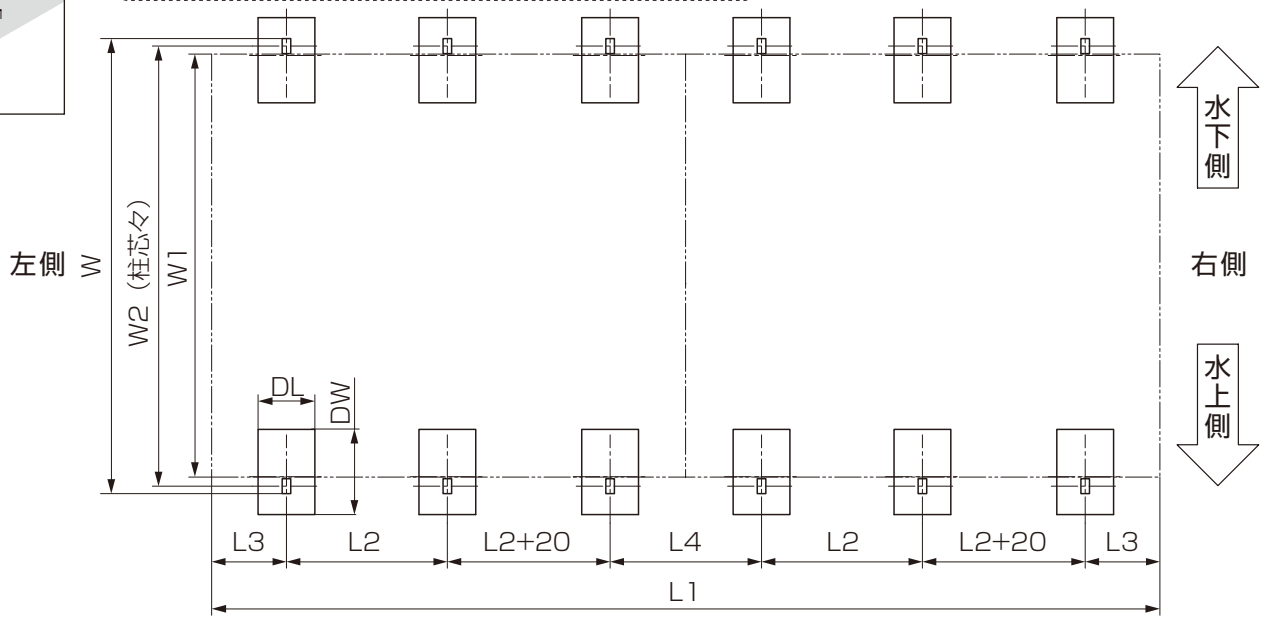
※1:照明用側枠を使用する場合、片側のみ使用は+14.5mm、両側使用は+29mmしてください。
※2:本図は前枠側から見ています。

□ 基礎の墨出し



P.14

【連結部以外の基礎寸法数値について】
基礎寸法「DW」「DL」「DH」は『P.14』を参照してください。

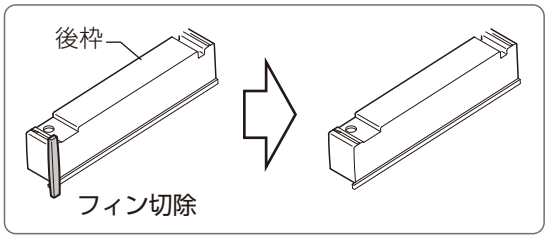


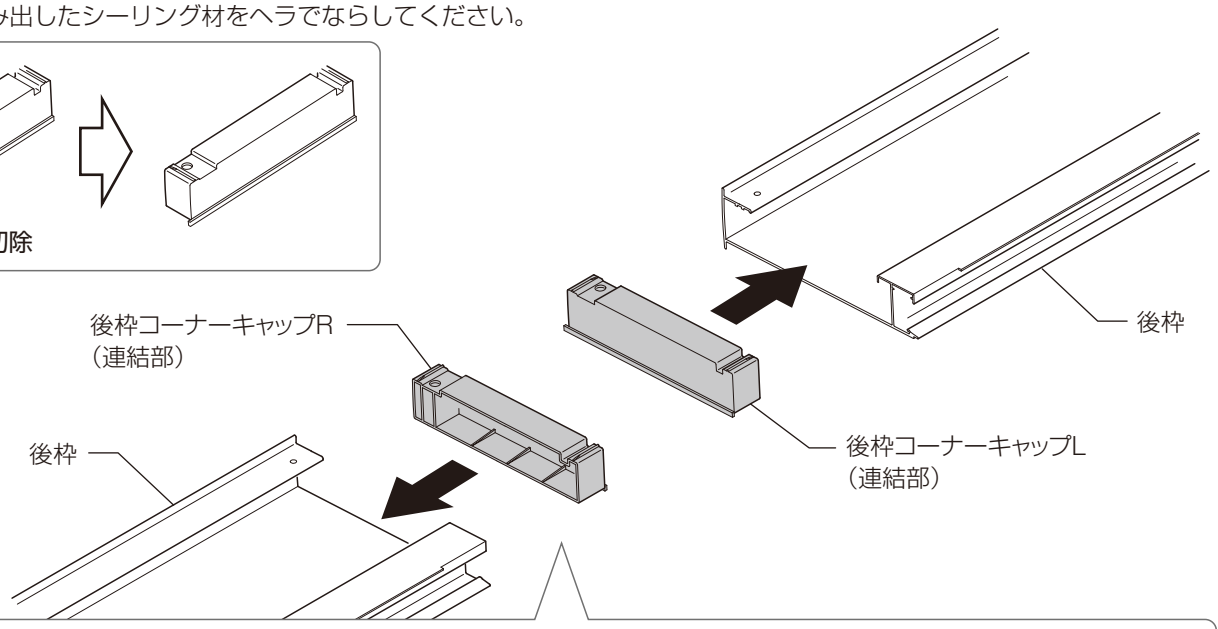
タイプ	間口	W	W1	W2
3000 1台用	W30	3021	2682	2863
	W33	3319	2980	3161
	W36	3617	3278	3459
	W42	4212	3873	4054
3000 2台用	W48	4866	4469	4679
	W54	5461	5065	5274
	W60	6057	5660	5870

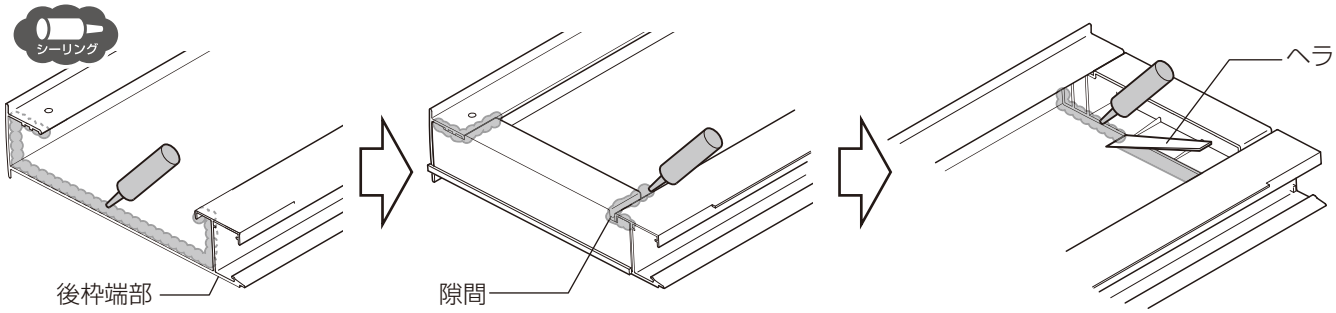
1 部品の取付け

後枠

①連結部に取付ける後枠コーナーキャップL、Rのフィンを切除してください。
②後枠連結部にシーリング材を塗布してください。
③後枠コーナーキャップを連結部に差し込んでください。
④後枠コーナーキャップを取付け後に、外側から隙間にシーリング材を塗布してください。
⑤内側からはみ出したシーリング材をヘラでならしてください。







外側から見る　　内側から見る

お願い

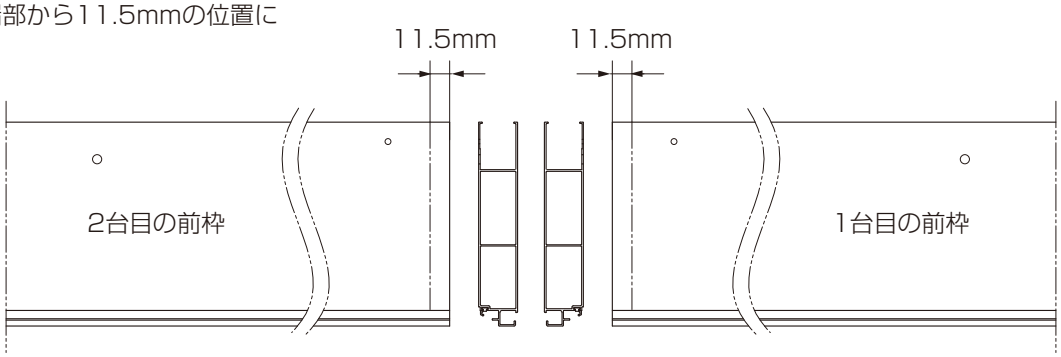
後枠コーナーキャップを差込んだときに、シーリング材が途切れないようにシーリング材を多めに塗布してください。

お願い

内側に溜まったシーリング材を、隙間なくヘラでならしてください。
シーリング材が溜まっていない場合は、内側からシーリング材を塗布してください。

前枠

①連棟部材を取付ける側の端部から11.5mmの位置にケガキを入れてください。



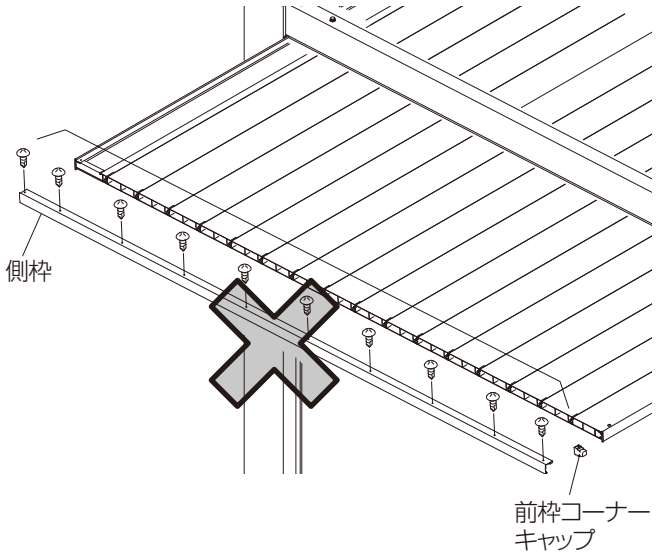
2 屋根部（1台目）の取付け

P.27～ 基本タイプの施工 P.27を参照してください。

①基本タイプ 7 ～14の施工方法を参照して取り付けてください。

お願い

側枠･前枠コーナーキャップは、
連結部には取り付けないでください。



お願い

1台目の後枠･屋根材の切欠き部と端部のシーリングを忘れずにしてください。

シーリング材をヘラで押さえて形材とビード材のすき間に充填してください。

破線部分にシーリングしないようにしてください。

シーリング

端部にもシーリングをしてください。

シーリング

後枠コーナーキャップ

後枠

屋根材

3 後枠（2台目）の取付け

P.27 基本タイプの施工 P.27を参照してください。

①基本タイプ 7 の施工方法を参照して取り付けてください。

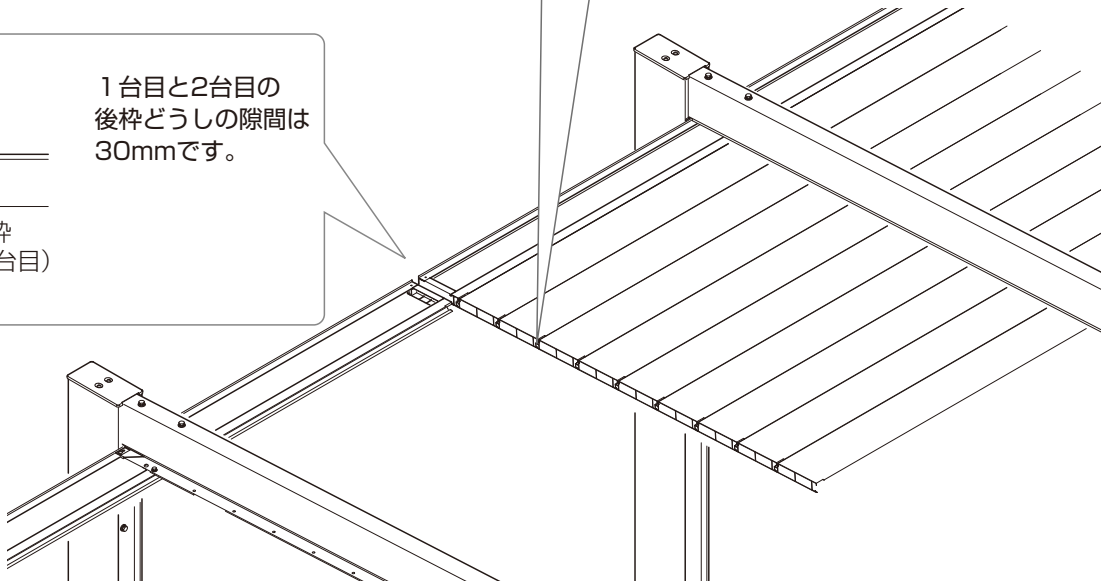
補 足

30

後枠
（2台目）

後枠
（1台目）

1台目と2台目の
後枠どうしの隙間は
30mmです。



4 連棟部材(上)の取付け

①後枠コーナーキャップの上部にシーリングしてください。
②連棟部材(上)を1台目と2台目の後枠の加工穴に【12-2】で取り付けください。
③連棟部材(上)の前枠固定用の穴の中央に前枠のケガキ線がくるように位置を調整してください。
④1台目の前枠のケガキ線上に連棟部材(上)を【12-2】で取り付けてください。
⑤1台目の屋根材に連棟部材(上)を【12-2】で取り付けてください。

下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

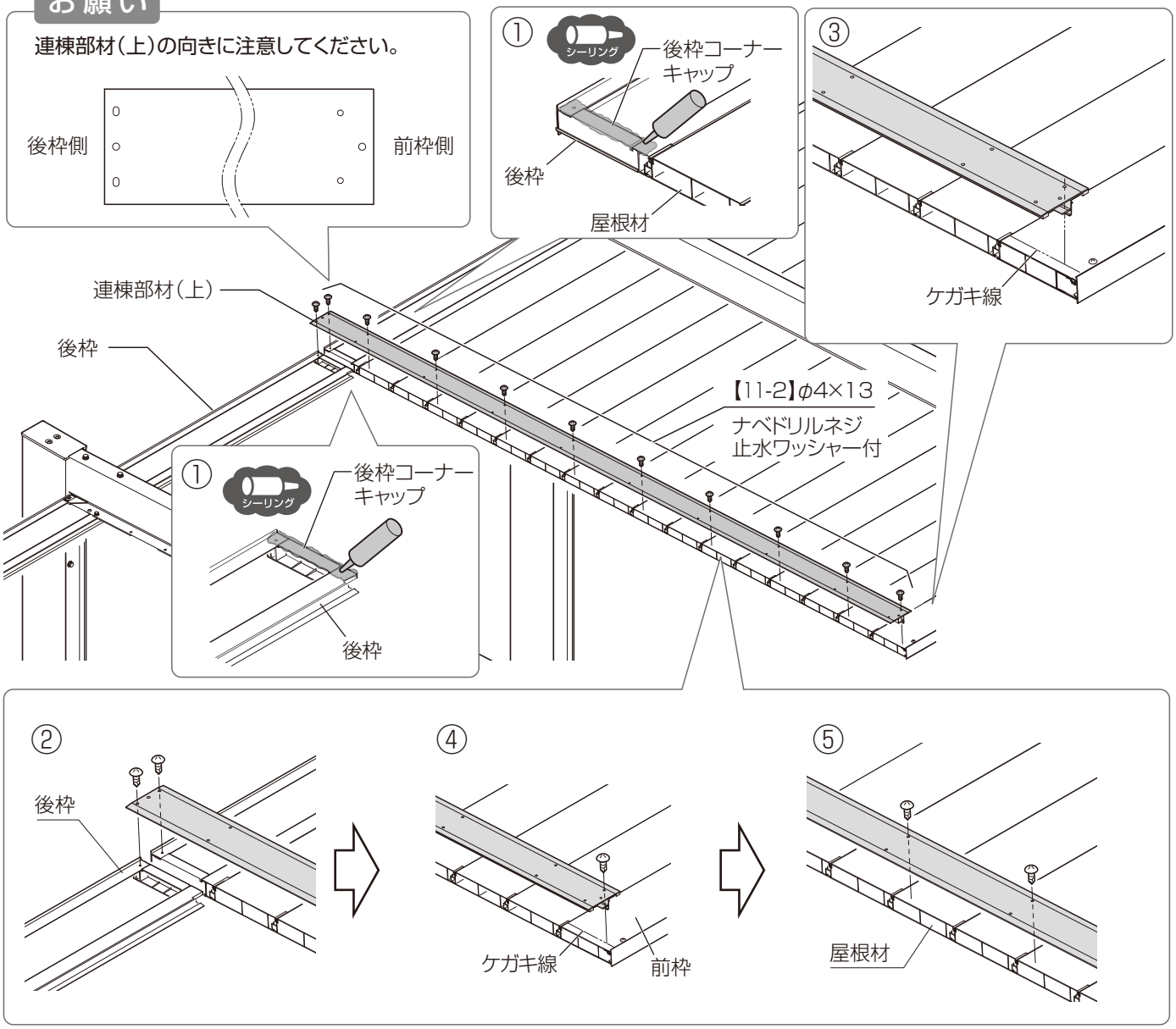
「SC 屋根照明 取付説明書(EXM-066)」
「SC ミニ・1台用・後方支持 着脱式サポート 取付説明書(D646)」

補 足

●後枠側の加工穴を基準に取り付けてください。
●先に後枠を固定し、前枠を固定することで連棟部材の位置出しをすることができます。

お願い

連棟部材(上)の向きに注意してください。

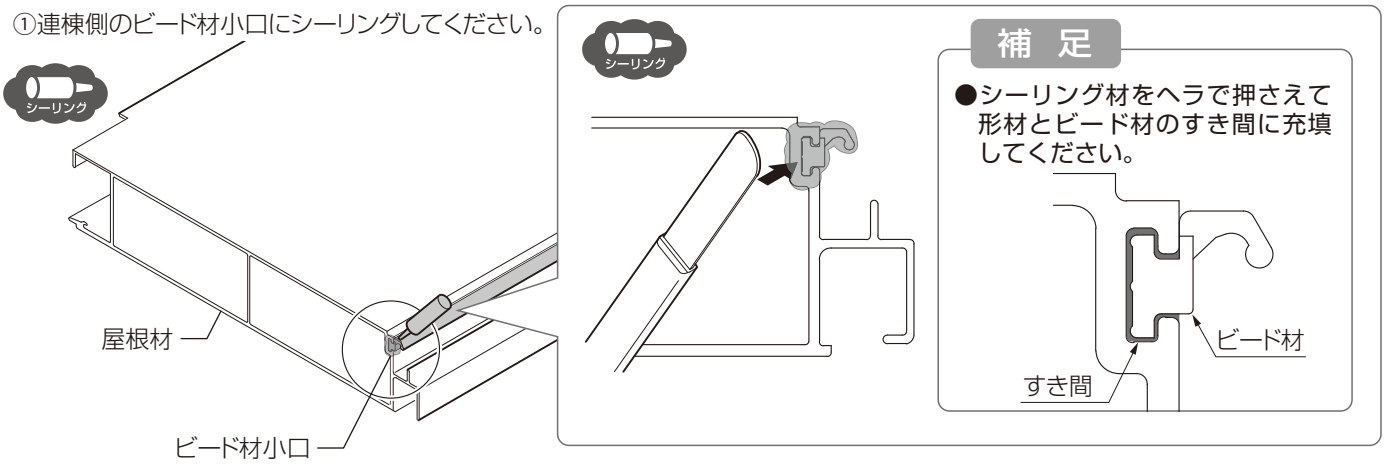


お願い

照明を取り付ける場合、事前に連棟部材の切り欠き加工が必要となります。
連棟部材の切り欠き加工については「SC 屋根照明 取付説明書(EXM-066)」の<連棟部の施工>を参照してください。

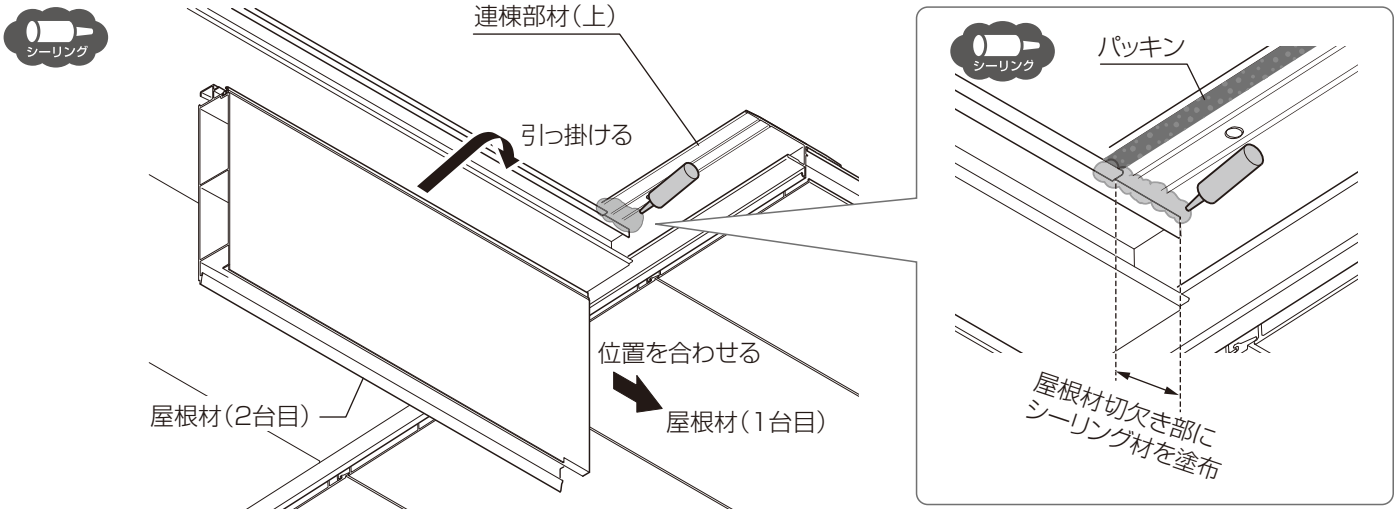
5 屋根部（2台目）の取付け

①連棟側のビード材小口にシーリングしてください。



②先に取付けた屋根材の切り欠き部にシーリングしてください。

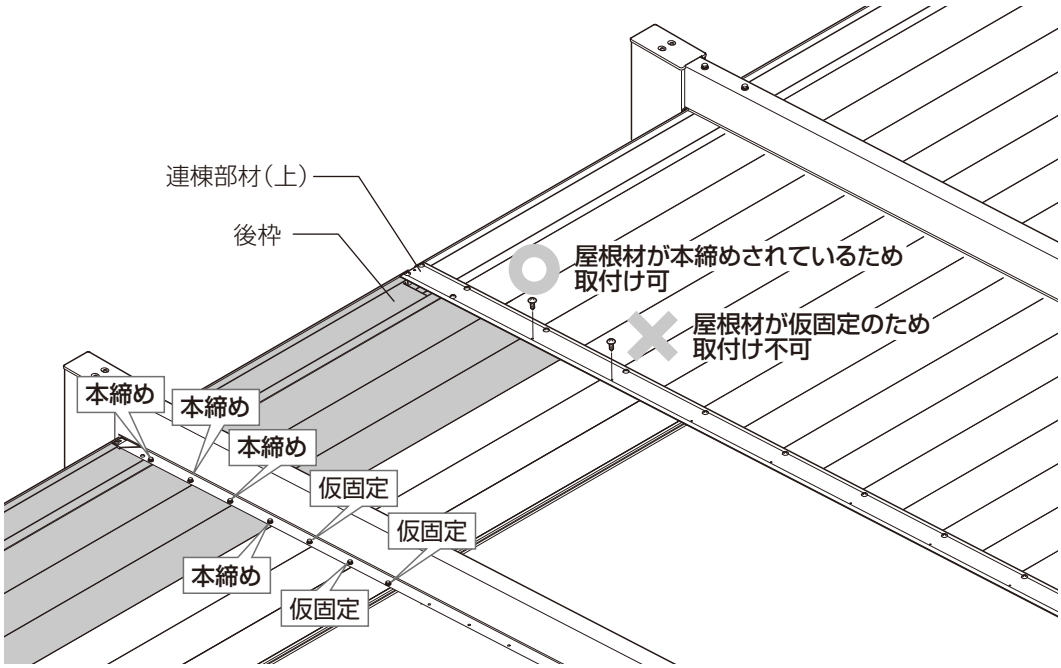
③屋根材を引っ掛けて、先に取付けた屋根材と端部の位置を合わせてください。



④基本タイプ10～14（P.29～39）の施工方法を参照し、屋根材～前枠を取付けながら【11-2】で連棟部材を取付けてください。

お願い

●梁に本締めした屋根材に連棟部材（上）を【11-2】で取付けてください。
仮固定の状態の屋根材に連棟部材（上）のネジ固定を行うとビード材が圧縮されないため、漏水の原因となります。



⑤以降の手順は、基本タイプ12～13（P.32～34）の施工方法を参照して取付けてください。

D649_202610Q

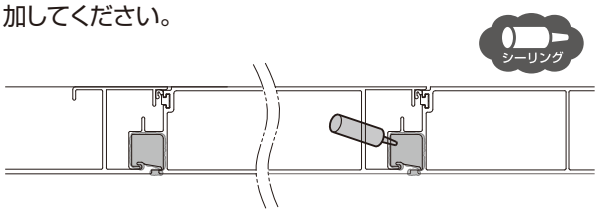
6 連棟部材の取付け

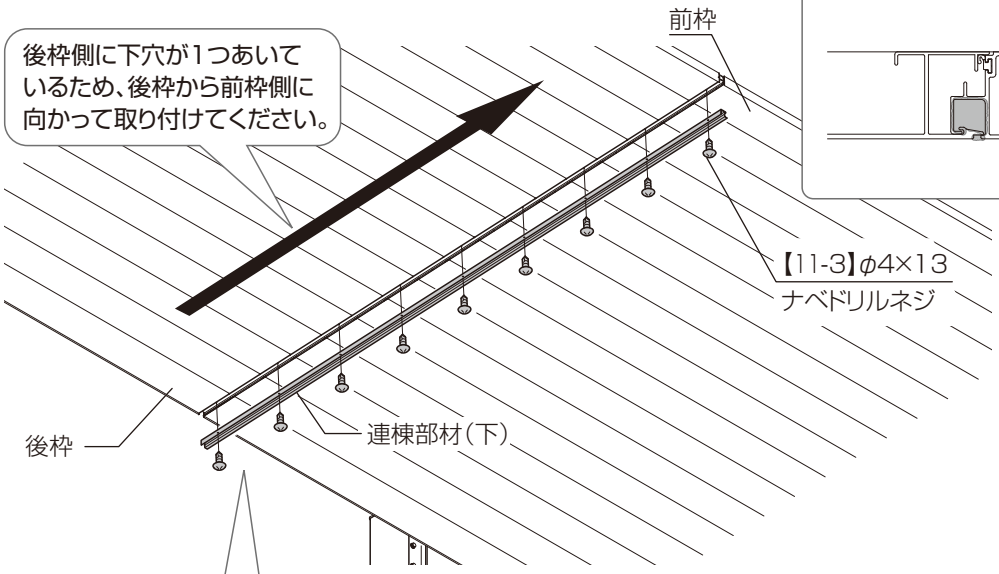
1 連棟部材(下)の取付け

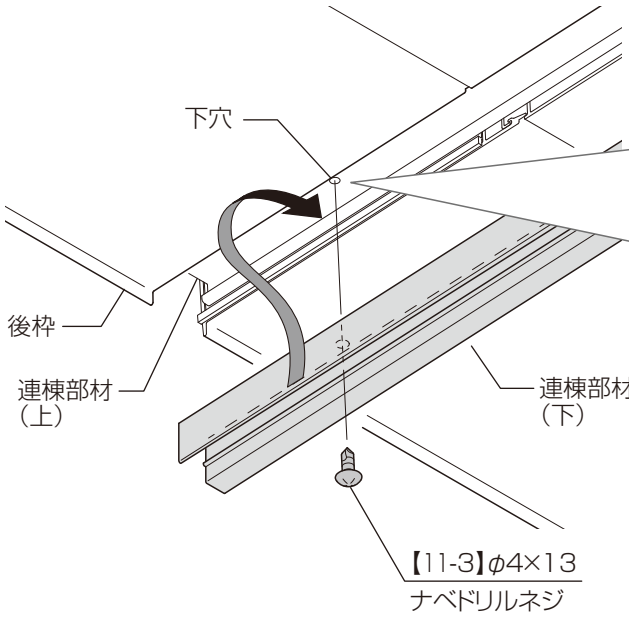
①連棟部材(下)を連棟部材(上)に【11-3】で取り付けてください。

お願い

柱を101mm以上移動した場合は、連棟部材(下)を取付ける前に全ての屋根連結部の小口にシーリングを追加してください。

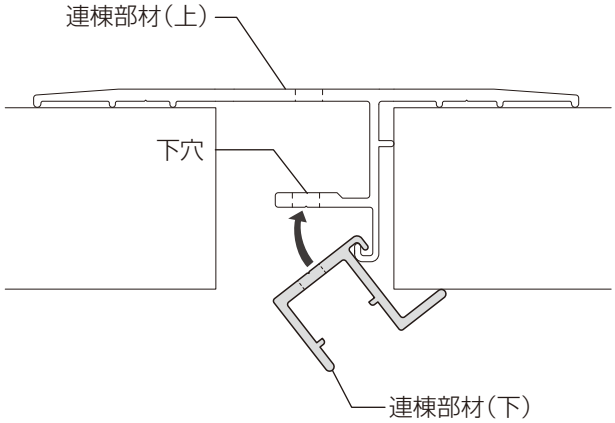






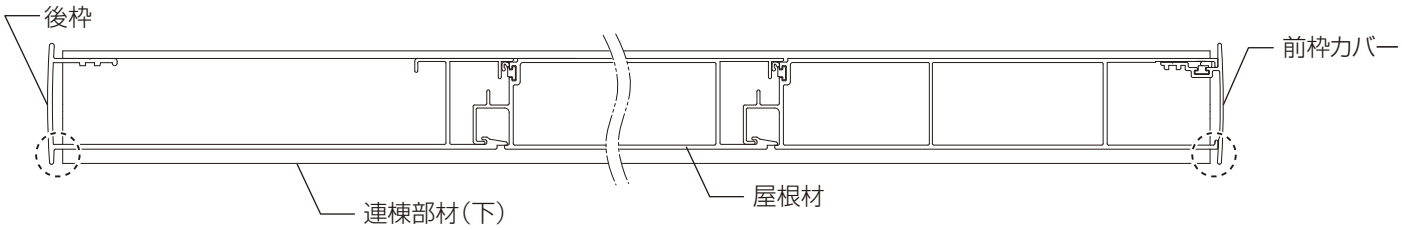
お願い

後枠側の連棟部材(上)と連棟部材(下)の穴を合わせて取り付けてください。
(連棟部材(上)の後枠側に下穴が1つあります。)



補 足

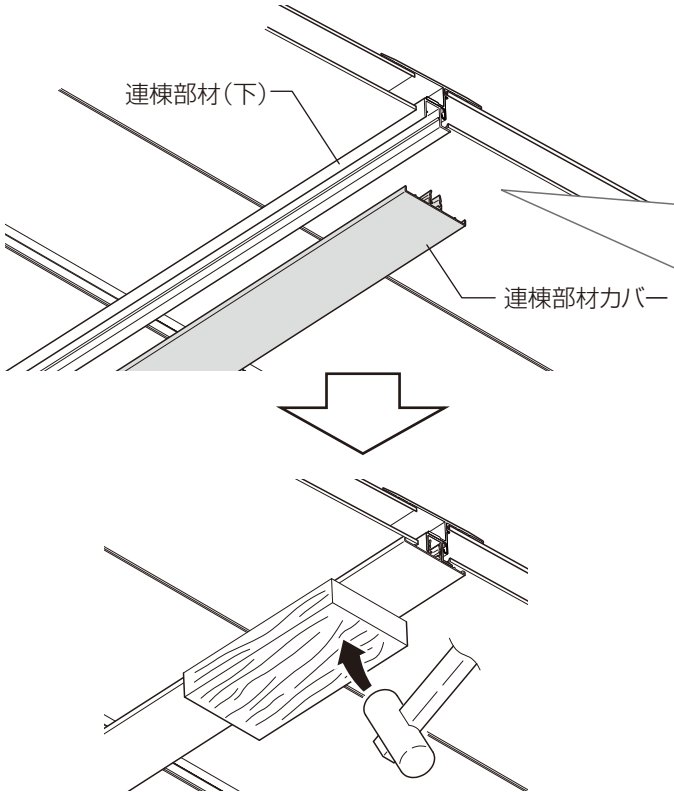
連棟部材(下)取付後に後枠・前枠カバーとの間にすき間があることを確認ください。
すき間が無いと連結カバーが取りつきません。



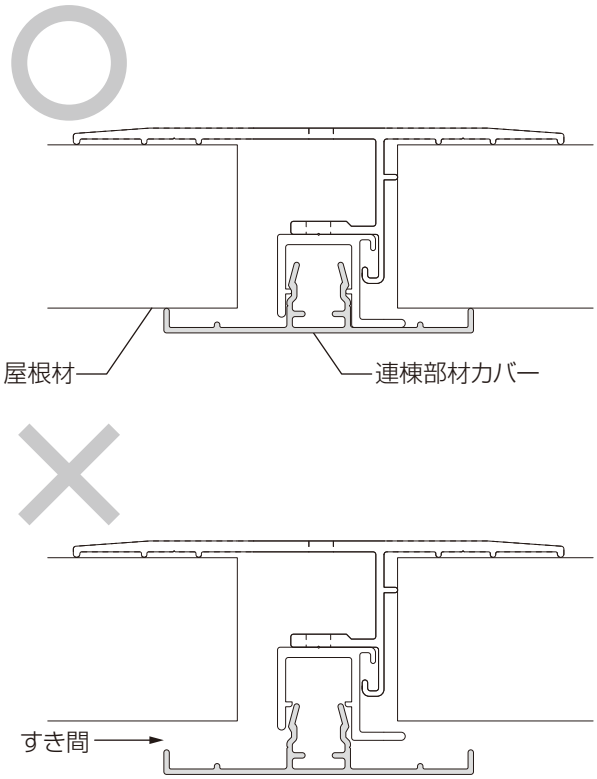
D649_202610Q

2 連棟部材カバーの取付け

①連棟部材カバーを連棟部材（下）に取り付けてください。



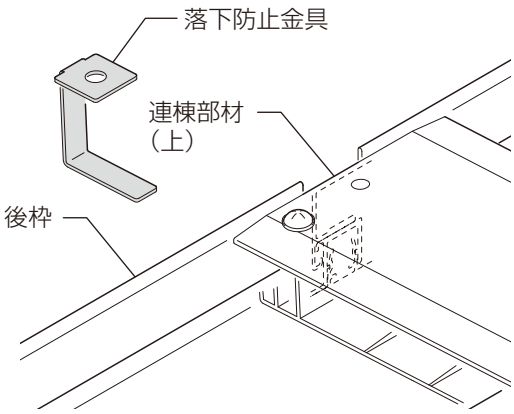
屋根材とカバーの間にすき間がないことを確認してください。



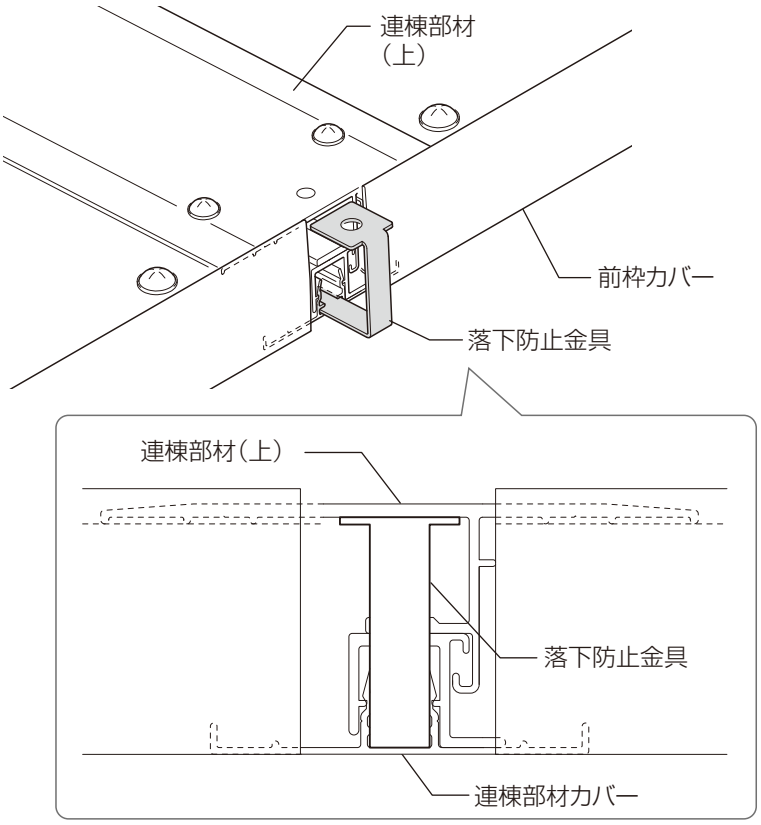
3 落下防止金具の取付け

①落下防止金具を連棟部材に差込んでください。

●後枠側



●前枠側

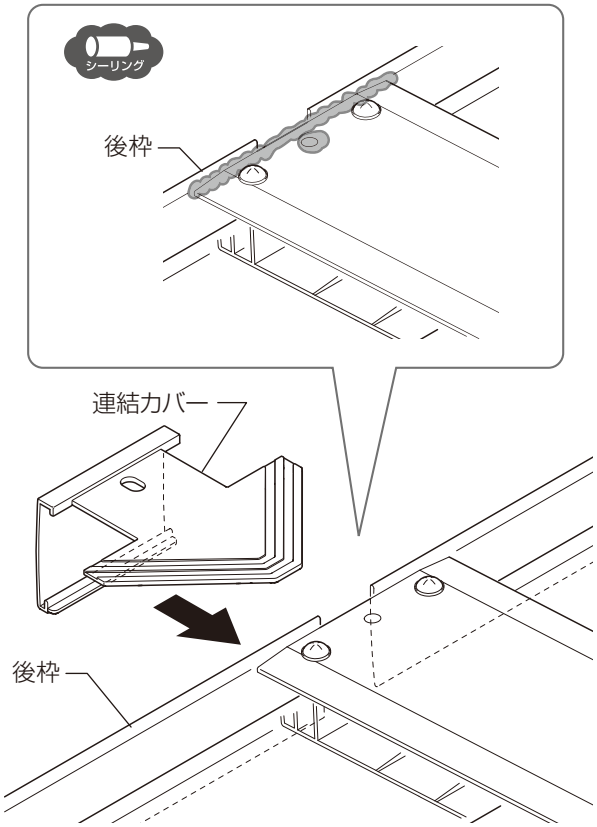


D649_202312H

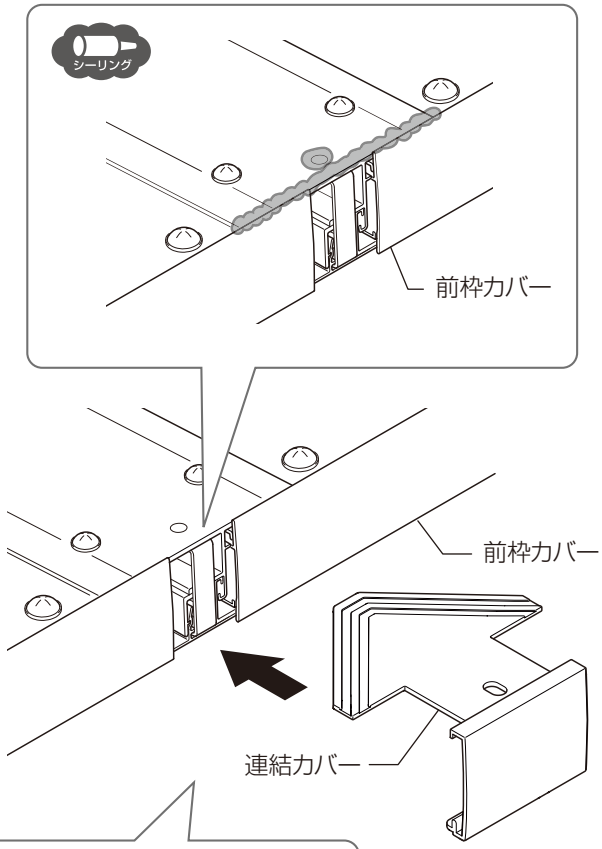
4 連結カバーの取付け

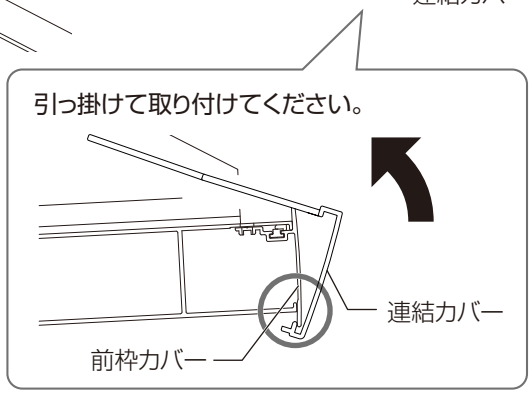
①連棟部材（上）の両端と加工穴にシーリングをしてください。
②連結カバーを【11-1】で取り付けてください。
③前枠カバーと連結カバーの接合部にシーリングをしてください。

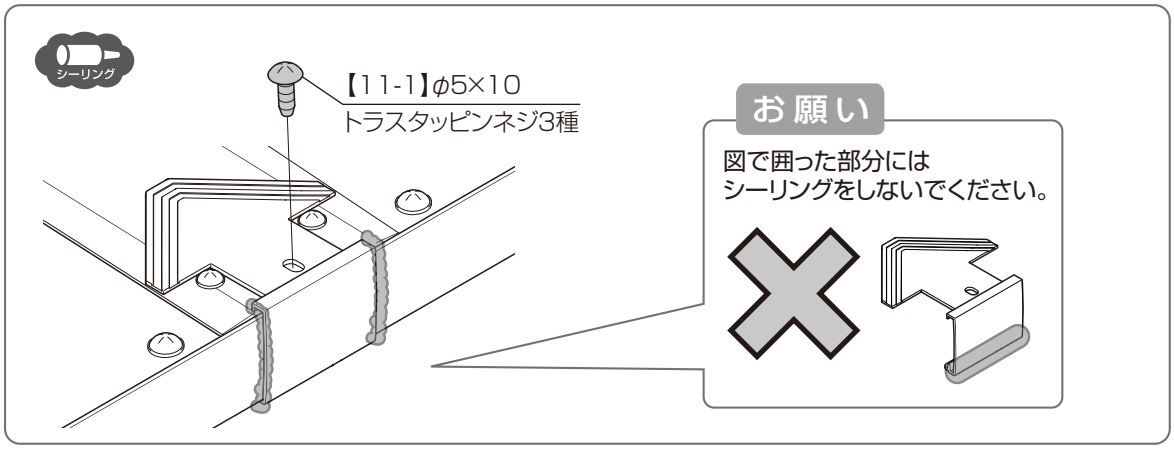
●後枠側



●前枠側

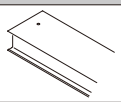
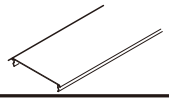


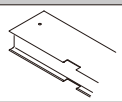
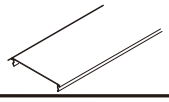


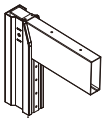
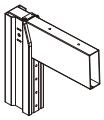


梱包明細表

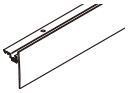
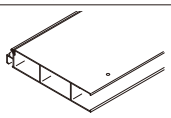
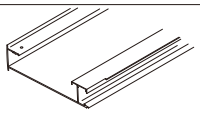
※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

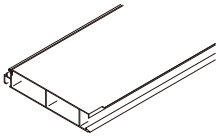
【1】柱セット		員数
名称	略図	1本入
柱		1
柱カバー		1

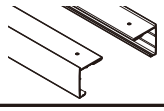
【2】柱セット（排水用）		員数
名称	略図	1本入
柱(排水用)		1
柱カバー(排水用)		1

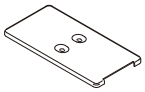
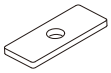
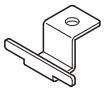
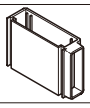
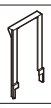
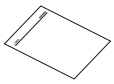
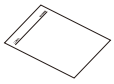
【3】ブラケットセット		員数
名称	略図	
ブラケット(前枠側用)		1
ブラケット(後枠側用)		1

【4】梁セット		員数
名称	略図	
梁		1

【5】前後枠セット		員数
名称	略図	
前枠カバー		1
前枠		1
後枠		1

【6】屋根材セット		員数	
名称	略図	2本入	3本入
屋根材		2	3

【7】側枠セット		員数
名称	略図	
側枠		左右各1

【8】フレーム組立部品セット		員数																
		2台用			1500 1台用				1500 2台用			3000 1台用				3000 2台用		
名称	略図	W48	W54	W60	W30	W33	W36	W42	W48	W54	W60	W30	W33	W36	W42	W48	W54	W60
柱キャップ (2台用･1500 1台用･3000 1台用) [部品番号]634341		4	4	4	4	4	4	4	−	−	−	6	6	6	6	−	−	−
柱キャップ (1500 2台用･3000 2台用) [部品番号]635879		−	−	−	−	−	−	−	4	4	4	−	−	−	−	6	6	6
裏板		62	70	78	38	42	46	54	62	70	78	56	62	68	80	93	105	117
後枠施工補助金具		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3
排水部品A [部品番号]632077		2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2
排水部品B [部品番号]632078		2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2
水下ブロック L(梁用) [部品番号]634270A		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2
水下ブロック R(梁用) [部品番号]634271A		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
柱隙間ふさぎ部品 (非排水)		2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	5	4	4	4	4	4	4
柱隙間ふさぎ部品 (排水)		2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2
φ8×200アンカー棒		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6
取扱説明書		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
取付説明書		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
【8-1】M6×20 六角ボルト 緩み止め止水ワッシャー付		62 ※	70 ※	78 ※	38 ※	42 ※	46 ※	54 ※	62 ※	70 ※	78 ※	56 ※	62 ※	68 ※	80 ※	93 ※	105 ※	117 ※
【8-2】M8×30 六角ボルト 緩み止め止水ワッシャー付		28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	42	42	42	42	42	42	42
【8-3】φ5×20 トラスタッピンネジ3種		11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	16	16	16	16	16	16	16
【8-4】φ5×10 トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3

※予備を含んでいます。
2台用･1500 1台用･1500 2台用の場合:2個
3000 1台用･3000 2台用の場合:3個

【9】屋根組立部品セット		員数								
		2台用	1500 1台用			1500 2台用	3000 1台用			3000 2台用
名称	略図	W48 ~60	W30	W33	W36 ~W42	W48 ~60	W30	W33	W36 ~W42	W48 ~60
後枠固定金具		4	4	4	4	4	4	4	4	4
前枠コーナーキャップ L ［部品番号］632070		1	1	1	1	1	1	1	1	1
前枠コーナーキャップ R ［部品番号］632071		1	1	1	1	1	1	1	1	1
後枠コーナーキャップ L ［部品番号］632072		1	1	1	1	1	1	1	1	1
後枠コーナーキャップ R ［部品番号］632073		1	1	1	1	1	1	1	1	1
集水部品		2	1	2	2	2	1	2	2	2
雨樋穴ふさぎキャップ		-	1	-	-	-	1	-	-	-
水下ブロック L ［部品番号］633874		1	1	1	1	1	1	1	1	1
水下ブロック R ［部品番号］633875		1	1	1	1	1	1	1	1	1
【9-1】φ5×10 トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2	2	2	2	2	2
【9-2】φ4×13ナベ ドリルネジ止水ワッシャー付		60 (予備含む)	38 (予備含む)	40 (予備含む)	46 (予備含む)	61 (予備含む)	38 (予備含む)	40 (予備含む)	46 (予備含む)	61 (予備含む)

【11】連棟用屋根組立部品セット1		員数								
		2台用	1500 1台用			1500 2台用	3000 1台用			3000 2台用
名称	略図	W48 ~60	W30	W33	W36 ~W42	W48 ~60	W30	W33	W36 ~W42	W48 ~60
後枠固定金具		4	4	4	4	4	4	4	4	4
連結カバー（連棟用）		2	2	2	2	2	2	2	2	2
落下防止金具（連棟用）		2	2	2	2	2	2	2	2	2
後枠コーナーキャップ L ［部品番号］632072		1	1	1	1	1	1	1	1	1
後枠コーナーキャップ R ［部品番号］632073		1	1	1	1	1	1	1	1	1
集水部品		2	1	2	2	2	2	2	2	2
雨樋穴ふさぎキャップ		-	1	-	-	-	-	-	-	-
【11-1】φ5×10 トラスタッピンネジ3種		4	4	4	4	4	4	4	4	4
【11-2】φ4×13ナベ ドリルネジ止水ワッシャー付		60	38	40	40	40	40	40	40	40
【11-3】φ4×13 ナベドリルネジ		22	11	12	12	12	12	12	12	12

【10】連棟部材セット		員数
名称	略図	
連棟部材（上）		1
連棟部材（下）		1
連棟部材カバー		1

【12】樋接続部品セット（オプション）		員数
名称	略図	
排水部品 アタッチメント		1
丸樋ジョイント		1
丸樋ホルダー		1
排水カバー		1
メンテナンスキャップ		1
92°エルボ（φ40）		1
結束バンド		1
【12-1】φ5×10 トラスタッピンネジ		1

【13】竪樋セット（オプション）		員数
名称	略図	
竪樋 φ40 L=1000		1

【14】雨樋穴ふさぎキャップセット（オプション）		員数
名称	略図	
雨樋穴ふさぎキャップ		1
【14-1】φ5×10 トラスタッピンネジ3種		1

【15】穴ふさぎシールセット（オプション）		員数
名称	略図	
穴ふさぎシール（10枚）		1

取説コード
D649

JZZ634573Q
201808A_1048
202610Q_1048